

教 育 要 覧

平 成 2 8 年 度



奥原希望選手 2016 リオデジャネイロオリンピック銅メダル獲得祝賀パレード

大町市教育委員会



市 章

制定：昭和29年12月21日

「大町市」の頭文字「大」の字を図案化したもの。中央の山型は当市が北アルプスの玄関口であり、山岳観光都市であることを披歴し、さらに将来の発展と繁栄を燕が上昇する姿に託しています。

大町市民憲章

- 1 厳しい風雪に耐えてたくましく
心優しく生きる市民です
- 2 麗しい風土と歴史をもち
土の香り高い文化を築く市民です
- 3 豊かな自然と環境を守り育て
教養と創造を重んじる市民です
- 4 つねに自治に励み
役割と責任を持ち合う市民です
- 5 郷土を愛し自己をみがき
未来をつくる幸せを喜び合う市民です

昭和52年7月2日



目 次

I	概 要	1
1	大町市の沿革.....	2
2	位置と地勢.....	3
3	人口と世帯数.....	4
4	教育委員、理事者.....	5
5	関係委員会等.....	6
6	教育委員会の組織.....	8
7	教育委員の事務分掌.....	9
8	教育予算.....	12
9	教育行政のあゆみ.....	14
II	学 校 教 育	27
1	市内小中学校.....	29
2	学校施設.....	48
3	学校別児童生徒及び学級数.....	49
4	小中学校教職員数.....	51
5	外国人英語指導助手.....	52
6	通学区.....	52
7	小規模特認校制度.....	53
8	就学相談委員会取扱件数.....	53
9	就学援助.....	54
10	中学校卒業後の状況.....	56
11	奨学金.....	58
12	私学振興.....	59
13	教員住宅.....	59
14	コミュニティスクール.....	60
15	I C T活用事業.....	61
16	キャリア教育.....	62
17	中間教室.....	63
18	いじめ防止対策.....	64
19	児童・生徒の家庭における生活習慣への取り組み.....	67
20	通学の安全確保に関する取り組み.....	68
21	学校給食.....	70

Ⅲ	生涯学習推進と社会教育	73
1	生涯学習・社会教育.....	76
2	青少年.....	78
3	文化財.....	85
4	人権教育.....	97
5	公民館.....	102
6	図書館.....	106
7	山岳博物館.....	111
8	民族資料館.....	116
9	文化会館.....	118
10	女性未来館ピュア.....	121
11	大町市文化財センター.....	123
12	国重要文化財旧中村家住宅.....	123
13	社会教育施設一覧表.....	125
Ⅳ	社会体育	127
1	社会体育.....	128
Ⅴ	資料集	137

I 概 要



1 大町市の沿革

今から約900年前、伊勢の内宮御陵として仁科御厨（みくりや）が設定されたとき、この地方に定着していた仁科氏は、この御厨を預かって神宮への神役を果たしつつ勢力を得、周辺地域の開発にも力を入れて領地を拡大し、皇室御陵仁科庄として支配するようになった。

仁科氏は社の館之内に居を構えていたが、鎌倉時代に入ってから大町に居館を移して広く糸魚川方面にまで勢力を張るに至った。この地方が仁科と呼ばれるようになったのは、このような歴史があつてのことである。仁科氏は早くから京都や伊勢と深いつながりをもっていた関係で、中央の進んだ文化を取り入れて、この地方の開発に力を注ぎ、仁科神明宮本殿及び中門（国宝）に代表される優れた文化財を残している。

しかし今から400年前、戦国時代の終わり近くに至って、武田信玄のためその家系を絶たれた。信玄はその子盛信を遣わして仁科の名跡を継がせたが、天正10年高遠城で敗死してからまもなく松本城を回復した小笠原氏の勢力下に入ることになり、この地方の支配関係に一大変革をきたすこととなった。江戸時代、松本藩では北安曇地域に大町・池田・松川の3組を置いて治めており、大町平（大町村・高根新田村および平地区9か村）と八郷（社地区8か村）とが大町組に、常盤地区5か村が松川組に、現社地区山ノ寺村が池田組に属していた。

仁科氏が領有していた時代から、この地域には、日本海と松本方面を結ぶ糸魚川街道が通じており、海産物をはじめ多くの物資が流通し、信州における経済的交通路の一つとして重視されていた。それらの物資の集散地であつた大町は、宿駅的性格を基に商業都市として栄えた。

明治維新後、大町市域は一時松本県に属したが、明治4年筑摩県が成立するに及んでその管下に入り、同9年筑摩県が長野県の管下に移ることになった。同8年、村々の合併の議が進み、大町村と高根新田町が合併して大町村、社地区の9か村が社村、平地区の9か村が平村、常盤地区5か村が常盤村となった。同22年には町村制が実施され、昭和29年7月1日、町村合併促進法により、1町3か村の合併が成立し大町市が誕生した。

平成に入り旧合併特例法の期限が平成17年3月31日と定められたのに伴い、平成18年1月1日、大町市、八坂村、美麻村の1市2村が合併し、新「大町市」が誕生した。

2 位置と地勢

位置	東経 137° 51' 3"	北緯 36° 30' 10"
面積	565.15 k m ²	
海拔	726 m	

(測点 大町市役所)

大町市は長野県の西北部、松本平の北側に位置している。

当市一帯の地形は、東西両山地とその間に挟まれた帯状の中央低地（安曇平）で構成され、糸魚川静岡地質構造線に沿って何回か繰り返された垂直的断層によって形成された。現在の地形の原型は洪積世（約 100 万年前）に起こった陥没によって形成され、このとき木崎湖・中綱湖・青木湖のいわゆる仁科三湖も形成されたものと考えられている。

通称中山山地と呼ばれる東部山地は、第三期の水成岩（約 3,000 万年前）を基盤として、造られ、鷹狩山・霊松寺山のようになだらかな起伏を持っている。

西部山地（北アルプス一帯）は、古生代の水成岩（約 3 億年前）を基盤とした険しい地形で、槍ヶ岳をはじめとして、鹿島槍ヶ岳・針の木岳など 2,800m 以上の高峰が連なっている。日本には断層地形が非常に多いといわれているが、北アルプスはその中でも最高最大の断層地形が展開しており、市街地からこれらの雄大な地形を望むことができる。

中央低地は旺盛な堆積作用を持った高瀬川の沖積地を主体として、鹿島川・籠川・乳川などによって形成された扇状地と結合して形成された複合扇状地で、古くから活発な土地利用が行われ、市街地を含めた宅地・農地などはこの中央低地に集中している。

中央低地を流れる高瀬川の左岸には段丘や中山山地の崩土崖錐層（社方面）が発達し、これらの台地は西部山地と平野部の接点で起こった活発な堆積作用により東偏して流れる高瀬川によって区画されている。

右岸は、自然堤防となった河岸で保護され、安定した砂れきの沖積地（常盤方面）は農地・宅地などに利用されている。

これらの中央低地に挟んだ東西両山地は地形・地質のうえで対照的であり、地質時代のごく最近までは相当の地質変動があったと考えられ、現在も緩慢な地殻運動が続けられている。

3 人口と世帯数

各年10月1日現在

年次	世帯数	人口	男	女
昭和5年	3,884	19,073	9,302	9,771
10	4,163	21,457	11,133	10,324
15	4,567	23,711	11,669	12,042
20	5,492	28,827	13,253	15,574
25	5,749	30,508	14,118	16,390
30	6,229	30,722	14,715	16,007
35	7,508	35,151	17,745	17,406
40	7,700	32,085	15,143	16,942
45	8,122	31,899	15,181	16,718
50	8,983	33,844	16,518	17,326
55	9,605	32,966	15,981	16,985
60	9,565	32,451	15,647	16,804
平成2年	9,710	31,597	15,223	16,374
7	9,941	31,020	15,068	15,952
12	10,403	31,016	15,068	15,948
13	10,452	30,949	14,993	15,956
14	10,422	30,661	14,860	15,801
15	10,425	30,439	14,720	15,719
16	10,596	30,198	14,678	15,520
17	10,970	30,324	14,668	15,656
18	11,812	32,227	15,574	16,653
19	11,871	31,860	15,409	16,451
20	11,909	31,488	15,225	16,263
21	11,927	31,148	15,049	16,099
22	11,966	30,737	14,870	15,867
23	12,007	30,456	14,737	15,719
24	11,820	30,021	14,535	15,486
25	11,790	29,606	14,347	15,259
26	11,825	29,328	14,204	15,124
27	11,828	28,962	14,033	14,929
28	11,844	28,517	13,861	14,656

4 教育委員、理事者

(1) 教育委員

役職名	氏名	就任年月日	住所	備考
委員長	藤井一男	平22.2.6 再任 平26.2.6	大町市大町6912-1	委員長就任 平23.8.25
同職務代理者	川上茂代	平21.5.17 再任 平25.5.17	大町市常盤7701-9	同職務代理者就任 平23.8.25
委員	黒田幸雄	平23.8.13 再任 平27.8.12	大町市社5628-9	
委員	仲原直美	平26.9.26	大町市美麻3388-5	
教育長	荒井今朝一	平21.4.1 再任 平25.4.1	大町市平3745	教育長就任 平21.4.1

(2) 理事者

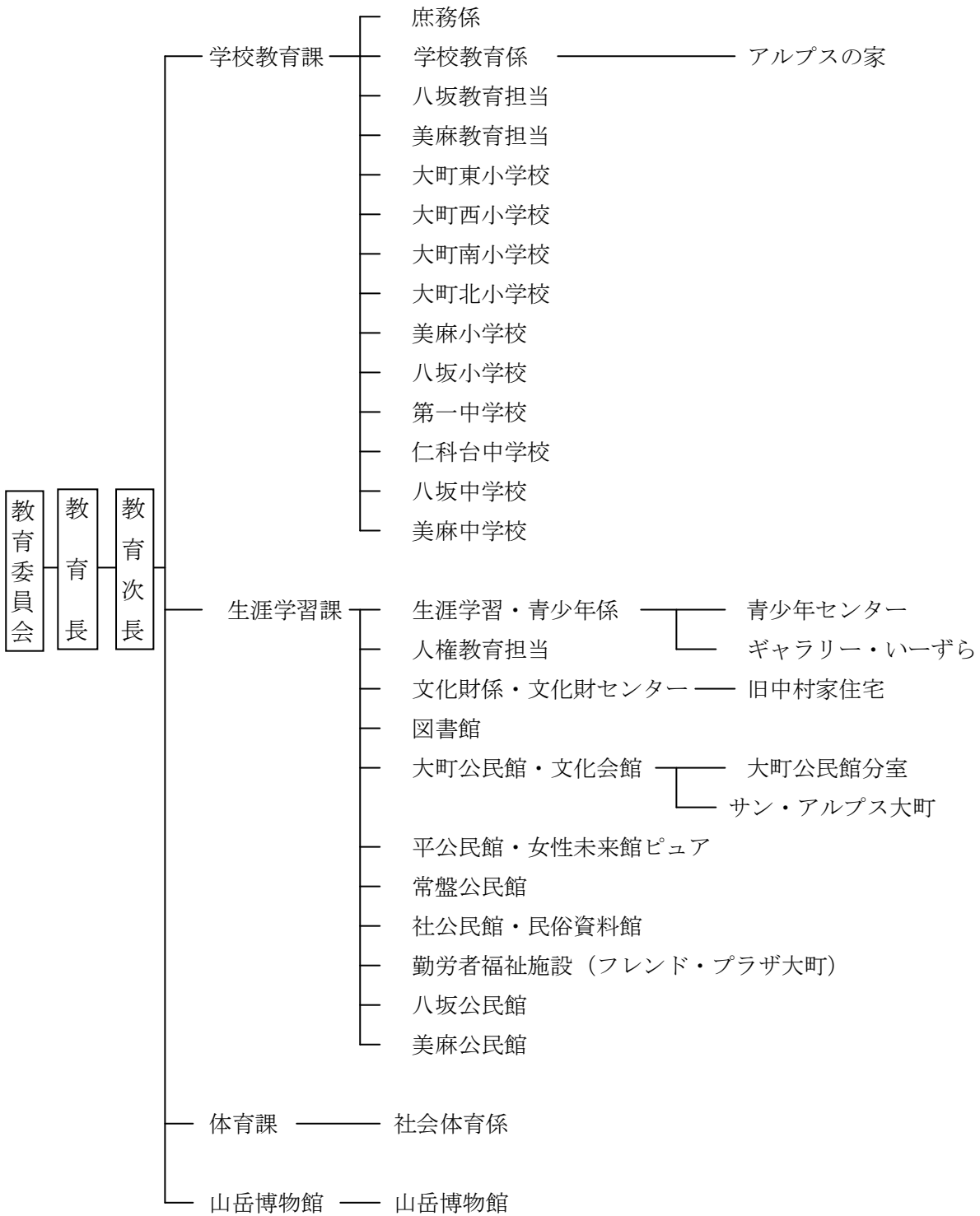
役職名	氏名	就任年月日	住所
市長	牛越徹	平18.7.14	大町市常盤5740-2
副市長	吉澤義雄	平26.8.12	大町市大町5445-7

5 関係委員会等

名 称	根 拠 条 例 等	委員定数	委員任期
教 育 支 援 委 員 会	大町市就学相談委員会設置条例	22 以内	2
学 校 評 議 員	大町市学校評議員設置要綱	8 "	1
キャリア教育推進協議会	大町市キャリア教育推進協議会設置要綱	20 "	2
I C T 教 育 推 進 委 員 会	大町市 I C T 教育推進委員会設置要綱	15 "	2
通 学 路 安 全 推 進 会 議	大町市通学路安全推進会議設置要綱		1
学 校 運 営 協 議 会	大町市学校運営協議会規則	15 以内	1
学 校 運 営 委 員 会	大町市学校運営委員会の運営に関する要綱	15 以内	1
いじめ問題対策連絡協議会	大町市いじめ問題対策連絡協議会設置要綱	12 "	2
コ ミ ュ ニ テ ィ ス ク ー ル 推 進 委 員 会	コミュニティスクール推進委員会設置要綱	20 "	1
社 会 教 育 委 員	大町市社会教育委員設置条例	10 "	2
大町公民館運営審議会	大町市公民館条例	10 "	2
平公民館運営審議会	大町市公民館条例	7 "	2
常盤公民館運営審議会	大町市公民館条例	7 "	2
社公民館運営審議会	大町市公民館条例	7 "	2
八坂公民館運営審議会	大町市公民館条例	7 "	2
美麻公民館運営審議会	大町市公民館条例	7 "	2
図 書 館 協 議 会	市立大町図書館設置および管理に関する条例	7 "	2
山 岳 博 物 館 協 議 会	市立大町山岳博物館条例	15 "	2
文 化 会 館 運 営 委 員 会	大町市文化会館条例	10 "	2
女 性 未 来 館 ピ ュ ア 運 営 委 員 会	大町市女性未来館ピュア設置および管理に関する条例	8 "	2
文 化 財 保 護 審 議 会	大町市文化財保護条例	7 "	2
青 少 年 問 題 協 議 会	大町市青少年問題協議会条例	若干名	2
青 少 年 補 導 委 員 協 議 会	青少年補導委員協議会会則	85 以内	2
子 ども 会 育 成 連 絡 協 議 会	子ども会育成連絡協議会規約		1
青 少 年 育 成 市 民 会 議	青少年育成市民会議規約		2
ス ポ ー ツ 推 進 審 議 会	大町市スポーツ推進審議会条例	10 "	2
ス ポ ー ツ 推 進 委 員	大町市スポーツ推進委員に関する規則	20 "	2

名 称	根 拠 条 例 等	委員定数	委員任期
学校施設開放運営協議会	大町市立小・中学校の施設の開放に関する規則	15 以内	
解放子ども会運営委員会	大町市解放子ども会運営委員会規程		1
人 権 教 育 推 進 協 議 会	大町市人権教育推進協議会規約	30 以内	2
学校人権教育研究委員会	大町市学校人権教育研究委員会設置要綱	各校1名	1
企業人権教育推進協議会	大町市企業人権教育推進協議会会則		1
人権・同和教育推進懇談会	人権・同和教育推進懇談会設置要綱	10 以内	2
生涯学習のまちづくり 推 進 本 部	大町市生涯学習推進のまちづくり推進本部設置要綱		2
美 術 振 興 専 門 委 員 会	大町市附属機関に関する条例	10 以内	2
科 学 振 興 会	大町市科学振興会規約		2
八 坂、美 麻 山 村 留 学 推 進 協 議 会	大町市八坂・美麻山村留学推進協議会規約		2

6 教育委員会の組織



7 教育委員会の事務分掌

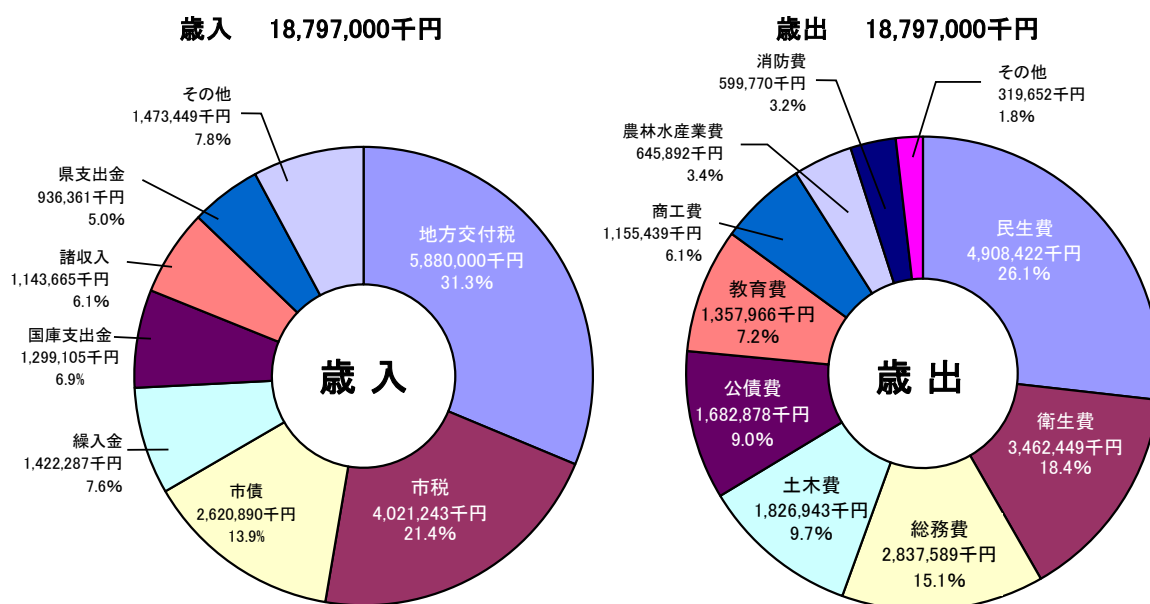
		事 務 分 掌
学校教育課	庶務係	1. 公印の管守 2. 教育委員会の会議 3. 教育委員会規則等 4. 公告式 5. 請願および陳情 6. 寄付採納 7. 栄典 8. 教育財産（整理簿） 9. 教育委員会職員の人事等 10. 公務災害 11. 県費負担教職員の人事内申等 12. 学校医等 13. 児童生徒の就学援助 14. 特別支援教育就学奨励費 15. 奨学金 16. 文書の受付及び発送 17. 公文書の公開 18. 個人情報の保護 19. 私学助成 20. 教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価 21. 児童生徒の就学 22. 教科書
	学校教育係	1. 学校の組織編制 2. 通学区域（通学路） 3. 学校施設の整備及び維持管理 4. 教育支援委員会 5. キャリア教育 6. コミュニティスクール 7. ICT教育 8. 学校運営協議会（学校運営委員会） 9. いじめ問題 10. 教育課程等 11. 教科書選定及び教材備品 12. 学校災害共済 13. 学校事故報告 14. スクールバス 15. 学校給食 16. 教員住宅 17. 中間教室 18. 教育相談 19. 学校保健
	八坂教育担当	1. 各種申請書の受付及び連絡調整 2. 八坂地区小中学校との連絡調整 3. 通学対策 4. 学校給食 5. 山村留学 6. 体育施設、社会教育施設の利用受付及び維持管理 7. 学校給食共同調理場の運営
	美麻教育担当	1. 各種申請書の受付及び連絡調整 2. 美麻地区小中学校との連絡調整 3. 通学対策 4. 学校給食 5. 山村留学 6. 体育施設、社会教育施設の利用受付及び維持管理

		事 務 分 掌
生涯学習課	生涯学習 ・青少年係	1. 生涯学習推進（推進プラン） 2. 生涯学習のまちづくり推進本部 3. 社会教育計画 4. 社会教育委員 5. 社会教育関係施設・係の連絡調整 6. 社会教育関係団体の指導助言 7. コミュニティ施設整備支援 8. 大町公民館分室 9. 蔵の音楽館 10. 文化・芸術の振興 11. 美術振興専門委員会 12. ギャラリー・いーずら 13. 成人式 14. 科学振興 15. 信濃木崎夏期大学 16. エネルギー博物館 17. リーダーバンク 18. 青少年問題協議会 19. 青少年センター 20. 青少年補導委員協議会 21. 青少年育成市民会議 22. 子ども会育成連絡協議会 23. 青少年関係団体
	人権教育担当	1. 人権教育の総合的な計画及び推進 2. 人権教育関係機関、団体との連絡調整 3. 学校及び地域への人権教育 4. 解放子ども会 5. 人権・同和教育推進懇談会 6. 企業内の人権教育 7. 人権教育推進協議会 8. 人権問題についての対応
	文化財係	1. 文化財 2. 文化財保護審議会 3. 埋蔵文化財発掘調査 4. 文化財センター 5. 旧中村家住宅
社会教育施設	公民館	1. 公民館運営審議会 2. 分館の運営活動の援助及び指導 3. 社会教育団体の連絡調整 4. 公民館講座の推進 5. 地区別体育事業 6. 館報の発刊 7. 文化祭 8. 視聴覚教室 9. 生活改善 10. 人権教育 11. 分館長会 12. 生涯教育 13. 活動団体の育成
	図書館	1. 閲覧および貸出し 2. 資料の受入れ整理 3. 図書館協議会 4. 大北図書館協会 5. 関係グループの育成等 6. 調査相談（レファレンス） 7. 園文庫 8. 障害者サービス 9. 広報 10. 読書推進
	文化会館	1. 自主事業 2. 文化会館運営委員会 3. 文化会館ホールアシスタント 4. 芸術文化団体の育成 5. 施設の貸し出し 6. 文化事業の共催および後援
	勤労者福祉施設	1. 運営、管理

		事 務 分 掌
	女性未来館 ピュア	1. 女性未来館ピュア運営委員会 2. 職能講座 3. 家庭生活講座 4. 婦人問題講演会 5. 余暇活動の援助 6. 女性団体・サークルの育成 7. 職業・家庭生活等の相談 8. 託児業務
	民俗資料館	1. 案内窓口 2. 常設展示 3. 資料の受入れ 4. 特別展示
	八坂情報コミュニティーセンターアキツ	1. 運営、管理
体 育 課	社会体育係	1. 社会体育総合計画 2. 社会体育施設の整備および維持管理 3. 社会体育施設および学校施設の開放 4. 学校施設開放運営協議会 5. スポーツ大会等の計画、運営 6. スポーツ推進委員 7. 市民の保健、体力づくり 8. B&G海洋センター 9. スポーツ大会等の奨励および指導 10. 体育関係団体 11. スポーツ傷害保険
山岳博物館	山岳博物館	1. 博物館資料の収集・整理・保管 2. 調査研究 3. 教育普及 4. 案内窓口・展示レファレンス活動 5. 展示業務(常設展示・企画展示・特別展示) 6. 動植物飼育栽培繁殖 7. 山岳図書資料館の管理 8. インターネット・ウェブサイトの運営 9. 「山と博物館」等の情報発信 10. 資料の受贈・受託及び貸出 11. 年報・紀要の発行 12. 山岳博物館協議会 13. 大町博物館連絡会との連携 14. 信州大学山岳科学研究所等との研究協力 15. 友の会等関係団体との提携

8 教育予算

(1) 平成28年度一般会計当初予算



(単位 千円)

歳 入				歳 出			
区 分	予 算 額	構 成 比		区 分	予 算 額	構 成 比	
1 市 税	4,021,243	21.4 %		1 議 会 費	152,126	0.8 %	
2 地 方 譲 与 税	176,150	0.9		2 総 務 費	2,837,589	15.1	
3 利 子 割 交 付 金	5,810	0.0		3 民 生 費	4,908,422	26.1	
4 配 当 割 交 付 金	16,000	0.1		4 衛 生 費	3,462,449	18.4	
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	12,000	0.1		5 労 働 費	127,525	0.7	
6 地 方 消 費 税 交 付 金	481,085	2.6		6 農 林 水 産 業 費	645,892	3.4	
7 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	1,900	0.0		7 商 工 費	1,155,439	6.1	
8 自 動 車 取 得 税 交 付 金	38,000	0.2		8 土 木 費	1,826,943	9.7	
9 地 方 特 例 交 付 金	9,000	0.0		9 消 防 費	599,770	3.2	
10 地 方 交 付 税	5,880,000	31.3		10 教 育 費	1,357,966	7.2	
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	4,600	0.0		11 災 害 復 旧 費	1	0.0	
12 分 担 金 及 び 負 担 金	62,077	0.3		12 公 債 費	1,682,878	9.0	
13 使 用 料 及 び 手 数 料	380,417	2.0		13 予 備 費	40,000	0.2	
14 国 庫 支 出 金	1,299,105	6.9					
15 県 支 出 金	936,361	5.0					
16 財 産 収 入	14,409	0.1					
17 寄 付 金	72,001	0.4					
18 繰 入 金	1,422,287	7.6					
19 繰 越 金	200,000	1.1					
20 諸 収 入	1,143,665	6.1					
21 市 債	2,620,890	13.9					
歳 入 合 計	18,797,000	100.0		歳 出 合 計	18,797,000	100.0	

(2) 平成28年度教育費当初予算 (歳出)

(単位 千円)

項	目	本年度予算額
1 教育総務費		115,064
	1 教育委員会費	3,948
	2 事務局費	111,116
2 小学校費		311,793
	1 小学校管理費	143,193
	2 小学校教育振興費	168,600
3 中学校費		147,016
	1 中学校管理費	65,060
	2 中学校教育振興費	81,956
4 社会教育費		390,498
	1 社会教育総務費	80,145
	2 青少年費	6,086
	3 公民館費	102,874
	4 図書館費	36,690
	5 文化会館費	148,947
	6 文化財保護費	15,756
5 保健体育費		300,581
	1 体育振興費	45,735
	2 体育施設費	111,710
	3 学校給食費	143,136
6 山岳博物館費		93,014
教育費合計		1,357,966
5 労働費		9,392
1 労働諸費	2 労働施設費	9,392

9 教育行政のあゆみ

- 昭和 29. 5.24 大町、平村、常盤村および社村が合併の調印
7. 1 市制施行
教育委員に西沢録四郎、平林悦夫、遠藤嘉久、平林忠雄、宮田清の各氏就任
8. 8 市民登山(白馬岳 34 人)。第 1 回町民登山(鹿島槍ヶ岳 17 人)以来毎年実施 ～
9 日
- 11.24 図書館内に PTA 母親文庫北安曇配本所開設
30. 3.25 教育委員に清水敬一郎、平林悦夫、中村勝則、阿部西与、原又雄の各氏就任
- 5.27 「大町市中学校制度確立に関する意見書」を市議会で議決
- 10.15 小中学校の完全給食を実施
31. 6.18 常盤中学校の普通教室・管理棟が新築落成(工事費 1,425 万円)
8. 8 菅沢幸雄、阿部西与、平林悦夫、中村勝則、竹内周也の各氏教育委員に任命
- 8.15 市公民館、文部省から準優良公民館として表彰される
11. 8 第 1 回市文化祭
32. 1.22 大町中学校制度審議会が大町市中学校制度に関して答申
- 3.27 山岳博物館指導の大映映画「白い山脈」(動物記録映画)完成。文部省特選
8. 8 三沢巖氏教育委員に任命
11. 1 山岳博物館第二期建物、東山樋沢の現在地に落成開館(工事費 360 万円)
33. 1.13 大町市中学校制度推進特別委員会は大町地区に 1 校新設することの必要を市
議会へ報告、市議会これを了承
- 8.11 幡野茂道氏教育委員に任命
- 12.11 子ども劇場(民間)を開設
34. 2.23 中学校の4校を統合し、第一中学校(新設)・第二中学校・第三中学校とすることを
市議会で議決
- 3.12 上原遺跡を買収、復元に着手
4. 1 市立第一中学校・第二中学校・第三中学校となる。第一中学校は校舎が新築され
るまで旧平中学校と第二中学校で学習する
- 6.10 針ノ木岳周辺総合学術調査報告書を山岳博物館で出版、針ノ木自然園の基礎計
画ができる
- 7.10 天然記念物の「噴湯丘」が湯俣沢の増水で流失したことを発見
8. 8 一志五郎氏教育委員に任命
- 8.30 国宝仁科神明宮の防災工事完成(工事費 180 万円)
9. 9 第 12 回県美術展(大町公民館) ～13 日
- 10.30 国宝仁科神明宮の式年造営(工事費 120 万円)
35. 3.31 第一中学校普通教室の北校舎西側が完成
総合グラウンドの野球場完成(工事費 2,800 万円)
- 8.22 片倉甫氏教育委員に任命

- 10.15 総合グラウンドのテニスコート・バレーコート完成(工事費 105 万円、皇太子殿下ご成婚記念)
36. 3.10 上原遺跡の堅穴保存工事完成(工事費 5 万円)
第一中学校北校舎東側完成
- 3.27 皇太子殿下山岳博物館などご視察
- 3.29 第一中学校普通教室・特別教室・管理棟落成(工事費 6,140 万円)
4. 1 第一中学校新校舎に移転し、実質統合中学校となる
山岳博物館が高山植物コマクサの低地栽培に成功
- 6.15 秩父宮妃と高松宮ご夫妻が山岳博物館にご見学
12. 1 第一中学校体育館落成(工事費 2,288 万円)、(第一中学校建設工事が完了)
37. 4. 5 山岳博物館の北ア動物生態グループがライチョウの生態研究結果を学会に発表
- 4.10 皇居外苑保存会からコブハクチョウ一羽が贈られ、木崎湖畔に「白鳥の池」を造って放鳥
6. 8 第 3 回全日本学生ワルデルング(鹿島大谷原)
11. 1 山岳博物館の裏山にカモシカ園を造り、カモシカ「岳子」を放し飼い
38. 1.25 矢口亨氏教育委員に任命
- 2.12 山岳博物館が北アルプス爺ヶ岳で冬期ライチョウ調査
- 5.14 内川金市氏教育委員に任命
- 6.10 針ノ木自然園総合学術調査(黒部の観光開発と並行して、学術的資料を整備)
39. 1. 第三中学校給食室完成
- 5.13 木崎湖「白鳥の池」でコブハクチョウがふ化
- 10.19 西山千明氏、荒井録良氏教育委員に任命
40. 3. 1 山岳博物館が秩父宮記念学術賞受賞
4. 1 仁科台中学校発足。仁科台中学校大町部校、同常盤部校となる
9. 1 山下利彦氏教育委員に任命
41. 4.15 山岳博物館にカモシカ放養園が完成
- 8.22 矢口けさ江氏教育委員に任命
42. 3.31 仁科台中学校完成(工事費 2 億 7,500 万円)
4. 2 中学校 2 校制に伴う新学区による第一中学校の開校式
4. 3 仁科台中学校新校舎で開校式
- 7.27 仁科台中学校体育館完成
- 8.10 五十嵐水卯氏教育委員に任命
43. 9.24 大町小学校校舎1棟全焼
- 12.22 第一中学校技術棟完成
44. 3. 7 百瀬渉氏教育委員に任命
- 11.11 松本明氏教育委員に任命
- 12.10 文化財審議委員会発足
45. 1.31 大町小学校校舎 2 棟完成(工事費 4,980 万円)
- 3.22 平小学校の野口分校(明治 5 年開設)、源汲分校(明治 8 年開設)閉校

- 8. 1 三日町来見原地籍「かしわくずれ1号墳」の埋蔵文化財発掘
- 10.12 大町図書館落成開館(工事費 2,484 万円)
- 11. 2 第一中学校開校 10 周年記念式典
- 46. 8. 4 第一中学校プール完成
- 10 大北地域広域市町村圏事務組合発足
- 10.26 大町小学校開校 100 周年記念式典
- 47. 5. 公民館運営審議会に諮り同和教育事業推進のための年次計画を決定
市内小中学校へ同和教育研究委員を委嘱、学校同和教育の取り組みに着手
- 6.26 同和対策審議会発足
- 8.24 小学校制度審議会「小学校制度」について答申
- 11.20 富山県氷見市と姉妹都市の調印
- 48. 3. 常盤小学校松林の間伐を行い、遊歩道を設けて「健康の森」とする
- 3.25 山岳博物館のニホンカモシカ「太郎」と「辰子」を中国へ贈る
- 3.31 宮下正治氏、横沢監物氏教育委員に任命
- 4. 1 同和対策課を設置、大町市小学校同和教育計画を作成
- 7.30 市民プール完成(工事費約 2,000 万円)
- 49. 1. 5 運動公園建設着工
- 4. 1 教育委員会事務局に社会体育係設置
- 6. 2 常盤小学校東校舎焼失
- 8.22 西山正氏教育委員に任命
- 9. 同和教育推進協議会を設立
- 50. 1. 4 教育委員会内に同和教育係を設置、同和教育指導員 2 名を配置
- 4. 1 大北視聴覚ライブラリー開設
- 7. 1 常盤小学校第 2 グラウンドに夜間照明施設完成
- 8.10 鈴木忠博氏教育委員に任命
- 10. 1 第 24 回長野県公民館大会(大町小学校) ～2 日
- 12. 1 常盤小学校校舎 5 教室完成
- 51. 2.14 第 1 回部落解放市民大会
- 3.31 第一中学校技術棟 2 階増築完成
- 4. 1 少年育成補導センターを教育委員会事務局内に設置
美麻南・北小学校統合により美麻小学校
- 6. 第 1 回同和教育指導者養成講座(常盤地区)
- 7.16 上條為人氏、横沢茂氏教育委員に任命
- 10.31 仁科台中学校開校 10 周年記念式典
- 52. 3.22 平小学校閉校
- 3.31 清水利和氏教育委員に任命
- 4. 1 県からの派遣社会教育主事(スポーツ担当)として花岡実教諭着任(3 年間)
美麻南・北中学校統合により美麻中学校(小中併設校)
- 4. 4 北小学校開校
- 5.13 山岳博物館のニホンカモシカ「岳子」永眠(飼育 21 年 3 か月)

- 6. 企業同和教育連絡協議会設立
- 7. 2 市民憲章を制定
- 7.21 新市庁舎が完成(総工費 11 億 8,000 万円)
- 7.30 国体リハーサル大会の全国選抜少年団サッカー大会 ～31 日
- 11. 解放子ども会設置
- 53. 1.23 常盤小学校で毎週月曜日、弁当持参による米飯給食開始
- 3. 小中学校同和教育計画書を改訂
- 3.10 北小学校校歌・校旗できる
- 4. 同和教育推進教員を配置、市内 6 校を同和教育指定校に指定
- 4. 1 学校体育施設の一般開放始まる
- 部落解放都市宣言
- 大町総合病院に院内学級開設
- 青少年育成会連絡協議会を設置
- 6. 第 1 回市内教職員同和教育研究会
- 7. 9 運動公園陸上競技場(第 3 種公認)完成
- 8. 2 市公民館平支館、旧平小学校へ移転
- 8.15 成人式を夏に変更
- 9.24 遠藤正賢氏教育委員に任命
- 10. 隣組同和教育講座を開設
- 10.15 第 33 回国民体育大会やまびこ国体 ～20 日
- 10.16 やまびこ国体サッカー競技大会
- 10.19 常陸宮両殿下サッカー競技ご観覧
- 11. 5 第 1 回全国健康マラソン大会
- 54. 4. 1 同和教育集会所開設
- 6.20 図書館 2 階へ学習室・収蔵庫を増築完成
- 7. 常盤小学校第 1 グラウンドの高低差 90cm をなくす工事を行う
- 7.23 常盤小学校プール完成
- 9.26 西公園グラウンド夜間照明点灯式
- 11. 9 市史編纂(さん)室設置
- 11.16 仁科神明宮遷宮祭 ～18 日
- 11.29 B&G 財団大町海洋センターオープン
- 55. 4. 市内学校同和教育研究委員会に高校も参加、幼・保・小・中・高一貫の学校同和教育を推進
- 7.25 平グラウンドの夜間照明点灯
- 10. 1 市公民館常盤支館、旧第三中学校へ移転
- 10.31 第一中学校開校 20 周年記念式典
- 56. 2.13 B&G 大町海洋センター武道館完成
- 3.31 社小学校閉校
- 4. 1 一志開平氏教育委員に任命
- 4. 4 東小学校開校

- 4.22 パンダ「ランラン」のはく製を山岳博物館で公開(貸し出し第1号)
～5月5日
- 12.20 北小学校給食棟完成
- 57. 2. 1 砂田繁雄氏教育委員に任命
- 3.13 東小学校校歌発表会
- 3.16 仮称大町西小学校プレイルーム・特別教室完成
- 4. 1 常盤小学校プレハブ校舎特別教室分新設
- 4.28 (財)大町エネルギー博物館開館(工事費 3 億 2,000 万円)
- 6. 5 山岳博物館第三期建物落成開館(工事費 4 億 9,300 万円)
- 7. 9 B&G 大町海洋センター多目的広場完成(旧社小跡地)
- 7.13 児童生徒健全育成推進モデル地区に指定
- 8.18 仮称大町西小学校高学年棟完成
- 58. 3. 小中学校同和教育指導書を作成
- 4. 企業同和教育推進連絡協議会を企業同和教育推進協議会に改称
- 4. 1 市役所出張所(平・常盤・社)を廃止、平・常盤・社に独立公民館を設置
- 5.17 春の花壇コンクールで、第一中学校、文部大臣賞受賞
- 6.25 仮称大町西小学校管理棟完成
- 8.12 北小学校 2 教室増築工事完成
- 8.17 仮称大町西小学校給食棟完成
- 11. 6 第1回常盤少年駅伝大会
- 59. 3.18 仁科台中学校、花壇コンクールで、文部大臣奨励賞受賞
- 4. 1 平公民館・働く婦人の家(複合施設)開館(工事費 3 億 500 万円)
西小学校開校
図書館に障がい者用便所を増築、完成
- 5. 2 運動公園に全天候テニスコート開設
- 6.28 常盤小学校第 2 グラウンドに夜間照明灯増設
- 7. 1 市制 30 周年記念式典
市史第 1 巻・第 5 巻刊行
- 7. 9 西小学校プール完成
- 9.26 第一中学校大規模改修工事(校舎)終了
- 10.10 第 1 回大町健康シティーマラソン
- 10.26 ニホンカモシカ 2 頭、オーストリア・インスブルック市のアルペン動物園を通じて、
ウィーン市のシェーンブルン宮殿動物園へ贈る
- 11.30 国宝仁科神明宮の防災設備が完成(工事費 1,359 万円)
- 12.27 仮称大町南小学校プレイルーム棟完成
- 60. 2.15 シェーンブルン動物園へ贈った雌カモシカの死亡により、再び雌1頭贈る
- 2.18 大町市とインスブルック市、山岳博物館とアルペン動物園が友好提携の調印
- 3.22 仮称大町南小学校普通教室棟完成
- 4. 1 教育委員会事務局に課制を敷き、学校教育課と社会教育課が発足

- 民俗資料館が開館(工事費 1 億 3,000 万円)
 解放子ども会指導委員会を解放子ども会運営委員会に統合
 青少年センターを教育委員会事務局内に設置(旧少年育成補導センター)
 少年教育電話相談開設
- 4.27 アルプスマーモットふたつがいがインスブルック市から山岳博物館に到着、一般公開開始まる
7. 3 青少年育成市民会議発足
- 8.10 B&G 財団大町海洋センターが市へ無償譲渡される
- 8.17 第一中学校大規模改修工事終了(配線工事ほか)
- 8.19 仮称大町南小学校給食棟・特別教室棟が完成、使用開始
9. 1 市史第 2 巻・第 4 巻刊行
11. 1 長野建設労働者研修福祉センター・愛称「サン・アルプス大町」開館(工事費 3 億 5,000 万円)
61. 1.20 仮称大町南小学校管理棟完成
3. 1 市史第 3 巻刊行(全 5 巻完結)
- 3.15 市制 30 周年記念「大町ーきのう、きょう、あした」、県自作教育ビデオ最優秀賞
- 3.24 オオライチョウ 1 つがいインスブルック市から山岳博物館に到着(雌は輸送中に死亡)
4. 1 働く婦人の家、長野建設労働者研修センター補助執行
- 4.20 運動公園野球場落成記念・高等学校招待野球
- 5.10 オオライチョウの卵(5 個)をインスブルック市アルペン動物園長持参(ふ化せず)
- 5.28 大町公民館・文化会館(複合施設)開館(総事業費 16 億 8,800 万円)
- 7.25 第 7 回北信越国民体育大会・山岳競技の部 ～27 日
- 8.10 夏期巡回 NHK ラジオ体操会
- 8.29 第 7 回北信越国民体育大会・サッカー競技 ～31 日
- 9.26 西山謙次氏教育委員に任命
- 9.27 仮称大町南小学校体育館完成(工事費 1 億 8,900 万円)
11. 1 北小学校開校 10 周年記念式典
11. 2 仁科台中学校開校 20 周年記念式典
- 12.30 重要文化財若一王子神社本殿防災施設完成(工事費 1,291 万円)
62. 1.14 仮称大町南小学校屋外環境整備等完成(工事費 3,439 万円)
- 2.11 第 1 回綱引きトーナメント
- 3.20 運動公園弓道場・相撲場完成(工事費 1,860 万円)
- 3.27 南小学校開校祝賀式(総工事費 11 億 2,600 万円)
- 3.30 家庭教育指針「子どもとともにあゆむ」No.1 発刊
4. 3 南小学校開校・入学式
4. 6 加藤寿々子氏、著名作家書簡等を市へ寄贈
- 4.20 運動公園多目的広場完成(工事費 5,710 万円)
5. 5 オオライチョウの卵(9 個)アルペン動物園長持参、30 日ふ化(雌雄各 2)

- 8.13 藤沢彌五衛氏教育委員に任命
- 8.28 第一中学校校舎、体育館大規模改修完了(工事費 4,015 万円)
- 9.20 アルペン動物園開設 25 周年記念行事に市民訪問団参加(13 人) ～30 日
- 11. 3 加藤朝鳥・寿々子両氏にかかわる「著名作家書簡展」文化会館で開く
- 63. 3.30 第一中学校玄関ポーチ、校名板設置(工事費 98 万円)
「市内遺跡分布調査報告書」発刊
家庭教育指針「子どもとともにあゆむ」No.2 発刊
- 3.31 「社会教育計画」発刊
「来見原遺跡調査報告書」発刊
- 4. 南小学校、体力づくり推進校として文部省指定(3 年)
- 4.25 同和教育相談員(4 人)設置
- 7.23 チョモランマ／サガルマタ友好登山記念講演会(文化会館)
- 8. 1 外国青年英語指導助手招致、アラン・ラインステイン氏(米)発令(3.3.31 まで)
- 9.28 運動公園マレットゴルフ南コース完成
- 10.25 県宝若一王子神社三重塔防災施設完成
- 11. 6 運動公園総合体育館完成(工事費 9 億 8,448 万円)
- 12.20 北小学校みどりの少年団結団式
- 平成元 1.21 総合体育館落成記念全日本バレーボール男女選抜リーグ大町大会
- 1.28 運動公園を主会場に「大町雪と氷の博覧会」が開かれる(延べ 6 万 7,000 万人が来場) ～30 日
- 1.31 「大町市の文化財」発刊
- 3.31 「小海戸発掘調査報告書」発刊
- 4. 1 教育委員会事務局に体育課、文化財係設置
勤労青少年ホームを補助執行
- 4. 2 矢口格氏教育委員に任命
- 5.13 附属資料館完成により、夏期大学の再建終わる(総事業費 3 億 4,000 万円)
- 5.17 金田國武氏教育委員に任命
- 5.25 北小学校、春の花壇コンクールで環境庁長官賞受賞
- 7. 山岳博物館で英文パンフレット製作
- 7.15 大町高校初の学校開放講座(書道に 37 人受講)
- 9.13 仁科台中学校大規模改造工事終了
- 9.28 文化会館、北小学校を会場に県公民館大会開催 ～29 日
- 10. 1 共同福祉施設「フレンド・プラザ大町」開館 教育委員会が補助執行
- 10.29 常盤小学校(南小学校)開校 100 周年記念式典
- 12.22 美術博物館構想懇話会が、美術館・歴史民俗博物館構想を市長に報告
- 2. 2. 6 石曾根佐和江氏教育委員に任命
- 3. 2 重要文化財盛蓮寺観音堂防災施設完成(総事業費 1,081 万円)
- 3. 8 シャモア(アルプス・カモシカ)3 頭がインスブルック市から山岳博物館に到着(雄 1、雌 2)

- 3.15 市科学振興賞 第1回授与式
- 3.31 「海の口・一津遺跡調査報告書」発刊
- 7.30 文化公園完成(2億300万円)
- 10. 8 仁科台中学校大規模改造(体育館ほか)終了
- 10.19 県視聴覚放送教育研究大会(第一中ほか)750人 ～20日
- 10.21 県PTA連合会研究大会大北大会(文化会館)
- 10.28 東小学校開校10周年記念式典
- 11. 2 第一中学校開校30周年記念式典
- 12. 1 生涯教育リーダーバンク設立
- 3. 3.25 保健センター・大町公民館分室完成(5億900万円)
東京・立川市と姉妹都市提携
- 4. 1 子どものための郷土冊子発刊、4～6年生に配布
仁科台中学校運動部活動研究推進校として文部省指定(3年間)
- 6.15 IOC総会で長野が1998年冬期五輪開催都市に決まる
- 6.19 暴力追放市民協議会設立総会
- 8. 1 外国人英語指導助手にジョン・クーパー氏(英)発令(5.7.31まで)
- 9.30 仁科台中学校大規模改造工事(技術・家庭科棟)終了
- 10.19 北小学校5年3組、『いいとこカルタ』の作成などで地域づくり大賞を受賞
- 11. 1 山岳博物館開館40周年。記念式典、特別展など実施。インスブルック・アルペン動物園からオオヤマネコ1つがいが贈られる
- 4. 2.14 市婦人団体連絡協議会発足
- 3.31 「中城原・南入日向・西の原遺跡調査書」発刊
- 4.28 エネルギー博物館開館10周年
- 7.14 常盤公民館竣工式(工事費 3億4,600万円)
- 7.26 大町野外美術展「'92夏 アルプス wa ミュージアム」、大町スキー場で開催
～8月25日
- 8. 1 山本茂實文化講演会および「葺」の仲間作品展
- 9. 1 学校週5日制スタート(月1回第2土曜日)
- 9. 7 紀宮清子親王山岳博物館ご来館
- 9.16 皇太子殿下(徳仁親王) //
- 9.22 仁科台中学校大規模改造工事(理科・廊下棟)終了
- 12.15 中学校コンピューター導入
- 5. 2.26 山岳博物館展示改修完成(改修費5,489万円)
- 3.22 「中世・須沼氏居館跡調査概要報告書」発刊
- 3.31 第2期「社会教育計画」策定、発刊
郷土学習冊子改訂
- 4. 1 大町市子ども会育成連絡協議会を設置(旧青少年育成会連絡協議会)
- 4. 2 牛越充氏教育委員に任命
- 5.17 佐々木敬次氏教育委員に任命

- 6. 2 カモシカ 2 頭をオーストリアのシェーンブルン動物園へ贈呈
- 7.19 外国人英語指導助手プリンデーキャサリン・トムシ氏(加)発令
- 9. 3 長野県女と男ふれあいフェスティバル開催
- 9.14 仁科台中学校大規模改造工事(管理棟)終了
- 10. 8 長野県社会教育委員研修会開催
- 10.26 生涯学習推進の基本的な考え方、体制について社会教育委員が答申
- 6. 2.24 「山岳博物館総合案内書」発刊
- 3.10 「5,000 年前のムラ跡の調査概要報告書(後山・大行原遺跡)」発刊
- 3.22 「中世・須沼氏居館跡調査概要報告書」No.2 発刊
- 「1,700 年前のムラ跡の調査概要報告書(中城原遺跡)」発刊
- 3.24 西小学校体育館竣工式(事業費 4 億 700 万円)(起工 5.6.21・竣工 6.2.25)
- 4. 1 社会教育課を生涯学習課に、社会教育係を生涯学習係、同和教育係を同和推進係に改称(同和対策を補助執行)
- 大町公民館分室に社会教育指導員設置
- 7.18 生涯学習推進プラン策定委員会発足(17 名、委員長に菅沢徹夫氏)
- 9.20 女性行動計画策定委員会発足(10 名、委員長に牛越充教育長)
- 9.26 西澤徳市氏教育委員に任命
- 10. 1 市民意識調査「女性プランにあなたの声を」を実施
- 10.15 第 1 回生涯学習推進フォーラム開催(サン・アルプス、岡本包治氏講演)
- 10.29 アルプスマーモット 1 つがいがアルペン動物園から山岳博物館に到着
- 11.11 長野県青少年育成県民大会開催(文化会館)
- 12.27 運動公園屋内体育館完成
- 7. 3.10 「5,500 年前の耳飾り製作ムラ跡の調査概要報告書(藪沢 I・II 遺跡)」発刊
- 3.15 「居谷里湿原保存調査報告書」発刊
- 3.18 「中城原 II(中城原遺跡報告書)」発刊
- 3.23 市制 40 周年記念国際交流事業大町市少年少女合唱団インスブルック訪問
～30 日
- 3.31 大町市生涯学習推進プラン「いきいき学習エンジョイライフ大町」策定、発刊
おおまち女性プラン「ともに生きる喜びめざして」策定、発刊
- 4. 1 教育次長および青少年女性係を新設
- 6.23 生涯学習のまちづくり推進本部発足
- 6.28 女性問題懇話会発足
- 8. 生涯学習のまちづくり出張講座開設
- 8.13 遠藤正人氏教育委員に任命
- 9.23 第 1 回ロマン街道「塩の道」産業と文化フェスティバル開催 ～24 日
- 10.23 大町市文化会館開館 10 周年記念式典
- 11. 生涯学習リーダーバンク開設
- 11.20 山岳博物館イヌワシ舎竣工(1,066 万円)
- 11.26 第 1 回男女共生フォーラム開催
- 8. 3. 6 「大町市指定文化財調査書第 2 版大町市の文化財」発刊

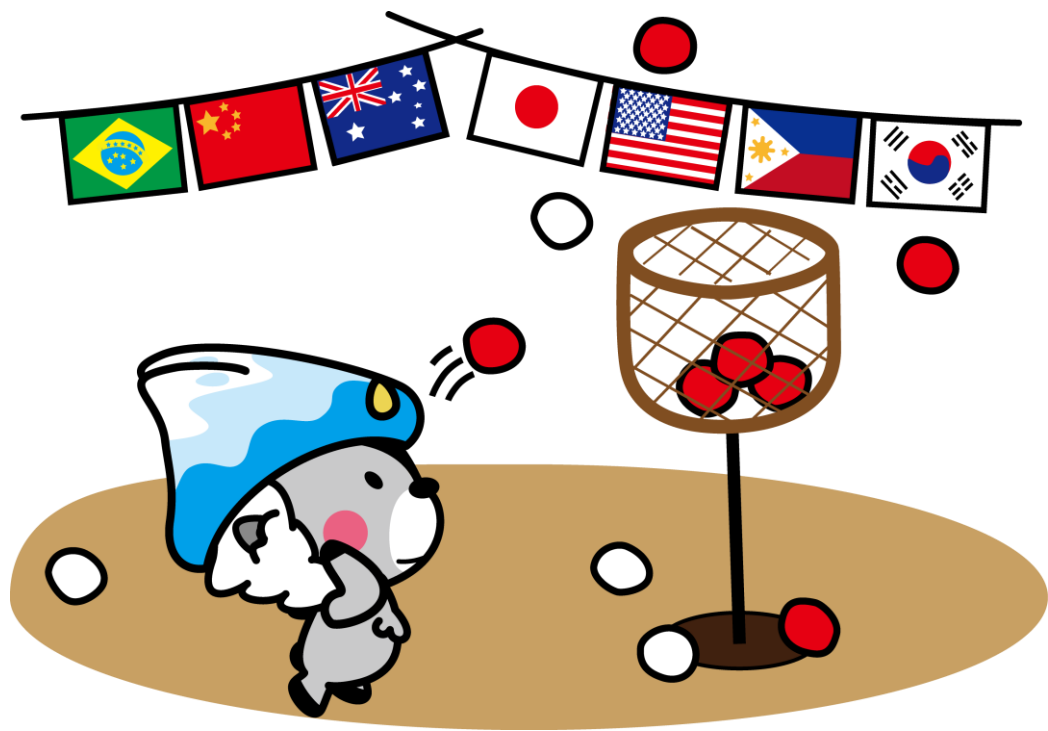
- 4. 1 学校教育指導員を配置
- 9.30 「大町市の絵馬」発刊
- 11. 2 大町北小開校 20 周年記念式典
- 9. 1.14 大町南小児童クラブ開所(常盤公民館)
- 4. 2 荒井和比古氏教育委員に任命
- 4. 7 「ギャラリー・いーずら」オープン
- 10. 3 「郷土学習冊子」新訂版発行
- 3. 新図書館竣工
- 5. 学社融合推進委員会設置
- 10. 4 第 3 期「大町市社会教育計画」策定
- 11. 3 幸町教員住宅竣工(12 戸)
- 11. 4 平成 14 年度から実施の総合的な学習の時間の試行事業として、大町市公民館が企画運営する学社融合事業を北小学校 5 年で 1 年間授業として実施
- 11. 8 大町市と坂北村の子ども会交流会を坂北村で開催(翌年は平公民館で開催)
- 11.10. 1 新図書館オープン
- 人権擁護審議会設置
- 12. 1. 大町市人権教育のための国連 10 年推進本部設置
- 5. 人権と暮らしに関する意識調査実施
- 8.31 第 1 回ライチョウ会議
- 13. 4. 2 丸山一由氏教育委員に任命
- 4.22 平運動場整備竣工式。記念ソフトボール大会
- 5.17 中山弘幸氏教育委員に任命
- 7. 1 市内全小中学校に学校評議員会設置
- 8. 6 宇宙飛行士(若田光一氏)講演会(文化会館)
- 9.24 山岳博物館創立 50 周年記念登山。爺ヶ岳
- 9.28 第 15 回全日本シニアソフトボール大会開催(48 チーム) ～30 日
- 10. 「第 2 次大町市生涯学習推進プラン」発刊
- 10.13 山岳博物館 50 周年記念式典、シンポジウム(文化会館)
- 10.28 チルドレンズミュージアム開催(サンアルプス)
- 11.20 長野県青少年育成県民大会開催(文化会館)
- 14. 2. 6 横澤幸子氏教育委員に任命
- 3.15 山岳文化都市宣言
- 3.16 山岳博物館展示改修完成(改修費 3,980 万円)
- 4. 6 こども体験学習号(バス)運行開始
- 5.24 第 20 回全国シニアソフトボール大会開催(96 チーム) ～27 日
- 6. 同和対策「特別措置法」失効に伴い、関係する市条例、規則等を改正
- 9.26 眞嶋強志氏教育委員に任命
- 15. 3. . 「人権教育のための大町市行動計画」策定
- 4. 第 4 期「大町市社会教育計画」発刊

- 8.13 矢口博文氏教育委員に任命
- 16. 4. 1 働く婦人の家を「女性未来館ピュア」に名称変更する
- 4. 4 大町市蔵の音楽館竣工
- 5.15 大町市文化会館スケートボードパーク竣工
- 7. 6 第一中学校全面改築工事起工式
- 7.26 外国人英語指導助手ウィリアム・ハビントン、タミー・クライトン(加)発令
- 10.16 市制施行 50 周年記念式典
- 17.11.25 第一中学校新校舎開き
- 18. 1. 1 大町市・八坂村・美麻村合併 新大町市誕生
- 1.24 大町高校と大町北高校の存続を守り育てる市民会議設立
- 2.11 合併記念式典(文化会館)
- 2.22 県立高校の発展と存続を願う会県庁包囲行動(県庁)
- 3.24 青色パトロール車出発式
- 3.27 新児童センター完成
- 5.27 第 30 回長野県知事杯争奪選手権マレットゴルフ大会(運動公園)
- 6.10 第 44 回北信越壮年ソフトボール大会(～11)
- 第 10 回北信越シニアソフトボール大会(～11)
- 10.28 大町北小学校 30 周年記念式典
- 11.10 仁科台中学校 40 周年記念式典
- 11.25 八坂中学校 60 周年記念式典
- 11.26 美麻小中学校 30 周年記念式典
- 12.22 第一中学校竣工式
- 19. 3 「第 3 次大町市生涯学習プラン」発刊
- 4 第 5 期「大町市社会教育計画」発刊
- 19.12.25 美麻公民館移転
- 20. 3.30 「大町市人権教育及び人権啓発に関する基本方針」策定
- 8. 5 仁科台中学校全面改築工事起工式
- 21. 4. 1 荒井今朝一氏教育委員に任命
- 4. 文部科学省人権教育総合推進地域事業指定(3年間)
- 5.17 川上茂代氏教育委員に任命
- 7.27 外国人英語指導助手ソン ティリム発令
- 8. 3 // チェロ アントニー発令
- 11. 6 大町南小 120 周年記念式典(新型インフルエンザ流行のため印刷物等の配布)
- 12.18 仁科台中学校新校舎開き
- 22. 2. 6 藤井一男氏教育委員に任命
- 9.26 布施知子氏教育委員に任命
- 12.14 仁科台中学校完成式

23. 8.13 黒田幸雄氏教育委員に任命
11.3 山岳博物館 60 周年記念式典(JAホール アプロード)
24. 3. 第 6 期「大町市社会教育計画」発刊
4.20 山岳図書資料館開館
25. 4. 1 荒井今朝一氏教育委員に任命(再任)
5.17 川上茂代氏教育委員に任命(再任)
7.29 外国人英語指導助手クリーバ ブリトニー発令藤井一男氏教育委員に任命(再任)
26. 2. 6 山岳博物館リニューアルオープン
3.29 「第 4 次大町市生涯学習プラン」発刊
26. 3 「大町市スポーツ推進計画」策定
美麻小学校及び美麻中学校に学校運営協議会設置
26. 4. 1 (コミュニティスクール化、小中一貫教育導入)
外国人英語指導助手マツケイ クリストファー発令
8. 3 仲原直美氏教育委員に任命
9.26 大町市制施行60周年・合併10年記念『未来を担う子どもたちの芸術交流事業』
10.11 (小学校児童絵画展、中学生吹奏楽演奏、和太鼓演奏)実施
「ふるさと・きのう・きょう・あした 私たちの大町」新訂第4版発行
27. 3 八坂小学校及び八坂中学校に学校運営協議会設置
27. 4. 1 (コミュニティスクール化)
八坂小学校、美麻小学校、八坂中学校、美麻中学校で小規模特認校制度開始
山岳博物館ライチョウ舎竣工式
7. 4 大町市・立川市姉妹都市交流中学生サミット開催(於:大町市)
- 7.18-19 黒田幸雄氏教育委員に任命(再任)
8.13 大町東小学校 35 周年記念式典
10.31 第1回大町市総合教育会議
11.17 大町市出身(南小、仁科台中卒業)奥原希望選手、大町市特別栄誉賞受賞
28. 1.25 常盤公民館太陽光発電設備設置
28. 3 長野県大町高等学校及び長野県大町北高等学校閉校
3.31 長野県大町岳陽高等学校開校
28. 4. 1 大町南小学校及び大町北小学校に学校運営委員会設置
(コミュニティスクール化)
生涯学習リーダーバンク制度改定
28. 4 乗鞍岳よりニホンライチョウの卵を山岳博物館にて受入れ、飼育開始
6.21 大町市・立川市姉妹都市交流中学生サミット開催(於:立川市)
- 7.16-17 大町市出身(南小、仁科台中卒業)奥原希望選手、リオデジャネイロ五輪バドミントン女子シングルス銅メダル獲得
8.19 大町市出身(南小、仁科台中卒業)奥原希望選手、大町市特別栄誉賞受賞
8.29 (祝賀パレード、銅メダルをお祝いする会開催)
- 9.30-10.1 美麻小中学校 40 周年記念梨の木祭

- 10. 1 仁科台中学校 50 周年記念式典
- 10.15 ライチョウ会議長野大会開催(於:大町市文化会館)
- 10.21 大町北小学校 40 周年記念音楽会
- 28. 10 長野県信濃美術館移動展開催(ギャラリー・いーずら)
- 12. 8 美麻小中学校「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰受賞
- 12.10 ニホンライチョウ2羽逸出(うち1羽についてはその日のうちに捕獲)
- 12.11 大町市文化会館開館 30 周年記念式典
- 12.28-29 第 3 回第 2 の奥原希望発掘プロジェクト実施
- 29. 3 第 7 期大町市社会教育計画策定
- 29.3.31 鹿島槍ヶ岳カクネ里雪溪(氷河)調査団活動終結(26~28 年度)

II 学 校 教 育



学 校 教 育

基 本 方 針

これからの学校教育は、生涯学習の基礎づくりをすることを前提において、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応しうる心豊かでたくましい人間性を培うことを目標とします。そのために、以下のことを視点にすえて具現を図っていきます。

- 1 常に、自発的・創造的に学び続ける強い意志と態度を育むために、一人ひとりが自分の課題をもち、自ら追求する問題解決的な学習や体験学習をとおして、学び方が身につくようにします。
- 2 発達段階に応じた基礎的・基本的な学習内容の習熟、生活の仕方についての能力と習慣の形成を図ります。
- 3 一人ひとりの個性や能力を生かすことを中心として、個性ある学級、特色ある学級づくりを進めます。
- 4 大町市の宝である自然や、仁科文化、山岳文化などを土台とした、豊富な地域素材を学習課程に位置づけて、郷土に対する理解と郷土愛の心を育てます。
- 5 学校の教育機能や施設を地域へ広く開放するとともに、地域の教育力を学校へ生かしていくように努めます。また、児童生徒の調査や観察、実習などの体験活動を地域ぐるみで促進します。
- 6 心身に障がいをもつ児童生徒が社会的に自立できるよう、障がいの種類や程度に応じた教育を推進します。
- 7 児童生徒が助け合い支えあう中で、各種ボランティア活動への積極的な参加を図るとともに、福祉教育や環境教育、安全教育、同和教育、性教育などの内容を充実します。

1 市内小中学校

(1) 小学校

学 校 名	開設年月日	所 在 地	校 長 名	T E L F A X 有 線
大町東小学校	昭和56年4月1日	大町市社6700番地	やま だ あきら 山 田 晃	TEL. 22-0611 FAX. 23-3174 有線 22-0611
大町西小学校	昭和59年4月1日	大町市大町4733番地3	やま ぎき しげ のり 山 崎 茂 則	TEL. 22-0019 FAX. 22-1133 有線 22-0019
大町南小学校	昭和62年4月1日	大町市常盤3543番地1	まる やま たか のり 丸 山 高 徳	TEL. 22-0521 FAX. 22-0647 有線 22-0521
大町北小学校	昭和52年4月1日	大町市大町5806番地8	とく ぼら つぎ ひさ 徳 原 嗣 久	TEL. 23-0190 FAX. 22-0740 有線 23-0190
八坂小学校	昭和61年4月1日	大町市八坂1090番地	い とう ひろ みつ 伊 藤 浩 光	TEL. 26-2010 FAX. 26-2144
美麻小学校	昭和51年4月1日	大町市美麻27503番地	しお しま まなぶ 塩 島 学	TEL. 29-2004 FAX. 29-2667

(2) 中学校

学 校 名	開設年月日	所 在 地	校 長 名	T E L F A X 有 線
第一中学校	昭和34年4月1日	大町市大町4528番地	しお ぼら まき じゆ 塩 原 雅 由	TEL. 22-1262 FAX. 22-4779 有線 22-1262
仁科台中学校	昭和40年4月1日	大町市大町3759番地	きた ざわ たけ し 北 澤 猛 史	TEL. 22-1817 FAX. 22-0290 有線 22-1817
八坂中学校	昭和22年4月1日	大町市八坂11648番地	い で じゅ いち 井 出 寿 一	TEL. 26-2020 FAX. 26-2020
美麻中学校	昭和52年4月1日	大町市美麻27503番地	しお しま まなぶ 塩 島 学	TEL. 29-2004 FAX. 29-2667

(3) 中間教室

名称	開設年月日	所在地	適応指導員	T E L
大町市 アルプスの家	平成6年6月20日	大町市大町4710番地	丸 山 峯 男 竹 内 千代子 清 水 眞 弥	TEL. 23-6418

東大町東小学校



大町東小学校 校歌

一、仁科の里の 城あとに

緑も深く 風かおり

朝陽に映ゆる 学舎は

豊かな理想 育みて

永久に栄ゆる 東小

二、鹿島の峰や 爺蓮華

千古の雪の アルプスを

仰ぎて鍛う 身と心

大きな希望 掲げつつ

ともに励まん わが友の

三、文化の息吹き 豊かなる

歴史の郷に 生うけし

誇りをわれら 受けつぎて

学びの道を めざしつつ

ともに進まん わが母校

作詞 高橋 恭男
作曲 飯沼 信義

◆標高 7 1 4 m ◆東経 1 3 7 度 5 2 分 ◆北緯 3 6 度 2 9 分

URL <http://higashisho.city-omachi.ed.jp/>

Email higashisho@higashisho.city-omachi.ed.jp

【グランドデザイン】

学校教育目標

・きたえる

心身共にたくましい子ども

・思いやる

やさしさのある子ども

・求める

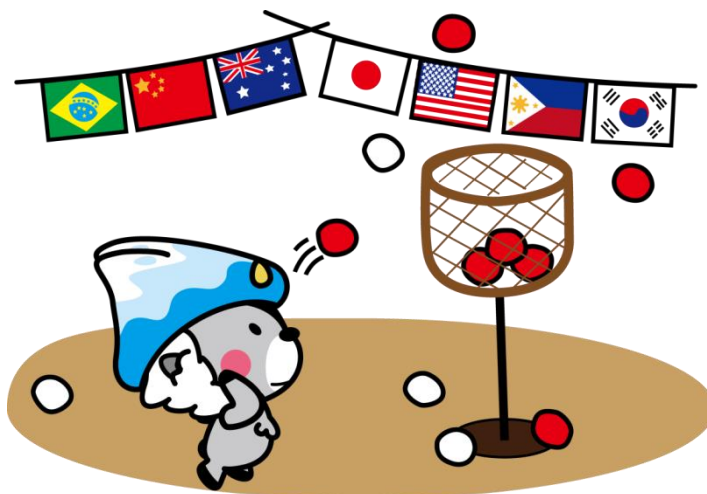
自ら課題をもって学ぶ子ども

本年度の重点目標

(1) 「支えあい、高め合う学校」

(2) 「深く考え、表現する授業」

		自ら学ぶ 共に学ぶ	
<p>たくましい体 たくましい心</p> <ul style="list-style-type: none"> ○チャレンジランニング ○マラソン記録会 ○全校体育 ○新体力テスト ○ながのスポーツスタジアム ○児童会活動 	<p>あいさつ ふれあい 支え合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ○あいさつ ○学年・学級づくり ○道徳・人権教育 ○交流活動 ○飼育、栽培活動 ○食育 ○児童会活動 	<p style="text-align: center;">授業改善</p> <p><国語></p> <ul style="list-style-type: none"> ・叙述に即し根拠を明らかにして自分の考えを書く読解学習 ・慣用句・ことわざ・敬語などの言語の学習 ・6年間を見通した 読む力・書く力 の積み上げ <p><算数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎となる事項(四則計算、公式、文章題、量と単位)の定着 ・数学的な考え方への取り組み <p>※「見とどけ」を大切に授業づくり</p>	<p style="text-align: center;">家庭学習</p> <p><低学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・音読、計算などの基礎基本を中心に家庭学習習慣の定着 <p><中学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・音読、計算などの基礎基本を継続的に取り組みながら、文章題にも取り組む <p><高学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識や技能の定着の課題だけでなく、それを活用する課題を意図的に出題
		<p>全校研究テーマ</p> <p>「主体的に学びあい、豊かに表現する子どもの育成」</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆一人一人の子どもの実態に合う教育課程編成・生活改善への指導 ☆一人一人の子どもの考えを自分の言葉で表現できるための授業研究 ☆学年に応じた学習指導・評価の決め出し、確かな学力をつけるための授業改善 	



大町西小学校



大町西小学校 校歌

一、日本の屋根よ 信濃なる
北安曇野の 大空に
朝日の光 照り映ゆる
大山脈の 峯々や
千古の雪を 頂きて
我等をいだき そびえたり
瀬の音清き 高瀬川
三湖に澄みし 水みちて
流れ静けき 農具川
祖先ら代に ひらきたる
仁科の里の ゆえふかき
我等は此処に 生まれたり
豊かに広き 学園に
楽しからずや 集い来て
明るき窓に 大庭に
まことのおしえ 学びつつ
心をみがき 身をきたえ
我等正しき 人たらん
世界の文化 日に進む
ひらけしゆくて 思わばや
希望に燃ゆる この我等
睦び励まん 時の間も
わが大町の 名を負いて
つとめ果さん もろともに
わが秀霊の大自然
わが学園に光あれ

作詞 藤沢 古実
作曲 高木 東六

◆標高729.7m ◆東経137度51分 ◆北緯36度30分
URL <http://nishisho.city-omachi.ed.jp/>
Email nishisho@nishisho.city-omachi.ed.jp

【グランドデザイン】

1. 平成28年度 本校の求める教育の願い (グランドデザイン)

学校教育目標 ●たくましい子どもに ●思いやりのあるこどもに ●進んでやる子どもに

合い言葉 本気で取り組み常に一流をめざそう

問題解決を大切にした授業





大町南小学校



大町南小学校 校歌

一、大町南小学校

ここは瞳の輝く広場
明るいあいさつ呼びかう広場
きょうも ともだちいっぱい
ほほえみかわす 顔と顔
さしのべる 心の手
この地 このまちこの学校で
ぼくたち わたしたち
結ぼう 互いの心のきずな

作詞 関口 武
作曲 飯沼 信義

二、大町南小学校

ここは力のみなぎる広場
すてきな若さのはじける広場
ホップ ステップさいジャンプ
流れ出る 熱い汗
高鳴る 鼓動のハーモニー
この地 このまちこの学校で
ぼくたち わたしたち
作ろう磨こう からだどころ

三、大町南小学校

ここは光のあふれる広場
みどりの風のがれる広場
大地のぬくもり 樹のかおり
冴えわたる 高い空
自然のめぐみが いっぱいの
この地 このまちこの学校で
ぼくたち わたしたち
学ぼう励もう 未来をめざして

◆標高 685m ◆東経 137度 51分 ◆北緯 36度 27分

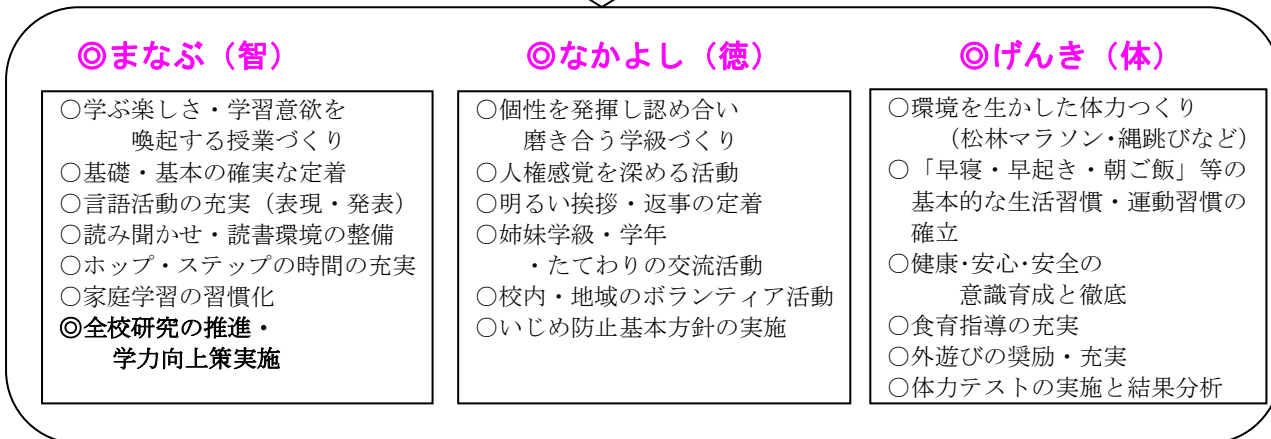
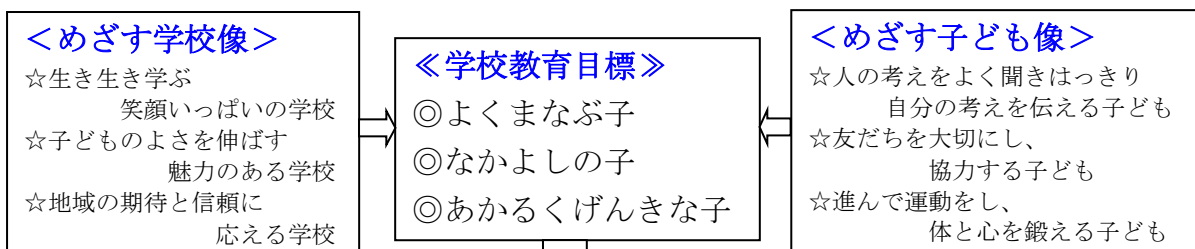
URL <http://minamisho.city-omachi.ed.jp/>

Email minamisho@minamisho.city-omachi.ed.jp

【グランドデザイン】

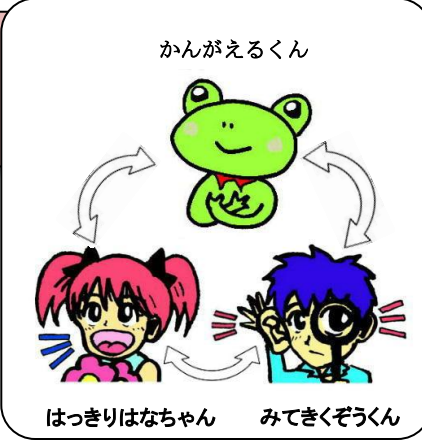
平成28年度

大町南小学校の教育



本年度の重点目標 もっと かんがえる
 自分で考え、話して考え、聞いて考え、考えを深めていく子ども

- < 授業改善に向けてのアプローチ >**
- 主体的な学びにつながる学習問題の提示
 - 対話・協働を大切に位置付けた学習活動
 - 一人一公開授業と、重点教科・連学年等での授業研究



<全校研究テーマ> 『主体的に学び合い、自分の考えを深める子どもの育成』
 重点研究教科（外国語・道徳・算数）

- <学力向上のために>**
- 読書活動の充実（「本とも」コーナー・リスト チェックカードの活用 本の紹介文の取り組み）
 - ホップ・ステップの時間の充実（クリア・チャレンジ問題の活用 作文ワーク書取等の統一的な実施）
 - 信州型コミュニティスクールの推進
 （「地域と学ぶ『常盤の達人学習プログラム』」の推進 日常的学習支援の検討）

<p>< きらり おおまち サン*プラン ></p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">こころづくり</p> 「あいさつ」「読書」「おてつだい」	<p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">からだづくり</p> 「歩き」「運動」「外遊び」	<p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">リズムづくり</p> 「早寝」「早起き」「朝ごはん」 「ルールを決めてスイッチオフ」
---	---	--



大町北小学校



1977 年開校式

1986 年 10 周年航空写真

1996 年 20 周年砦

2006 年 30 周年中庭

大町北小学校 校歌

作詞 勝野 義人
作曲 飯沼 信義

一、鹿島に爺に 蓮華岳

銀の山なみ 高くして

窓辺にせまる 学舎の

声ははるかに こだまする

励もうわれら たゆみなき

努力の先に 希望あり

二、静かに澄める 木崎湖や

青木・中綱 水清し

心はぐくむ 学舎の

われらつなごう 愛の手を

体をきたえ 胸はって

進む未来に 夢はあり

三、仁科の里は 豊かにて

流れは遠し 高瀬川

白く輝く 学舎の

窓に理想の 旗かかげ

きのうに重ね あすへゆく

われらの日々は 新たなり

◆標高 759. 1 m

◆東経 137 度 51 分

◆北緯 36 度 31 分

URL <http://kitasho.city-omachi.ed.jp/>

Email kitasho@kitasho.city-omachi.ed.jp

【グランドデザイン】

平成28年度 大町北小学校グランドデザイン【概略版】

— 学校教育目標 —
自ら学び 心豊かに 生きぬく子

具体目標

かしこく

学び方を学びながら、主体的に学習に取り組む子

なかよく

自分や友達、周りの人々とのかわりを大切に、共に育とうとする子

たくましく

目標に向けて、自分の体や心をたくましく育てる子

「できなかったことができるようになる」

読書

- ◎見方や考え方を高めるために読書を充実していきます。
 - ・朝読書の時間の確保
 - ・北小100冊・読書会
 - ・教科とつながる読書
 - ・読み聞かせや家庭読書の推奨
- ◎学習することを明確にした授業を行います。
 - ・体験的な活動を取り入れた授業づくり
 - ・アクティブラーニング（※1）
 - ・めりはりのある授業
 - ・ICT機器の活用（※2）
- ◎基礎・基本が定着するための支援の充実をしていきます。
 - ・ドリルの時間
 - ・基本的学習習慣の定着
 - ・家庭学習とのつながりを意識した授業づくり
 - ・チーム支援(少人数学習・合同学習 T・T指導等)

あいさつ

- ◎うれしい言葉を伝えられるようにしていきます。
 - ・児童会によるあいさつ運動の充実
 - ・ハイタッチ Day
 - ・語先後礼
- ◎分かり合い助け合える仲間作りのために異年齢交流活動を充実していきます。
 - ・縦割り班交流、姉妹学級交流
 - ・縦割り清掃
 - ・いっしょに帰ろう Day
- ◎居心地のよい学校にするために児童会の活動を大切にしていきます。
 - ・つたえあいつながる児童集会
 - ・北小10の合言葉
 - ・いじめしま宣言
 - ・北小開校40周年記念活動への取り組み

スマイルマラソン

- ◎励まし、協力し合いながら継続的に取り組めるスマイルマラソンを行います。
 - ・年間一人200周
 - ・学校全体で地球1周4万kmを目標に地球一周マラソン
 - ・いっしょに走ろう Day
- ◎健康的な生活習慣を進んで身に付けられるようにしていきます。
 - ・元気アップカードの取り組み
 - ・保護者と子どもとつくる元気作り調べ
 - ・自分から進んで取り組む清掃
 - ・心をみがくピカピカ清掃
- ◎晴れた日は外遊びを奨励していきます。
 - ・自分から進んで体を動かす指導の充実
 - ・スポーツ委員会の呼びかけ等児童会活動の活性化
 - ・朝やアルプスの時間の活用

北小10の合言葉 ～卒業生からの贈り物～

- | | |
|------------------|---------------------------|
| ① 明るいあいさつ 自分から | ⑥ チャイムの前に 行動を |
| ② ろうかは静かに 歩く場所 | ⑦ 進んで動く 静かなそうじ |
| ③ 体で聴くよ 人のお話 | ⑧ やさしい気持ちで「ありがとう」「ごめんなさい」 |
| ④ 進んで話す 自分の思い | ⑨ ちょこっと ちょこっと 人のため |
| ⑤ 目標こえよ スマイルマラソン | ⑩ いじめはないよ 大町北小 |

あいサポ (あいうえおサポート)

学校と家庭で連携して子どもを育てるサポートプラン

あ あたたかい言葉がけと肯定的なかかわり!



い いっしょにつくろう生活リズム!



う うごかそう体、元気よく!



え えがおで挨拶・返事・靴そろえ!



お おおいに読書・家庭学習!



※1 アクティブラーニング 課題の発見と解決に向けて主体的・協同的に学ぶ学習
※2 ICT (Information and Communication Technology) 情報通信技術

八坂小学校



八坂小学校 校歌

作詞 高橋 渡

作曲 中田 喜直

一、こぶし湧き咲く 春の日 青葉の夏よ

夢 美しくふくらませ

いきいきと育ちゆく

いのちのいのち もえる花

心は豊か ぼくもわたしも

八坂の小学生

二、かえで色づく 秋の日 吹雪の冬よ

意思 たくましく培って

はつらつと伸びてゆく

ちからのちから 翔ける鷹

心は強く ぼくもわたしも

八坂の小学生

三、光したたる ふるさと 未来の時よ

知恵 しなやかに磨きあげ

りんりんと進みゆく

のぞみのぞみ つける道

心は弾む ぼくもわたしも

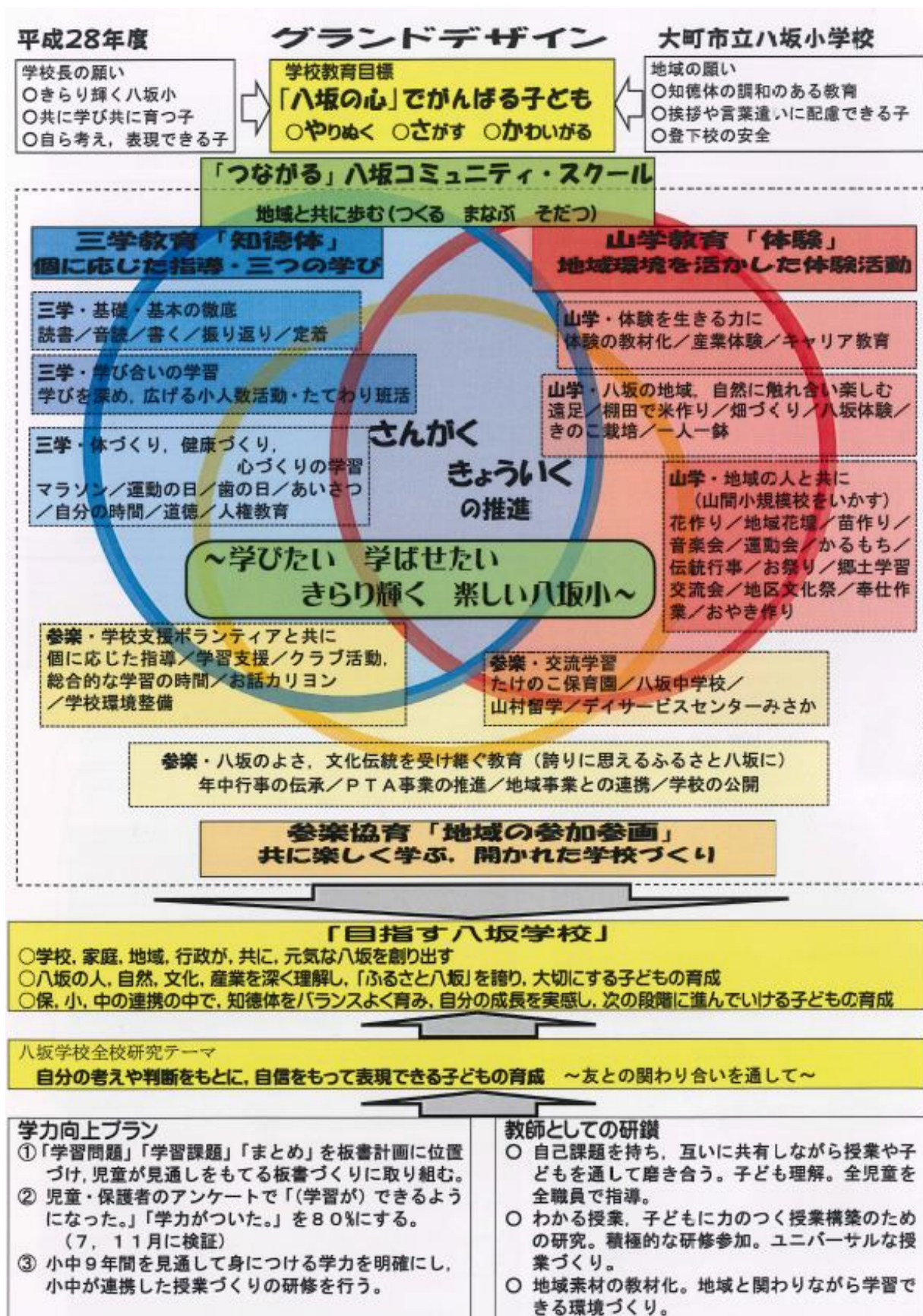
八坂の小学生

◆標高 748.34m ◆東経 137度54分 ◆北緯 36度29分

URL <http://yasakasho.city-omachi.ed.jp/>

Email yasakasho@yasakasho.city-omachi.ed.jp

【グランドデザイン】



第一中学校



第一中学校 校歌

作詞 勝 承夫

- 一、仰ぐ紺碧 信濃の空は
若い力の あふれる空だ
つらなる嶺も 清らかに
自立の英気 湧くところ
大町一中 われらの誇り
- 二、仁科三湖に 高瀬の谷に
春は夢よぶ こぶしの花よ
いろどる秋の 紅葉にも
平和の理想 なごやかに
大町一中 こころの故郷
- 三、すさぶ寒風 吹雪も堪えて
芽ぶく若草 われらの胸に
白聖の窓も アルプスも
明日待つ夕 晴れわたり
大町一中 かがやく母校

◆標高730m ◆東経137度51分 ◆北緯36度30分

URL <http://daiichi.city-omachi.ed.jp/>

Email daiichi@daiichi.city-omachi.ed.jp

【グランドデザイン】

平成28年度 第一中学校グランドデザイン

教育目標・峻嶺に輝く一中生

【経営の理念】

「聴く学校」

～互いの存在を丸ごと受け入れ、相手のことばや心の叫びに耳を傾ける～

めざす学校像1 生徒をとりまく問題を授業で解決する学校

めざす学校像2 SimpleでSlimな教育を行う学校

【経営の概要】

《 学校づくりのねらい 》

「聴く学校」を合言葉とする学校づくりと、協働の学びを軸とした授業実践を通して、学力を高め、自立した学び手を育成する

(協働の学びとは、「聴く、問う」からはじまる対話活動を基盤として、課題について少人数で互恵的に語り合うこと)

(学ぶ力)

わからないと言うこと 友達の声に耳を傾けること 自分のわからなさを追究すること

自立した学び手の姿 (聴く生徒の具体)

- ・「聴く、問う」からはじまる対話活動により問題を解決する生徒
- ・いつでも、どこでも、だれにでもあいさつする生徒
- ・もくもくと汗を流してそうじをする生徒

《 教育課題と重点 》

教育課題

協働の学びの質を高めること

(重点1・学びづくり)

智恵を出し合わなければ乗り越えられない必然性・切実感のある問題・課題により対話を活性化する

(重点2・集団づくり)

生活上の諸問題の解決に向けた対話活動を通して、生徒間に支え合う人間関係を構築する

《 教育システム 》

○自立した学び手が育つ学習システム

- ・全ての授業で思考スキルの習得を目指す。考えの根拠や考えた過程を可視化するために思考ツールとICTを活用する。

○地域との協働システム

- ・地域と共に学校づくりを進める。一中を育てる会を中心に、生徒のスポーツ文化活動やキャリア教育の充実を図る。

○職員の研修システム

- ・職員のキャリアアップを図る研修体制を整備する。研修内容は、課題研修、専門研修、マネジメント研修とする。



仁科台中学校



仁科台中学校 校歌

作詞 諏訪 和夫

作曲 岡本 敏明

一、ああ さわやかな 安曇野の

蓮華に爺に 鹿島槍

銀の山なみ 高き下

みよ 眉あげて 自主の意気

掲げてはゆる 仁科台

二、ああ 水清き 高瀬川

絶壁くんだり 谷めぐり

ひらく豊かな 地と文化

おお ここに建つ 友愛の

灯ともる母校 仁科台

三、ああ 氷雪の いく月か

耐えてもえいず いっせいに

郷土の色の あざやかさ

みよ 希望もて ねばりぬく

わが誇りみつ 仁科台



◆標高725m

◆東経137度51分

◆北緯36度29分

URL <http://nishina.city-omachi.ed.jp/>

Email nishina@nishina.city-omachi.ed.jp

【グランドデザイン】

平成28年度 仁科台中学校グランドデザイン

学校教育目標

「自主」「友愛」「根性」

学校長の願い

- ① 挨拶が響き渡る学校
- ② 夢がもて夢が語れる生徒
- ③ いつでも感謝の気持ちもてる生徒
- ④ 明日学校へ来ることが楽しみになる生徒・職員

めざす生徒の姿

一人ひとりが輝く学校

- ☆ 勉強に魂を打ち込む生徒
- ☆ 礼儀に篤い生徒
- ☆ 勤労に喜びをもつ生徒
- ☆ 健康安全に気を配る生徒

生徒の実態

- 校内で元気に挨拶ができる。
- 集会時の入退場、話を聞く姿勢がよい。
- 学んだ学力についてはある一定の到達度に達している。
- 素直で言われたことはできる。
- △ 苦しい場面でのたくましさや粘り強さに弱い面がある。
- △ 表現力、発表力にやや弱さを感じる。
- △ ボランティア活動に充実感を味わえていない。

本年度の重点

50年を節目に、足下を見つめ基礎固めをする

- ①学力・体力を伸ばす ②伝統を継承・創造する ③仁の心を育む

指導の基本姿勢

- 生徒の具体的な姿を見つめ、語り、褒める指導・支援を
- 授業で勝負する
- 生徒、保護者、地域との信頼関係づくりを
- 常に人権感覚を磨く自分に
- 凡事徹底、「時を守り、場を清め、礼を正す」

研究テーマ

伝えあう力を育む指導のあり方

～小集団の話し合い活動を通して～

研究・研修の充実

- 1 授業のねらいを明確に据え、本時の高まりを実感する展開
→ねらいに沿った学習課題の設定、終末時の自己評価の習慣化
- 2 一人ひとりが活躍できる楽しい授業をめざす
→協働的な学び（話し合い、教え合う活動）の日常化
- 3 授業と家庭学習をつなげ、充実を図る
→放課後学習の実施 ねらいの明確化 読書活動の充実
- 4 ボランティア活動の充実を図る
→目標の明確化と地域の一員としての自覚

学校評価アンケートの到達目標

…（保護者・生徒27年度）

- (1) 学校生活が楽しい
…（保58%）→70%
- (2) 楽しく安心できる
…（保60%）→70%
…（生60%）→70%
- (3) 「分かる」「できる」授業
…（保57%）→70%
…（生63%）→70%
- (4) 授業のねらい
…（生74%）→80%
- (5) 授業中話し合い活動
…（生72%）→80%
- (6) ボランティア活動の充実
…（保56%）→60%
…（生47%）→60%
- (7) 読書活動の充実
図書館の本22846冊→
25000冊（1人60冊）借りる

【保護者・地域の皆様と共に <仁科コミュニティスクールの立ち上げ>】

- * 地域に積極的に飛び込み、地域の教育力を取り込む学校
- * 生徒の成長を地域、保護者の皆さんと一緒に考える学校
- * 地域に愛される学校

「きらりおおまちサンプラン」

- 「こころづくり」①あいさつ・読書・お手伝い 「からだづくり」②歩き・運動・外遊び
「リズムづくり」③健康・体力



八坂中学校



八坂中学校 校歌

一、耳を澄ませて
聴こうよ きみ ぼく
せせらぐ金熊 わきたつ希望
風青く わたつて谷を
あなた わたし
愛は夢を 夢は愛を
かがやく瞳に注ぎ
三年をここに 八坂のわれら
健やかに
空の高みを

二、

あおぐよ きみ ぼく
白い馬は駆け たかなる理想
城が嶺 けだかい姿
あなた わたし
真理さがし 誠もとめ
清かに心はずみ
その名も雄々し 八坂のわれら
聴くあれ
りんと顔あげ
進むよ きみ ぼく
悲しみ悩みも つきぬく英知
鷹狩を いろどる朝陽
あなた わたし
熱い祈り 冴える思い
漲る生命を染めて
未来の時へ 八坂のわれら
高く翔ぶ

三、

◆標高 610m ◆東経 137度55分 ◆北緯 36度30分

URL <http://yasakachu.city-omachi.ed.jp/>

Email yasakajh@yasakachu.city-omachi.ed.jp

【グランドデザイン】

平成28年度 八坂中学校グランドデザイン

学校教育目標【やさかの心】とめざす生徒像

◇やりぬく根性
【たくましい子ども】

◇さがし求める気迫
【進んで学ぶ子ども】

◇かわいがる心情
【思いやりのある子ども】

【地域・保護者の願い】

- ・のびのびと安心できるみんなが主役の学校。
- ・少人数だからできる教育をしてほしい。
- ・自分の考えをしっかりと発表できることや合唱など、今のよさをつなげてほしい。
- ・八坂に誇りを持ち、自信と強い心を育ててほしい。

【生徒の姿】

- ・挨拶ができ、明るく素直で諸活動に誠実に取り組むことができる。
 - ・異年齢集団の中で共に協力することができる。
 - ・自分の考えを進んで話せる。
- △学校外で自分の力を出し切ることが苦手な面が見られる。

協働する学校～生徒・職員・保護者・地域でつくる学校

【本年度の重点】

八坂コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の構築

「学習意欲」を高める

- 小中一貫教育を通して学習意欲を高め、学力向上を図る
- ①小中9年間のつける力の明確化と小中共通の具体的な取り組みの実践
- ②小中合同授業研究
 - ・小中共通研究テーマの設定
 - 「話し合いを通して友と関わり、自分の考えを表現する子ども（仮）」
 - ・小中共通教科（国語、算数数学）での合同授業研究会（年2回）
 - ・授業研究週間（10/17～21）
- ③家庭学習の充実（*重点3）
家庭学習を通して自己マネジメント力を高める
 - ・「小中9年間の学習の手引き」の作成
 - ・自主学習ノートの利用
 - ・放課後10分間の「自学タイム」
 - ・家庭学習強化週間（12/5～18）
- ④小6体験入学（3日間）
中学生ティーチャー授業、合同授業

「対話力」を高める

- 話し合い活動を通して対話力を高める
- ①話し合い活動の充実（*重点1）
生徒にとって切実な課題を設定して話し合いの質を高める
 - ・話し合いたいくなる課題の設定
 - ・話し合いサイクルを授業につくる（個→グループ→全体→個）
 - ・自分の考えの変化を振り返る
 - ・分からないと言える学級づくり
 - ・話し合いを深めるためのICTの活用
- ②生徒会活動
話し合いによって全校で創る生徒会
 - ・「しゃべり場やさか」
 - ・生徒総会

「社会力」を育む

- 多くの人と関わる中で社会力を育む
- ①生徒会活動
 - ・ガードレール磨き
 - ・ふるさと清掃
- ②総合的な学習の時間の充実（*重点2）
地域の大人と関わりながら、地域について自分の考えを持ち、地域に発信する
- ③地域特産そば学習
- ④全校職場体験学習（2日間）
- ⑤学習支援ボランティアによる補習授業（水曜日、夏休み3日間）
- ⑥外部講師による授業と進路講話
- ⑦他校との交流「1日仁中の日」
- ⑧山留センターとの連携

生徒による授業評価、保護者アンケートで、各項目のA評価50%以上を目指す。

<きらり おおまち サンプランの取り組み>

- こころづくり・・・「あいさつ」「読書」「お手伝い」 ①気持ちのよい挨拶 ②全校朝読書・読み聞かせ（月曜日）
- からだづくり・・・「歩き」「運動」「外遊び」③徒歩通学 ④体力向上月間（4～5月） ⑤全校運動、全校リレー
- リズムづくり・・・「早寝」「早起き」「朝ごはん」「ルールを決めて、スイッチオフ」⑥小中合同学校保健委員会

<職員研修の充実>

- ・「見に来てカード」によるお互いの授業を見合う校内研修
- ・授業研究週間（10/17～21）
- ・小中合同授業研究会（年2回11/21 12/19）
- ・小中合同職員会での研修（非違行為防止、マナーなど）
- ・市開催の各研修への参加（学力向上、ICT活用、コミュニティ・スクール等）



美麻小中学校



美麻小中学校 校歌

作詞 中山 渡
作曲 小林 秀雄

一、白樺芽吹く日 紅葉の日々も

きたえる体 たくましく

はぐくむ心 すこやかに

白馬の 気高き求め

伸びゆくわれら

美麻 美麻 はずむ響の

おお美麻

二、緑葉そよぐ日 吹雪の日々も

知恵の輪ひろげ つつましく

友情あつく あたたかに

戸隠の きびしさひめて

輝くわれら

美麻 美麻 清きすがたの

おお美麻

三、浅間嶺あおぐ日 希望の日々よ

梨の木峯の 丘に立ち

文化の光 かかげつつ

山川の流れのように

未来へわれら

美麻 美麻 はばたく夢の

おお美麻

◆標高 952m

◆東経 137度53分

◆北緯 36度34分

URL <http://miasa.city-omachi.ed.jp/>

Email miasaej@miasa.city-omachi.ed.jp

【グランドデザイン】

1 平成28年度 美麻小中学校の教育

自律した学習者が育つ一貫教育学校 経営ビジョン

【目指す学校像】 授業を根幹と考える学校

【一貫校のねらい】 個の生き方や考え方を尊重する学校づくりにより、児童生徒が心と体をひらいて学ぶ授業を通して、生涯学び続けるための基礎力を養い、自律した学習者を育成する。

【教育システム】 自律した学習者へと導く学習システム

◇義務教育9年間を4・3・2に区分し、三つの課程を「協働の学び」でつなぎ、5～9年生は教科担任制を実施する。

地域・保護者との協働システム

◇地域や保護者、学校運営協議会の声に傾聴し、パートナー会議と協働しながら学校づくりを推進する。

教師力を高める研修システム

◇課題研修・共通研修・マネジメント研修により、教職員一人一人の力量を高め、指導観を更新する。



2 学校施設

(平成 28 年 4 月 1 日現在)

学 校 名	校 舎		給 食 棟 他		屋 内 運 動 場		校			地				
	保有面積 m ²	構 造 m ²	保有面積 m ²	構 造 m ²	保有面積 m ²	構 造 m ²	校舎敷地 m ²	屋外運動場敷地 m ²	他 m ²					
小	大町東小学校	鉄筋 鉄骨	5,899	5,625 274	404	鉄筋 鉄骨	315 89	1,002	鉄筋	1,002	17,107	13,715	2,605	33,427
	大町西小学校	鉄筋 鉄骨	7,360	6,963 397	409	鉄筋 鉄骨	308 101	1,218	鉄筋	1,218	21,626	13,169	1,138	35,933
	大町南小学校	鉄筋 鉄骨	5,812	5,608 204	375	鉄筋 鉄骨	294 81	1,092	鉄筋	1,092	19,207	9,275	7,028	35,510
	大町北小学校	鉄筋 鉄骨 木造	6,636	6,415 194 27	347	鉄筋 鉄骨	270 77	1,051	鉄筋 鉄骨	982 69	17,158	11,750	3,439	32,347
学 校	八坂小学校	鉄筋 鉄骨	2,861	2,678 183	255	鉄筋	255	1,027	鉄筋	1,027	7,040	8,190	13,385	28,615
	美麻小学校	鉄筋	1,346	1,346	504	鉄筋 鉄骨	379 125	574	鉄骨	574	10,634	992	1,579	13,205
	計		29,914	28,635 1,252 27	2,294	鉄筋 鉄骨 木造	1,821 473	5,964	鉄筋 鉄骨	5,321 643	92,772	57,091	29,174	179,037
	第一中学校	鉄筋 木造	6,681	6,375 306	304	鉄骨	304	2,123	鉄筋	2,123	14,508	12,455	3,552	30,515
中 学 校	仁科台中学校	鉄筋 鉄骨	6,983	6,695 288	420	鉄筋 鉄骨	350 70	2,511	鉄筋	2,511	16,926	17,331	—	34,257
	八坂中学校	鉄筋 鉄骨 木造	2,167	2,136 22 9	216	鉄骨	216	1,198	鉄筋	1,198	6,781	9,388	—	16,169
	美麻中学校	鉄筋 鉄骨	2,015	1,847 168	—	—	—	653	鉄骨	653	175	11,956	988	13,119
	計		17,846	17,053 478 315	940	鉄筋 鉄骨 木造	350 590	6,166	鉄筋 鉄骨	5,513 653	38,390	51,130	4,540	94,060

3 学校別児童生徒および学級数

(1) 小学校

(平成28年5月1日現在)

学校名	1学年		2学年		3学年		4学年		5学年		6学年		計		教職員数		特別支援学級の児童数							
	男女	計	学級	男女	計	学級	男女	計	学級	男女	計	学級	男女	計	学級	教員数	学年	1	2	3	4	5	6	計
大町東小	18 (1)	36 (1)	2	19 (1)	34 (1)	1	14 (1)	31 (6)	16 (1)	30 (2)	1	10 (0)	21 (2)	40 (3)	2	8	知的障害			1				2
大町西小	11 (0)	31 (0)	1	24 (3)	42 (5)	2	24 (2)	43 (2)	23 (4)	47 (5)	2	18 (1)	46 (1)	49 (1)	2	9	知的障害		1		1	1		3
大町南小	23 (1)	38 (1)	2	22 (4)	42 (5)	2	27 (4)	51 (7)	27 (4)	42 (4)	2	15 (2)	55 (2)	46 (3)	2	9	知的障害		1		1	1	2	5
大町北小	15 (0)	49 (3)	2	20 (1)	61 (2)	2	30 (0)	52 (2)	37 (1)	67 (1)	2	40 (2)	59 (1)	69 (0)	2	14	知的障害		2	1	1		2	6
八坂小	1 (0)	1 (0)	(1)	1 (0)	4 (1)	1	3 (0)	9 (0)	2 (0)	5 (0)	1	7 (0)	9 (0)	9 (1)		6	知的障害							0
美麻小	5 (1)	10 (3)	1	2 (2)	4 (2)	1	1 (0)	9 (1)	4 (0)	5 (0)	1	5 (1)	8 (3)	9 (0)	1	5	知的障害	2	2			2		6
合計	92 (5)	165 (8)	8	97 (12)	187 (16)	9	109 (10)	195 (18)	109 (10)	196 (12)	9	88 (7)	198 (12)	222 (8)	10	51	計	8	16	18	12	12	8	74
	73 (3)			90 (4)			87 (2)					110 (5)				110								

(2) 中学校

学校名	1学年			2学年			3学年			計			特別支援学級の生徒数			計		
	男女	計	学級	男女	計	学級	男女	計	学級	男女	計	学級	教員数	学年	1		2	3
第一中	男	44 (1)	87 (4)	3	39 (2)	88 (2)	3	38 (4)	90 (4)	3	121 (7)	265 (10)	9	18	知的障害	2	1	4
	女	43 (3)			52 (0)			69 (1)			137 (5)			192 (6)	400 (17)	12	16	情緒障害
仁科台中	男	66 (1)	139 (4)	4	57 (4)	124 (8)	4	69 (1)	137 (5)	4	192 (6)	400 (17)	12	22	知的障害		1	3
	女	73 (3)			67 (4)			68 (4)			208 (11)			18	18	情緒障害	4	7
八坂中	男	2 (0)	9 (1)	1	5 (0)	12 (0)	1	8 (0)	12 (1)	1	15 (0)	33 (2)	3	7	知的障害			0
	女	7 (1)			7 (0)			4 (1)			18 (2)			6	6	情緒障害	1	
美麻中	男	4 (2)	8 (3)	1	10 (0)	16 (1)	1	4 (0)	13 (0)	1	18 (2)	37 (4)	3	6	知的障害	1		1
	女	4 (1)			6 (1)			9 (0)			19 (2)			4	4	情緒障害	2	1
合計	男	116 (4)	243 (12)	9	111 (6)	240 (11)	9	119 (5)	252 (10)	9	346 (15)	735 (33)	27	53	計	12	11	10
	女	127 (8)			129 (5)			133 (5)			389 (18)			44		33		

※ 児童・生徒数の()内の数字は、特別支援学級の数を外数で表す

※ 教職員数の()内の数字は、兼務校で配置されている数を外数で表す

※八坂小学校1学年と2学年は複式学級

4 小中学校教職員数

(平成28年5月1日現在)

学校名	県										市										費			合		計
	校長	副校長	教頭	教諭	教諭	養護教諭	養護助教授	講師	事務職員	栄養職員	計			教員	事務職員	図書館事務員	栄養職員	給食調理員	校務員	計			男	女	計	
											男	女	計							男	女	計				
大町東小学校	1		1	13	1			1	1					1	2	1	1	3	1	1	1	8	9	19	27	
大町西小学校	1		1	16	1		4	1	1	1				1	2	1		4	1	1	1	8	9	25	34	
大町南小学校	1		1	20	1			1	1					1	2	1	1	4	1	2	2	8	10	25	34	
大町北小学校	1		1	16	1			1	1	1				1	2	1		5	1	2	2	8	10	18	32	
八坂小学校	1		1	5	1		2	1	1	1				1	1				1	1	1	1	2	6	14	
美麻小学校		1		9	1			1	1					1	1		1	3	1	1	1	6	7	5	20	
計	5	1	5	79	6	1	8	6	3	43	71	114	10	4	5	3	19	6	8	6	39	47	51	110	161	
第一中学校	1		1	18	1			1	1	14	9	23	3	1	1	1	4	4	1	4	7	11	18	16	34	
仁科台中学校	1		1	21	1		4	1	1	19	10	29	2	1	1	1	5	5	1	3	8	11	22	18	40	
八坂中学校	1		1	7	1			1	1	6	6	12							1	1	0	1	7	6	13	
美麻中学校	1			8						6	4	10								0	0	0	6	4	10	
計	4	0	3	54	3	0	7	3	0	45	29	74	5	2	2	2	9	3	8	15	23	53	44	97		
合計	9	1	8	133	9	1	15	9	3	88	100	188	15	6	7	5	28	9	16	16	54	70	104	154	258	

※ () は臨時職員を内数で表す
 ※ 育児休業代替者を含む

5 外国人英語指導助手（中学校配置）

氏 名	国 籍	契約期間
クリーバー ブリトニー ケイト CLEAVER BRITTANY KATE	オーストラリア	平成25年7月29日～平成29年7月28日
マッケイ クリストファー ウィリアム MCKAY CHRISTOPHER WILLIAM	アメリカ合衆国	平成26年8月3日～平成29年8月2日

6 通学区

（1）小学校

学 校 名	通 学 区 域
大町東小学校	社の全区域および大町のうち八日町、神栄町、五日町、旭町、日の出町、仁科町、光明町、東町、下白塩町、昭電アパート
大町西小学校	大町のうち大黒町、相生町、九日町、六九町、上仲町、下仲町、名店街、高見町、南原町、堀六日町、白塩町、山田町、北山田町、宮田町、幸町、北原町、十日町、桜田町、若宮町、東若宮町、西若宮町、高根町、大新田町、和町
大町南小学校	常盤の全区域
大町北小学校	平の全区域および大町のうち居谷里、三日町、俵町、不二塚町、大原町、大原2号団地、中原町、東中原町、栄町、若原町
八坂小学校	八坂の全区域
美麻小学校	美麻の全区域

（2）中学校

学 校 名	通 学 区 域
第一中学校	平の全区域および大町のうち居谷里、三日町、俵町、不二塚町、大黒町、相生町、九日町、六九町、白塩町、山田町、北山田町、大原町、大原2号団地、中原町、東中原町、栄町、幸町、宮田町、若原町、和町
仁科台中学校	常盤および社の全区域ならびに大町のうち上仲町、下仲町、名店街、八日町、神栄町、五日町、旭町、日の出町、仁科町、光明町、高見町、南原町、堀六日町、東町、下白塩町、北原町、十日町、桜田町、若宮町、東若宮町、西若宮町、大新田町、高根町、昭電アパート
八坂中学校	八坂の全区域
美麻中学校	美麻の全区域

7 小規模特認校制度

大町市では、平成27年4月から、八坂小学校、美麻小学校、八坂中学校及び美麻中学校は、市内全域から通学できる小規模特認校となりました。小規模学校ならではの特色を生かして、地域と連携した学校づくりに取り組んでいます。

☆平成27年度実績

	八坂小・八坂中			美麻小・美麻中		
	男	女	合計	男	女	合計
小1		1	1	3		3
小2		1	1		1	1
小3			0			0
小4			0			0
小5			0			0
小6			0		2	2
中1（7年）			0	1	3	4
中2（8年）	1		1			0
中3（9年）			0		1	1
合計	1	2	3	4	7	11

8 就学相談委員会取扱件数

(平成27年度)

区 分	取扱件数	相 談 結 果					
		通常学級	通級指導	特別支援学級	特別支援学校	就学猶予	その他
在 籍 者	42	5	9	28	0	0	0
来 入 児	31	20	0	10	1	0	0
計	73	25	9	38	1	0	0

9 就学援助

(1) 要保護および準要保護児童生徒援助費

(平成27年度)

区 分	小 学 校		中 学 校	
	人 員	金 額	人 員	金 額
学用品購入費・通学用品費	138人	1,776,757円	85人	1,962,923円
体育実技用具費	10	190,225	2	72,750
校外活動費 (宿泊を伴わないもの)	132	528,393	8	16,856
校外活動費(宿泊を伴うもの)	20	49,261	39	291,989
新入学児童生徒学用品費等	26	520,990	23	541,650
修学旅行費	23	716,787	20	1,327,148
医療費	7	50,930	0	0
学校給食費	136	7,164,220	84	4,714,277
計	138	10,997,563	85	8,927,593

(2) 特別支援教育就学奨励費

(平成27年度)

区 分	小 学 校		中 学 校	
	人 員	金 額	人 員	金 額
学用品購入費	46	254,570円	19人	195,300円
校外活動費(宿泊を伴うもの)	5	5,908	11	33,055
新入学児童生徒学用品費等	10	89,052	5	58,875
修学旅行費	3	31,320	4	112,740
校外活動費 (宿泊を伴わないもの)	44	25,728	0	0
体育実技用具費	3	28,565	0	0
学校給食費	46	1,200,626	18	488,603
計	46	1,635,769	19	888,573

(3) 遠距離通学費補助

スクールバスの運行状況

(平成27年度)

	利用者数	委託金額
東小スクールバス	24	7,756,560
北小スクールバス	53	10,038,114
北小・第一中スクールバス	63	11,516,450
仁科台中スクールバス	20	7,711,200
八坂小中スクールバス	18	5,048,568
美麻小中スクールバス	85	16,615,260
臨時運行スクールバス		5,070,375
計		63,756,527

遠距離通学扶助の状況

(平成27年度)

	金額
小学校遠距離通学扶助費	418,750
中学校遠距離通学扶助費	4,645,030
計	5,063,780

10 中学校卒業後の状況

(1) 年度別状況

(平成28年3月卒業)

年 度	卒 業 者			進 学 者			就 職 者			そ の 他					
	男	女	計	男	女	計	率	男	女	計	率	男	女	計	率
平成 20	170人	153人	323人	169人	151人	320人	99.1%	0人	0人	0人	0.0%	1人	2人	3人	0.9%
21	186	124	310	184	123	307	99.0	1	0	1	0.3	1	1	2	0.6
22	167	145	312	166	144	310	99.4	0	0	0	0.0	1	1	2	0.6
23	162	170	332	160	169	329	99.1	0	0	0	0.0	2	1	3	0.9
24	169	149	318	168	149	317	99.7	1	0	1	0.3	0	0	0	0.0
25	155	123	278	154	123	277	99.6	0	0	0	0.0	1	0	1	0.4
26	165	144	309	164	140	304	98.4	0	0	0	0.0	1	4	5	1.6
27	127	118	245	126	118	244	99.6	0	0	0	0.0	1	0	1	0.4

※進学者には就職進学者を含む
(平成28年3月卒業)

(2) 学校別状況

年 度	卒 業 者			進 学 者			就 職 者			そ の 他					
	男	女	計	男	女	計	率	男	女	計	率	男	女	計	率
第一中学校	58人	40人	98人	58人	40人	98人	100.0%	0人	0人	0人	0.0%	0人	0人	0人	0.0%
仁科台中学校	62	69	131	61	69	130	99.2	0	0	0	0.0	1	0	1	0.8
八坂中学校	3	5	8	3	5	8	100.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
美麻中学校	4	4	8	4	4	8	100.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
計	127	118	245	126	118	244	99.6	0	0	0	0.0	1	0	1	0.4

※進学者には就職進学者を含む

(3) 進学の様況

(平成28年3月卒業)

学校名	進学者数	高校(公立)		高校(私立)		高専	その他	地域別			
		定時制		定時制				市内	郡内	県内	県外
		全日制	定時制	全日制	定時制						
第一中学校	98	86	2	7	0	1	2	49	11	37	1
仁科台中学校	130	121	1	4	0	3	1	70	19	40	1
八坂中学校	8	6	0	2	0	0	0	1	3	0	4
美麻中学校	8	7	0	1	0	0	0	4	1	3	0
合計	244	220	3	14	0	4	3	124	34	80	6

(4) 就職の様況

(平成28年3月卒業)

学校名	就職者数	就職地域別			産業別			
		市内	郡内	県内	県外	第1次産業	第2次産業	第3次産業
第一中学校	0	0	0	0	0	0	0	
仁科台中学校	0	0	0	0	0	0	0	
八坂中学校	0	0	0	0	0	0	0	
美麻中学校	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	0	

1 1 奨 学 金

(1) 奨学金の貸し付け

ア 貸し付けの対象者

高等学校（高等専門学校等課程及び専修学校高等課程を含み、通信制の課程を除く）
又は大学（短期大学、高等専門学校専門課程及び専修学校専門課程を含み、大学院及び通信制の課程を除く）に在学する者で次の要件に該当する者

- (ア) 市内に居住する者又は生活の根拠を有する者
- (イ) 成績が優秀で身体が強健であること
- (ウ) 品行方正であること
- (エ) 経済的理由により就学が困難と認められること
- (オ) 独立行政法人日本学生支援機構、県その他の団体から別に学資等を受けていないこと

イ 貸付金額

高 校 生 月額 15,000 円以内

大 学 生 月額 30,000 円以内

ウ 返済方法

卒業後6か月後から貸付期間の倍の期間以内に返済する。

(2) 貸付数

年 度 対象区分	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
高 校 生	4 ^人	3 ^人	6 ^人	5 ^人	4 ^人	1 ^人	0 ^人	1 ^人	3 ^人	3 ^人
大 学 生	14	13	15	15	7	7	5	2	2	4
計	18	16	21	20	11	8	5	3	5	7

年 度 対象区分	23	24	25	26	27	28
高 校 生	2 ^人	0 ^人	0 ^人	0 ^人	0 ^人	0 ^人
大 学 生	2	2	1	1	2	2
計	4	2	1	1	2	2

1 2 私学振興

(1) 私学に対する父母負担の軽減

(平成27年度)

補助対象者	基準人数	補助単価	補助人数	補助金額	備考
朝鮮学園在籍者	1人	9,000円	1人	9,000円	学園に補助
私立高校在籍者	1人	22,000円	101人	2,222,000円	保護者に補助

1 3 教員住宅

(平成28年5月1日現在)

住宅名	所在地	建設年度	床面積 (m^2)	戸数	使用料 円
幸町教員住宅	大町市大町4692-1ほか	平成10年	33.7	6	19,000
			78.3	6	29,000
館の内教員住宅	大町市社5610-2	47	43.6	6	8,000
俵町教員住宅	大町市大町5722-5	60	80.7	2	21,000
		62	80.7	2	21,000
		平成元年	45.6	2	14,000
桜田町教員住宅	大町市大町3841-1	63	80.7	1	23,000
旭町教員アパート (借上)	大町市大町2952-2ほか	平成13年	31.2	6	26,000
			50.2	6	29,000
大平教員住宅	大町市八坂1008-イ3	53	66.0	1	4,000
	大町市八坂1112	56	66.0	1	4,000
明野教員住宅	大町市八坂701-1	平成7年	50.0	4	20,000
長平教員住宅	大町市美麻11291-1	50	67.0	1	4,200
		49	58.0	1	5,300
北原教員住宅	大町市美麻11566ほか	50	58.0	2	4,200
	大町市美麻11568	54	45.4	2	3,200
前田教員住宅	大町市美麻11727-1	55	45.4	2	3,200

14 コミュニティスクール

コミュニティスクールとは

コミュニティスクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。コミュニティスクールには、保護者や地域住民などから構成される学校運営協議会が設けられ、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べるといった取組が行われます。学校運営協議会の主な役割として、

- ・「校長の作成する学校運営の基本方針を承認する」
- ・「学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べる」
- ・「教職員の任用に関して教育委員会に意見が述べられる」

の三つがあります。これらを通じて、保護者や地域の皆さんの意見を学校運営に反映させることができ、自分たちの力で学校をより良いものにしていこうとする意識が高まり、継続的・持続的に「地域とともにある、特色ある学校づくり」を進めることができます。

(1) 学校運営協議会を置く学校

ア 大町市立美麻小中学校

学校運営協議会指定日 平成26年4月1日

イ 大町市立八坂小学校・中学校

学校運営協議会指定日 平成27年4月1日

(2) 信州型コミュニティスクール

長野県教育委員会が独自に行っている「学校と地域の連携・協力を推進する事業」で、学校運営に保護者や地域住民が参画・評価を行う国の「コミュニティスクール」と、地域ぐるみで支える国の「学校支援地域本部事業」を組み合わせた機能を持つ仕組みです。

子どもの教育や学校運営について話し合う学校運営委員会を設置し、学校と地域が「こんな子どもを育てたい」という願いを共有しながら、一体となって子どもを育てることを推進します。又、地域と共にある学校として、地域住民の皆さんに日常的に学校に来ていただき、子どもたちを見守り、支援していただきながら、学校と地域の協働を推進します。

ア 学校運営委員会を設置している学校

- ・大町市立大町南小学校
- ・大町市立大町北小学校

イ 学校運営委員会の設置を予定している学校

- ・大町市立大町東小学校
- ・大町市立第一中学校
- ・大町市立大町西小学校
- ・大町市立仁科台中学校

15 ICT活用事業

ICT活用事業について

教育の情報化が飛躍的に進み、教育現場におけるICTを活用した授業は、パソコンが学校に導入されたころと比較すると新たな局面を迎えている。また、社会情勢を踏まえると、情報化のみならず、グローバル化、少子化の急速な進展への対応は喫緊の課題であり、次代を担う児童生徒の知識、技能を高めること、併せて新たな時代に対応できる「実社会に生きて働く素質・能力」を育成することが急務となっている。

そこで大町市では、これらの課題に対応するべく、ICTを学習の効果的なツールとして活用しながら、アクティブ・ラーニングによる授業の活性化を図り、児童生徒の資質・能力の基盤となる思考力・判断力・表現力を高めることを推進していく。また、小学校・中学校の連携や一貫教育を進め、義務教育9年間を通してアクティブ・ラーニングによる授業を実践していく。

(1) ICTを活用した教育推進自治体応援事業

平成27年度より2年間、文部科学省による「ICTを活用した教育推進自治体応援事業」の採択を受け、市内5校を実証校として、理科、算数、数学を中心としてモデルカリキュラムを作成することとした。事業の推進のため、大町市ICT活用推進委員会、大町市ICT活用推進調査研究委員会が信州大学、長野県教育委員会等と緊密に連携し事業を実施するとともに、モデルカリキュラムの検討及び評価を行った。また、作成したモデルカリキュラムについては、市内学校間で情報共有、教科や分野を広げ活用を推進していく。

(2) 研究内容

ア 平成27年度の研究

(ア) 調査研究のガイダンスとなる研修会等の実施

- ① 授業参観による研修
- ② 研修会等による研修
- ③ ICT機器利用の研修

(イ) 公開授業研究会の実施

(ウ) 小中連携または一貫教育におけるカリキュラムの作成

(エ) ICTを活用した授業の蓄積

2 平成28年度の研究

(ア) ICT利活用に関する研修会等の実施

(イ) 公開授業研究会の実施と学習指導案の整理

(ウ) 小中連携または一貫教育におけるカリキュラムの完成

(エ) ICTを活用した授業の蓄積と整理

(オ) まとめ

(カ) 報告および活用

16 キャリア教育

大町市では市内の幼稚園及び保育園、小学校及び中学校並びに高等学校が連携して行うキャリア教育を推進するため、大町市キャリア教育推進協議会を設置して子どもたち一人ひとりの社会的及び職業的自立に向けた取組を支援している。また、市独自に教育委員会内にキャリアサポーターを配置して、中学校や高校を卒業したものの進学や就労をせずに家に引きこもったり、ニート状態にある若者への支援（就職や進学への支援等）に直接あたっている。

(1) 活動の重点

ア 小学生の職場見学及び中学生と高校生との職場体験学習の充実

- 中学校職場体験学習期日の調整
- 受入事業所の開拓（小学校での職場見学を含）
- 学校での事前・事後指導の充実（講師派遣を含）

イ 保護者、地域、事業所等へのキャリア教育の啓発

- 広報紙、ケーブルテレビ、地域文化祭等で職場体験学習の発表機会を提供

ウ キャリアサポーターによる若者支援の充実

- 高校生徒指導担当者との情報交換の実施
- 市内教頭会で卒業生の動向や不登校等の児童生徒の状況等の情報交換
- 就労や進学支援のために、該当する各種機関と随時連携して取り組む
- 不登校の児童生徒やひきこもり者への支援研修会の実施

(2) 活動内容

- 平成28年度大北地区高等学校生徒指導担当者とのキャリア支援懇談会（年2回）
- 各学校で行われるキャリア教育講演会（進路講話等）、職場体験学習マナー研修の講師紹介
- 平成28年度職場体験学習受け入れ事業所一覧表の作成と各学校への紹介
- 高等学校生徒指導及び学級担当とのキャリア支援のための懇談会（一学期中に各校へ訪問）
 - ・エクセラン高校、むつみ高校、つくば開成高校、KTC高校、筑摩高校、創造学園
 - ・大町岳陽高校、白馬高校、池田工業高校（定時制含）
- 市内中学・高校生の職場体験学習への支援
 - ・第一中学校 2年生90名（9月13～14日）
 - ・八坂中学校 1・2・3年35名（6月8～9日）
 - ・仁科台中学校 2年生132名（9月8～9日）
 - ・美麻小中学校 7・8年28名（8月22～23日）
 - ・大町岳陽高校 1年生160名（12月13日）

- 夏休み小学生親子工場見学（商工労政課との共催で2日間）
 - ・「巴産業」、「ラインハルト」、「フジゲン大町工場」、「アルプスウォーター大町工場」の見学（小学生36名、保護者26名参加）
- 平成28年度大町市キャリア教育推進協議会開催
 - ・職場体験学習での実践発表・・・仁科台中学校生徒4名、大町岳陽高校校長
 - ・市内中・高生による職場体験学習実施状況と課題
 - ・キャリアサポーターによる若者支援の状況と課題
 - ・平成29年度キャリア教育推進計画について
- キャリア教育研修会
 - ・市内教職員を対象に実施（参加者12名）
 - ・実施日 平成29年2月7日（金）
 - ・講師 森川 寛 教諭（第一中学校）
 - ・キャリア教育を推進、充実していくためのあり方について研修する。

17 中間教室

中間教室（アルプスの家）では、学校と家庭の連携を密にしながら、児童生徒一人ひとりの状況に応じた支援を行います。それぞれの子どもの状態を見ながら、一日の日課や活動内容を工夫し、集団活動や学ぶことの楽しさ、充実感が実感できるよう支援しています。

（1）アルプスの家

- 設置場所 大町市大町4710番地
- 電話番号 0261-23-6418
- 開所時間 月曜日～金曜日 9時から15時30分
- 平成27年度利用者数（実人数）

	男	女	計
小学校	1人	2人	3人
中学校	3人	3人	6人
合計	4人	5人	9人

18 いじめ防止対策

学校におけるいじめの問題は、これまでは生徒指導と人権教育の両面を中心として、その防止に取り組んで来たが、平成24年度の天津市での事件を受けて、いじめ防止に向けた一層の取り組みが求められている。そこで大町市では、「いじめ防止対策推進法」と「国の基本方針」及び「長野県いじめ防止等のための基本方針」を踏まえ、教育委員会、学校、家庭、地域それぞれの取り組みについて明らかにした「大町市いじめ防止等の基本方針」を定め、これに基づいて子どもたちのいじめ防止に向け積極的に取り組んでいる。

(1) 教育委員会におけるいじめ防止の取組

教育委員会では、いじめ防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するために「大町市いじめ防止等の基本方針」を定め、設置する学校でいじめ防止等の対策が適切に実施されるよう、その支援に取り組む。

ア いじめ防止等に関わる組織の設置

いじめの防止等に関係する機関及び団体との連携を図るため、校長会、PTA連合会、児童相談所、地方法務局、警察署、人権擁護委員会等の代表で構成する「大町市いじめ問題対策連絡協議会」を設置し、いじめ防止等に向けた取組を推進する。

イ いじめ相談ホットラインの設置

市教育委員会内にいじめ相談のための専用電話（教育相談専用電話）を設置して、いじめで悩んでいる子どもたちや保護者への相談にあたる。

ウ 関係機関との連携及び啓発活動の推進

- ・いじめ防止等に向けて学校、家庭、地域や関係機関等との連携を図る。
- ・教育相談やいじめへの対処に関し助言を行うために、学校からの求めに応じて、県教育委員会と連携し、心理や福祉等に関する専門的知識を有する者を派遣する。
- ・いじめ防止等に関わる研修会等を企画実施する。
- ・学校や社会教育団体等が実施するいじめ防止等のための活動を積極的に支援する。
- ・いじめ防止等の重要性及びいじめに関する相談窓口等について広報や啓発を行う。
- ・インターネット等を通じて行われるいじめについては、県教育委員会のネットパトロールによる監視の取組を活用し、適切に対処する。

エ 学校に対する支援

- ・学校からいじめの報告を受けた場合、市教育委員会は学校に対して必要な支援と指導助言を行う。
- ・学校におけるいじめ防止等の取組の点検と充実を支援する。

(2) 学校におけるいじめ防止の取組

学校では、県及び市の方針を受け、校長のリーダーシップのもとに全職員が一丸となっていじめ防止等に取り組む。

ア 基本方針の策定と環境づくり

- ・学校は、県及び市の基本方針に基づき、その学校の実情に応じた「学校いじめ防止基本方針（いじめ防止対策マニュアルを含む）」を策定し、児童生徒や保護者、地域等に周知し連携しながらいじめ防止等に取り組む。
- ・学校は、全ての児童生徒にとって安心・安全で、楽しく充実していると実感できる「心の居場所」となるよう、家庭や地域等と連携し、全校をあげていじめの防止等に取り組む。
- ・全ての教育活動を通じて、道徳教育や人権教育等の充実を図り「心の教育」と「いのちの教育」を推進する。
- ・学級や学年、児童会や生徒会の活動など、いじめを生まない学校とするための児童生徒自らによる主体的な取組を積極的に支援する。

イ いじめ防止及びいじめへの組織的な対処

- ・学校は、いじめ防止等に関する措置を実効的に行うため「いじめ防止等対策委員会」を設置する。
- ・いじめが発生したときは、学級担任等特定の教員が抱え込むことなく、校長のリーダーシップのもと、職員間の緊密な情報交換や共通理解を図って全校体制で対応し、解決するまで継続的に取り組む。
- ・学校においていじめを把握した場合には、速やかに教育委員会に報告するとともに、保護者にも知らせ、必要に応じ主任児童委員、民生児童委員、子ども会育成会、自治会等関係機関と連携を図って対処する。

ウ 児童生徒理解と早期発見・早期対応

- ・日常的な行動観察に加え、定期的なアンケート調査等を実施し、全校的な指導体制でいじめの早期発見・早期対応に努める。
- ・全員の面接実施やスクールカウンセラー等の活用など、教育相談体制を充実する。
- ・いじめにつながるインターネット上での誹謗中傷や不適切な書き込み等を行わないよう、児童生徒への情報モラル教育を充実するとともに、保護者への情報提供と家庭での指導の徹底を求める。

(3) 家庭におけるいじめ防止の取組

家庭では、子ども誰もが「いじめる側」にも「いじめられる側」にもなる可能性があることを理解し、寄り添い支えながらいじめの問題に取り組む。

ア 保護者の責務

- ・保護者は、子どもの教育の第一義的責任を有することを自覚し、子どもがいじめを行うことのないよう規範意識を養うとともに、その他必要な指導を行う。

イ いじめの理解と対処

- ・保護者は市や学校が講ずるいじめ防止等の対策に協力する。
- ・インターネットを通じたいじめの現状について知り、家庭におけるネットモラルの指導とルールづくりを行い、子どもがいじめの加害者や被害者にならないようにする。
- ・いじめが疑われたときは、家庭だけで悩まず、積極的に学校や関係機関等に相談し連携して対応する。

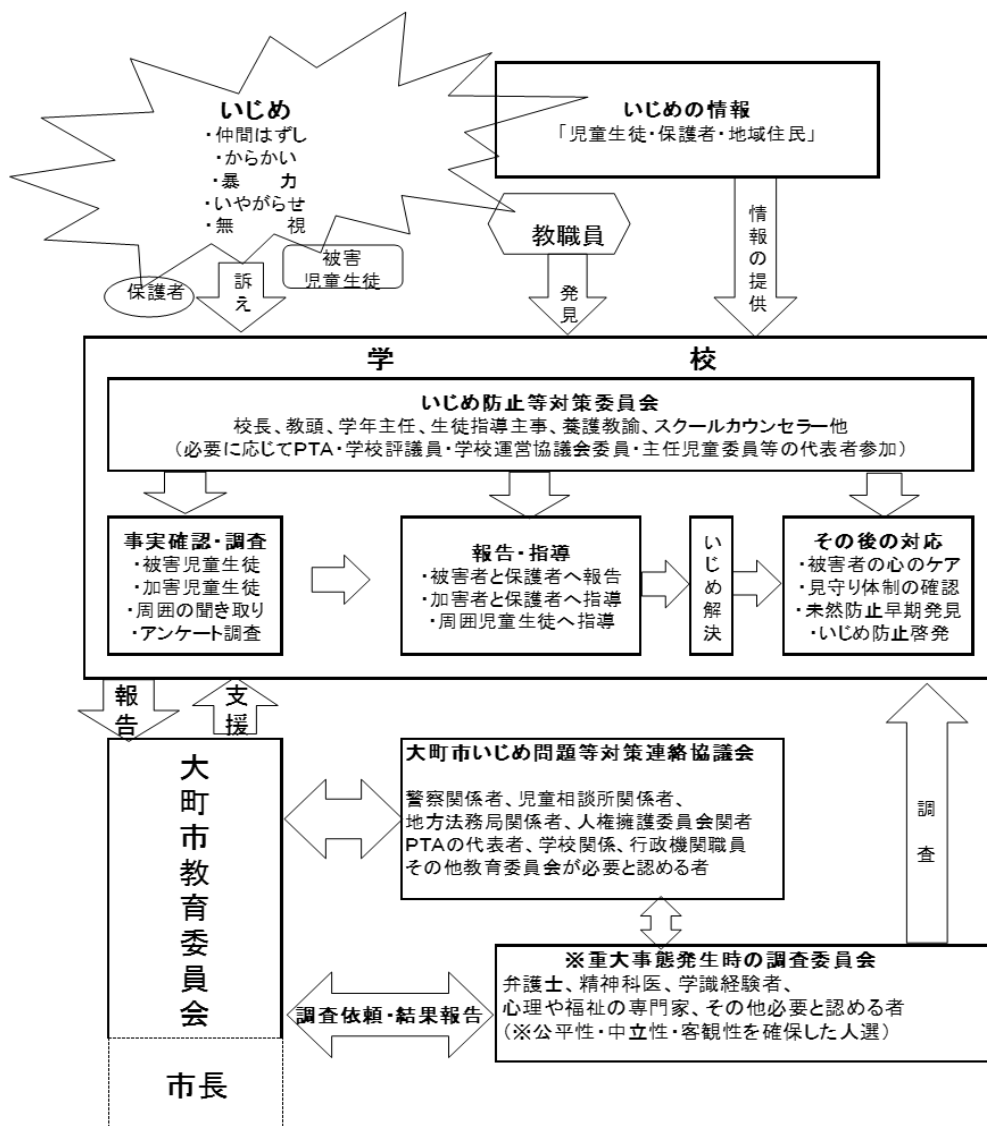
(4) 地域における取組

地域では大勢の大人が子どもたちと関わることによっていじめを生まない地域ぐるみのつながりづくりに取り組む。

- ・いじめは地域においても行われることがあるところから、登下校時等において、地域として子どもたちを温かく見守り、積極的な声かけを行う。
- ・地域の行事や文化活動、スポーツ活動等においても規範意識や思いやりの心、さらには社会性を育みながらいじめ等の防止に努める。
- ・学校や保護者、地域諸団体と連携し、いじめのない社会の実現に努める。
- ・いじめを発見したら、その場で「いじめは許されない行為であること」を指導し、保護者や学校に知らせ、連携して対処する。

いじめへの対応(フローチャート)

大町市教育委員会



19 児童・生徒の家庭における生活習慣への取り組み

今日の情報化社会や多様化社会と呼ばれるような社会システムの大きな変化は、児童・生徒を取り巻く環境にも様々な影響をおよぼしてきている。

特に、多機能性を持つメディア機器であるスマートフォン等の急速な普及に伴い、無料通話アプリやSNS、オンラインゲーム等のいわゆるソーシャルメディアにより高い利便性が得られる一方、長時間利用による生活習慣の乱れや、不適正な利用による青少年の犯罪被害、いじめやプライバシー上の問題等につながるケースも見られることから、青少年がこのようなリスクや対応策を理解した上で、スマートフォン等を正しく利活用できる環境を整えることが、従来にも増して重要となっている。

この様な背景から、家庭における規則正しい生活の確立とテレビやゲーム、携帯電話等の使用をはじめとする生活習慣の改善について、その解決を家庭だけに委ねるのではなく、学校、家庭、そして地域と行政が一体となって取り組むため、「家庭における児童・生徒の生活習慣改善検討委員会」を平成25年度に設置し、「児童・生徒の家庭生活習慣の確立とメディア漬け危機への対策」への取り組みを、大町市青少年育成市民会議、大町市子ども会育成連絡協議会、大町市PTA連合会、大町市教育委員会と連携、共同して展開している。

○「きらり おおまち サンプラン」

児童・生徒の生活習慣や情報機器の利用状況等の実態調査を基に、望ましい生活習慣の確立を促すため、親子でより良い生活習慣づくりに取り組む指針として「きらり おおまち サンプラン」を作成し、市内全戸に配布するとともに、機会あるごとに周知活動に取り組んでいる。

【こころづくり・からだづくり・リズムづくりの3つのプラン（サンプラン）をキャッチフレーズに取り組みを進めている。】

○「インターネットの安全な利用に関するリーフレット」

スマートフォン等を正しく利用するための家庭におけるルールづくりを推奨するため「インターネットの安全な利用に関するリーフレット」を作成し、幼稚園、保育園、小中学校、高等学校において、全児童・生徒に配布するとともに、携帯電話等の購入シーンに合わせて、販売店等において対象者へ配布。

20 通学の安全確保に関する取り組み

(1) 子どもの安全を守る地域連絡会

平成17年に小学校区ごとに、地域の関係諸団体に参画いただき発足。

(2) 安心安全マップの作成・公開

ア 学区内の交通安全上の危険・注意箇所等の情報を地図上に「安全マップ」として作成し、各家庭に配布して注意喚起を図る。

イ 「安全マップ」の情報を集約し、GIS（地理情報システム）を活用した「おおまち子ども安心・安全マップ」を平成23年に構築、インターネット上に公開し、情報を学校や地域間等で共有し、さらなる児童生徒の安全確保の徹底を図る。

○安心・安全マップ掲載箇所数

学校名	交通に気をつけるところ	水路に気をつけるところ	冬季に気をつけるところ	その他の危険に気をつけるところ	計
東 小 学 校	35	21	7	6	69
西 小 学 校	35	6	2	7	50
南 小 学 校	3	37	7	1	48
北 小 学 校	36	23	1	12	72
美麻小・中学校	5	4	7	1	17
第一中学校	13	7	9	2	31
仁科台中学校	10	1	1	0	12
八坂小・中学校	8	17	4	12	41
計	145	116	38	41	340

(3) 緊急合同点検の実施

ア 平成24年に、小学校、教育委員会、大町警察署、交通安全の関係機関、道路管理者が緊急合同点検を実施。

各小学校から40項目に及ぶ危険箇所の報告を受け、見通しの悪い交差点や、歩道がなく狭い道路で交通量の多い場所、道路脇に大きな水路がある場所などの現地調査を行い、関係機関や地域と連携し、計画的に危険箇所の改善に取り組み、40箇所中32箇所について対策を実施。

イ 平成26年度に、再度各小学校区の合同点検を実施し、現在危険箇所の改善を進めている。

○対策状況（平成 28 年 11 月 1 日現在）

学校名	危険箇所総数	対策済み箇所数	一部対策済及び対策予定箇所数	対策未定箇所
東 小 学 校	9	3	3	3
西 小 学 校	15	4	9	2
南 小 学 校	9	3	6	0
北 小 学 校	16	4	11	1
八 坂 小 学 校	5	1	1	3
美 麻 小 学 校	4	1	2	1
総 数	58	15	33	10

※対策予定箇所には、複数年にわたって計画的に整備するものも含む。

（４）大町市通学路交通安全プログラムの策定（H27. 3策定）

【通学路の交通安全の確保に向けた取組みの基本的方針】

- 学校及び保護者、道路管理者、警察署等の関係者が連携して、児童及び生徒の通学路における交通安全の確保を図り、着実かつ効果的な取組みを推進するため、大町市通学路安全推進会議を平成26年設置。
- 委員構成
長野国道事務所、大町建設事務所、大町警察署、長野工業高等専門学校、大町市PTA連合会、大北PTA連合会、大町市校長会及び市内関係部署（学校教育課、市民課、建設課）から選出された11名で構成。
- 今後の取組み
小学校区ごとに継続的に合同点検を実施し、対策実施後の効果把握、対策の改善・充実を図るため、PDCAサイクルによる取組みを実施。

【通学路の安全確保のためのPDCAサイクル】



19 学校給食

(1) 学校給食の基本方針

児童生徒に安全で安心な学校給食を安定的に提供するため次のとおり基本方針を定める。

- 児童生徒の健康の増進、体位の向上及び正しい食習慣の形成を図る。
- 栄養管理や望ましい食生活形成に関する家庭の教育力の活性化を図る。
- 食についての衛生管理を体験させる。
- 食や栄養に関する正しい知識を身につけ、自らの食生活を判断する能力を習得させる。
- 地域の水や農作物などの豊かな資源や自然環境、地域内循環について知り、自然の恵みや生産に係る人々へ感謝する心を育む。
- 地産地消の推進及び郷土食などを通じて、地域の食材や食文化を理解し郷土愛を育む。
- 児童生徒に集団生活を体得させ、協働・協調の精神を身につけさせるとともに、児童生徒間や教師と児童生徒の心の触れ合いを育む。

(2) 学校給食の重点施策

上記の基本方針を実現するため次の施策を行う。

- 当面小中学校では「自校直営方式」（平成18年市村合併による八坂共同調理場を除く。）とする。
- 施設状況を調査し、効率的で計画的な施設整備を行う
- 「大町市食育推進計画」を基本とした食育の推進に努める。
- 衛生管理については、調理員、栄養士を対象とした講習会、研修会を開催のほか食品管理、作業管理、事故発生時の適切な対応等についてマニュアル化を進めている。
- アレルギー児童生徒の対応については、県のマニュアルに準拠し、アレルギー食（代替食・除去食）での対応に努める。
- 地産地消については、地域の生産者や生産組合等と連携を図り、積極的に取り組む。
- 安心で安全な学校給食を提供することを第一に、福島原子力発電所事故に伴い汚染等が心配させる地域からの食材について放射能物質検査を実施し、安全性を確認した食材を提供する。

(3) 学校給食の実施状況

28年5月現在

学校名・施設名	給食提供数 (児童生徒分)	一食当たり 給食費	市から学校給食への 補助金(年間)
大町東小学校	207食	275円	1,490円/人
大町西小学校	272食	275円	1,490円/人
大町南小学校	298食	275円	1,490円/人
大町北小学校	367食	275円	1,490円/人
八坂小学校 (共同調理場)	39食	275円	1,490円/人
美麻小中学校	95食	1～6年生275円	1,490円/人
		7～9年生315円	1,860円/人
第一中学校	275食	305円	1,860円/人
仁科台中学校	418食	305円	1,860円/人
八坂中学校 (共同調理場)	35食	315円	1,860円/人

Ⅲ 生涯学習推進と

社会教育



いきいき学習 エンジョイライフ 大町

生涯学習推進と社会教育

生涯学習基本方針

生涯学習とは、一人ひとりが健康で豊かな生活を営むことや、仕事や生活に役立つ知識や技術を身につけ、生きがいのある人生を送るために、自発的意思に基づき、自分に適した方法を選んで生涯を通じて行う学習とされています。

生涯学習にはあらゆる学習活動が含まれています。学校や社会の中で行われている意図的・組織的なものから、趣味、資格取得、企業内研修、スポーツ活動、レクリエーション活動、芸術・文化活動、ボランティア活動、自然体験活動、地域づくり活動、世代間交流活動など幅広いものがあります。

また、学習の方法には、読書、テレビ、通信教育、インターネットなどを利用して行う個人の学習もあれば、学校や公民館、民間機関などで行われるものもあります。したがって私たちは分野や程度の違いはあるとしても、だれでも既に生涯学習をしているといえます。

このように学習を楽しみながら続けることで、個人の達成感や仲間との充実感、一体感などが私たちの生活の支えになり、いきいきとした豊かな人生が育まれます。また、学習の成果を地域で生かすことは地域社会の活性化やまちづくりの大きな力になります。

今後、人々が充実した人生を築くためには、生涯にわたる自主的な学びを通し、その成果を生かすことのできる生涯学習社会の実現が求められています。

そして、こうした社会を実現するための重要な機能として、家庭教育、学校教育、社会教育が相互に連携・協力していく必要があります。

生涯にわたって、自主的に、かつ快適に学び、その成果を生かせる生涯学習社会の実現に向け、平成 26 年度から平成 30 年度を計画期間とする生涯学習推進プランの三つの基本方針を掲げ、全市的に取り組めます。

- 生涯学習の基盤づくり
- 地域全体で取り組む子育て支援
- 協働を基本とした地域コミュニティの再生

社会教育基本方針

社会教育とは、教育基本法第12条で「個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育」とされており、社会教育法第2条で「学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む。）」と規定されています。

一般的には学校教育を除いた包括的な教育概念として理解されており、人々の生活の向上や職業能力の獲得と開発、個人の学習要求の実現や能力開発、さらに地域社会の形成や発展に貢献することなどを目的として実施される教育活動を言います。

社会教育は、学校教育にとらわれない幅広い内容を持っており、学習活動の内容は様々で、学校教育を補充・補完し、発展・拡張する内容を持っていることから、家庭教育を含めて生涯学習社会実現の中核を担うものです。

近年の社会環境は、高度情報化・少子高齢化による社会構造の変化や家庭生活の変化、価値観の多様化、貧困や格差の顕在化、そして震災や豪雨などの自然災害、原発問題など急激な変化を遂げています。このような時代背景の中で、市民の学習要求の多様化・高度化や、様々な地域課題の解決に対応するために、社会教育の果たすべき役割は極めて大きいといえます。新しい時代の生活に即した知識や技術、教養を高め、心の豊かさや生きる力を育むためにも、学校や地域、民間の諸活動、市長部局などとの幅広い連携の下、学習ニーズを的確に把握し、市民の生涯にわたる自主的な学習活動のための、様々な学習機会の提供や内容の充実、推進体制の整備が求められています。

希薄化傾向にある地域社会のつながりを取り戻し、個人の学びが地域に循環・還元することにより、活力あるまちづくりの推進を目指すため、社会教育計画を基本として、次の三つの柱を重点に社会教育の推進を図ります。

- 生涯各期における学習活動の充実
- 多様な分野の学習活動の充実と促進
- 自由に学び成果を生かせる学習環境の整備

1 生涯学習・社会教育

高度情報化や少子高齢化による社会構造や家庭生活の変化、価値観の多様化、そして自然災害等で急激な変化を遂げている社会環境において、生涯学習社会の実現とともに、地域コミュニティの再生という面からも社会教育の力が従来以上に必要となっている。

学習ニーズを的確に把握し、自主的かつ快適な活動推進の積極的支援とともに、人と人との学び合いを通じた地域課題解消に向けての取り組みに努める。また、青少年の健全育成を目指して、学校・家庭・地域・行政などの多様な活動体の相互の協働と連携による社会教育の推進を図る。

(1) 重点目標

ア 地方創生総合戦略に関する事業

- (ア) 地域の人材を活用した多様な学習支援
- (イ) 郷土学習の推進

イ 生涯各期における学習活動の充実

- (ア) 青少年の非行防止・健全育成

ウ 多様な分野の学習活動充実と促進

- (ア) 芸術文化の振興
- (イ) 自然や環境に関する学習の促進
- (ウ) 科学の振興

エ 自由に学び成果を生かせる学習環境の整備

- (ア) 学社融合・学校開放事業の促進
- (イ) 生涯学習ボランティア活動などの促進
- (ウ) 情報提供・相談事業の充実
- (エ) 社会教育推進体制の強化と施設機能の充実
- (オ) 学習成果の評価と活用
- (カ) 市民の自主的・主体的活動支援の推進

オ 第7期社会教育計画の策定

カ 美術品等収蔵品目録の更新

(2) 主な事業

ア 地方創生総合戦略に関する事業

- (ア) 地域の人材を活用した多様な学習支援
- (イ) 郷土学習の推進

イ 青少年の非行防止・健全育成

下記「2 青少年」に記載

ウ 芸術文化の振興

- (ア) 雪形まつりの開催
- (イ) 企画展の実施
- (ウ) 美術館めぐりの開催
- (エ) 美術振興専門委員会の開催
- (オ) 美術作品等収蔵品目録の更新
- (カ) ギャラリー・いーずらの一般利用貸出しの促進

エ 科学の振興

- (ア) 大町市科学振興賞による科学の振興と普及啓発
- (イ) エネルギー博物館の運営支援

オ 学社融合・学校開放事業の促進

- (ア) 学校開放講座の実施

カ 生涯学習ボランティア活動などの促進

- (ア) リーダーバンク制度の充実
- (イ) 職員出張講座の充実
- (ウ) サークル等団体の活動の奨励及び援助

キ 情報提供・相談事業の充実

- (ア) 「がったつうしん」の発行

ク 社会教育推進体制の強化と施設機能の充実

- (ア) 大町公民館分室の管理・運営
- (イ) 蔵の音楽館の管理・運営
- (ウ) 社会教育委員会議の開催
- (エ) 生涯学習のまちづくり推進本部の開催
- (オ) コミュニティ振興対策事業補助金の交付

2 青少年

次代を担う青少年の健全育成を図ることを、社会全体の課題としてとらえ、家庭、学校、地域社会が一体となった市民ぐるみの取り組みとして根付くよう努め、青少年育成市民会議、子ども会育成会活動の活性化、青少年センターにおける活動等の充実を図る。

(1) 重点施策

ア 青少年の健全育成

「健全な明るい家庭づくり」「たくましい青少年づくり」「心のふれあう地域づくり」を基調として、市民の理解と協力を得ながら、総合的かつ効果的な取り組みを推進する。

- (ア) 青少年育成市民会議を通じた市民ぐるみの運動の推進
- (イ) 子ども会育成会等関係団体との連携、組織強化と活性化
- (ウ) 青少年センターの運営による教育相談、補導活動等の充実
- (エ) 青少年リーダーの養成

イ 市民の連帯意識の高揚

明るくおもしろいのある心を育て連帯の気風を高めるため、市民総参加による「あいさつ運動」を進める。

(2) 主な事業

ア 青少年の健全育成

○青少年関係

- (ア) 地域子育てセミナーや家庭教育懇談会の開催
- (イ) 子ども会育成会の少年リーダー養成研修会開催
- (ウ) 青少年リーダーの養成
- (エ) 全国子ども会安全共済会への加入
- (オ) 青少年育成啓発事業推進
- (カ) 小・中・高生徒指導連絡会開催
- (キ) 子どもセンター事業の展開による、情報収集・情報提供及び、相談業務

○補導関係

- (ア) 街頭補導の充実
- (イ) 地域における青少年の健全育成と非行防止
- (ウ) 環境浄化活動の実施
- (エ) 関係機関との懇談会、連絡会開催
- (オ) 電話相談、面接相談の実施
- (カ) 青少年センターだよりなどの広報啓発活動の充実

イ 市民の連帯意識の高揚

自治会・学校・企業などの協力を得ながら、市民総参加による「あいさつ運動」の推進

平成28年度 青少年対策事業推進計画一覧表

(1) 育成関係

事業名	事業のねらい	実施内容 (参加対象)	実施時期	実施場所	備考
1 地域子育てセミナー ・家庭教育懇談会	○青少年の諸問題の要因が「家庭のあり方」「家庭教育力」の低下に起因することが多い。 6公民館ごとにセミナーを開催し、乳幼児から青年期まで系統的に対応の仕方を学んで親や地域の自覚を高めるとともに、家庭・地域の教育力の向上を図る。	・セミナー 6地区公民館 (地域住民) ・家庭教育懇談会 市内6会場 (地域住民)	・10月～3月	・6地区公民館等 ・地区集会施設	
2 大町市子どもセンターの情報提供	○子どもの地域における様々な体験活動を充実させ、家庭教育を支援するための情報収集と情報の提供を民間と協力して行う。	・「がったつうしん」の編集と発行 ・学習相談 (一般市民)	・年間4回 ・随時	・コンビニ郵便局等関係施設 ・市教委 (大町市子どもセンター事務局)	
3 「明るい家庭のあり方」「家庭の日」の普及	○豊かな社会の中で、青少年がたくましく「生きる力」をどう育成したらよいかを検討し、「家庭のあり方」「家庭の日」について啓発、実践に努める。	・広報おおまち、有線放送等による啓発	・年間	・全市	
4 「あいさつ運動」の実施	○日常のあいさつを通して、市民一人ひとりの心の結びつきを強め、連帯感のあるまちづくりを推進するため、「あいさつ運動」を普及し、明るい大町市づくりに向けて運動をすすめる。	・広報、有線放送による啓発 ・街頭啓発強調期間 全市民 (自治体の計画による取り組み)	・年間 ・4月・9月	・市内全域	
5 青少年の社会活動参加促進 子ども会の育成	○児童・生徒の社会参加活動を通して、活力あふれた子ども会を育成するとともに、郷土理解、住民意識、仲間づくり、奉仕の精神など青少年の自己形成と、次代の社会のよりよき担い手となる青少年を育成する。 ・社会連帯意識の醸成を図る。 ・中・高校生の地域活動参加促進	・子ども主体の行事 ・奉仕活動 (クリーン活動など) ・伝統文化の継承 〔単位育成会 子ども会〕 ・各自治体	・年間	・全市	

事業名	事業のねらい	実施内容 (参加対象)	実施時期	実施場所	備考
6 全国子ども会安全共済会加入	○安全思想の普及に努め、相互扶助の精神に基づき子ども会活動に起因する傷病に見舞金を給付し、子ども会活動の充実発展に寄与する。	・幼児・小中学生 ・高校生 ・育成者	・普及 4月1日～ 3月31日	・単位育成会	市費補助
7 子ども会育成会リーダー研修会	○団体生活を通じて、自主性・創造性・協調性・指導性等を養い、将来青少年団体のリーダーにふさわしい資質の向上を図る。 ・青少年リーダーの養成 大町市子ども会育成連絡協議会青少年リーダー研修会	・講義・座談会 ・実習、野外活動など ・6地区小中学生	・6～3月 ・年間7～8回 (5～2月)	・各地区 ・市内各所	
8 青少年育成啓発推進	○市民の意識の高揚と運動の活性化を図るため、県、国の事業と活動に合わせ、集会や広報等を通して健全育成のための啓発活動を行う。 ・「青少年の非行被害防止全国強調月間」 「青少年に有害な社会環境排除県民運動強調月間」 「第65回社会を明るくする運動」 ・第32回大町市青少年育成市民大会 ・「青少年健全育成全国強調月間」	・チラシ、パンフレットの配布、ポスター掲示、広報、有線放送による啓発 ・街頭啓発(全戸) ・保護司、民生児童委員、補導委員、育成会等関係者による懇談会 関係団体及び市民	年間 7月1日～ 7月31日 9月3日 11月1日～ 11月30日	・市内 ・サンアルプス大町	



青少年育成市民大会



雪まつり応援隊「かまくらづくり」



リーダー研修会「火おこし体験」

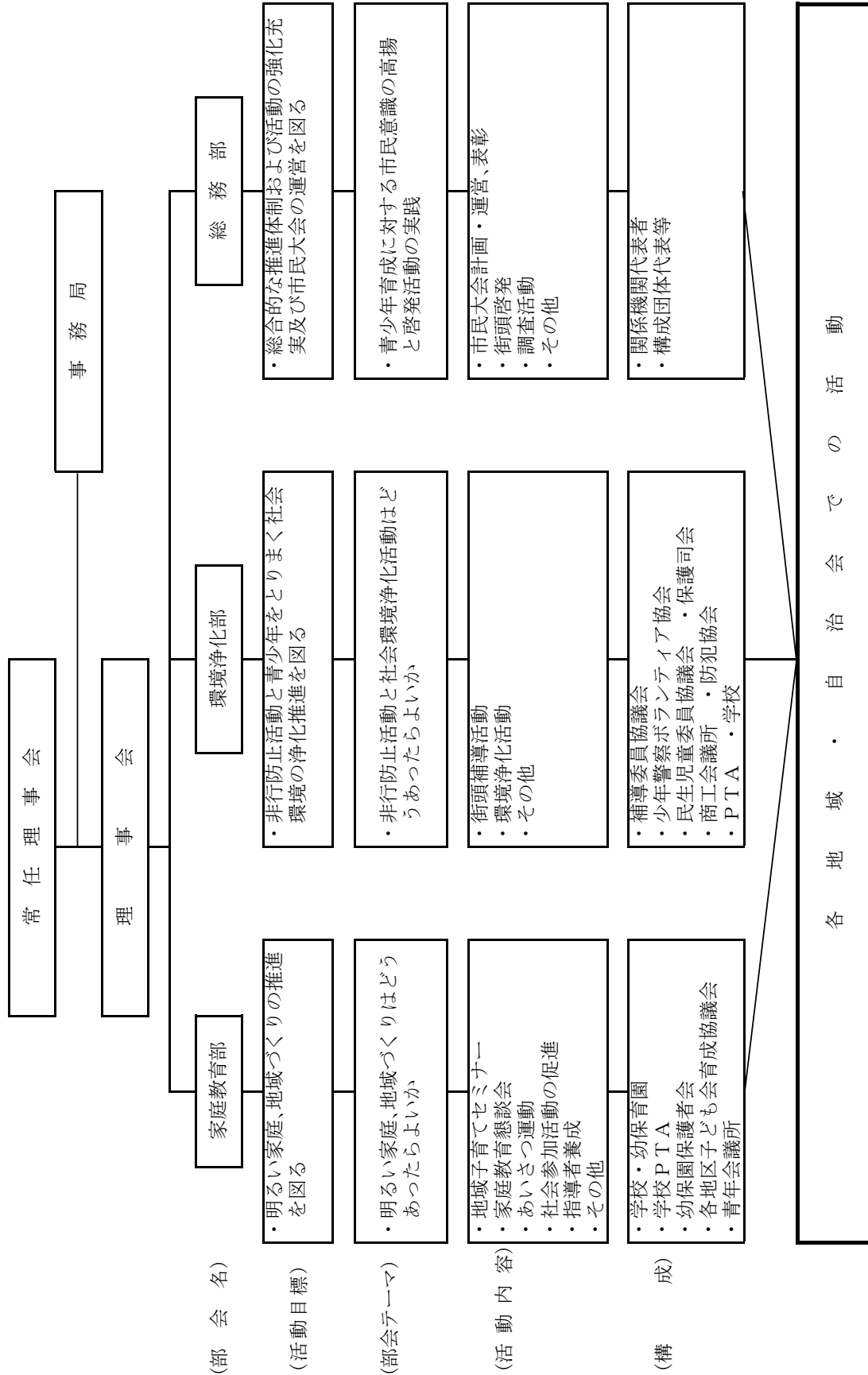


木崎湖キャンプ「カレーバイキング」

(2) 補導関係

事業名	事業のねらい	実施内容 (参加対象)	実施時期	実施場所	備考
1. 街頭補導活動	○少年非行や問題行動にともない、街頭に出て非行防止と指導に当たるとともに実態把握に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・83人の補導委員により年間56回の街頭補導を実施 ・小中PTAとの合同補導 ・市内小・中学校においてあいさつ運動 ・児童・生徒の下校時の巡視 ・列車内補導 ・補導活動に関する会議、研修会 ・祭典時の補導活動 	年 間 (7.8.9.10月) 年間適宜	市全域 14班編成	
2. 地域内における非行防止、早期発見活動	○地区内関係機関、団体と連携懇談を通して非行の早期発見に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内関係機関、団体との懇談 (自治会、育成会、PTA等) 	夏休み前	市全域	
3. 環境浄化活動	○青少年のための環境浄化改善を推進し、環境浄化部会と連携し、青少年の非行防止と健全育成を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・補導員による担当地区内環境浄化活動 ・有害自動販売機NO運動の推進 ・青少年に関係する店舗への聴き取り調査 ・子どもの「居場所」づくり 	年 間	市全域	
4. 他機関との連絡会議	○関係機関との連絡を密にし、情報交換を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・県補導センター会議 ・小中PTA地区懇談会参加 ・中信四市補導センター連絡会議等 	年 間		
5. 少年教育電話相談・面接相談	○少年の悩み相談、安定した生活への援助を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・小中高と保護者 ・有職無職少年 	毎週 月～金曜日	市役所	
6. 広報活動	○補導の実情、非行の現状等を広く市民に公開し、青少年の健全育成についての意識高揚を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年センターだより ・広報おおまち ・有線放送 ・チラシ等 	年3回 (7月・11月・2月) 他は必要に応じて		

◎青少年育成市民会議の組織



3 文化財

当市は、県下でも国宝・重要文化財をはじめ、県や市指定の文化財を数多く有する文化財の宝庫である。この貴重な文化財を保護し、後世に伝えていくことは市民の責務である。このため、広く市民の理解を求め、意識の高揚を図るとともに、新しい地域文化の創造のため大町市文化財センターを中心に、積極的な活用を図る。

(1) 平成28年度事業計画

ア 埋蔵文化財関係

(ア) 開発予定地内（鉄塔建設ほか）及び、学術的な発掘調査・試掘調査

イ 一般文化財関係

(ア) 指定文化財保護整備事業

(イ) 居谷里湿原環境整備事業

(ウ) 国・県指定文化財パトロールへの協力

(ウ) 市指定文化財パトロールの実施

(エ) 未指定文化財の調査、指定候補文化財の選定、諮問

(オ) 古文書のリスト化

ウ 広報啓発関係

(ア) 大町市文化財センターの運営・展示

(イ) 市指定文化財等説明板設置事業

(ウ) 市指定文化財等講演会

(エ) 文化財強調週間（11/1～11/7）における発掘調査報告展など

(オ) 文化財防火デー消防訓練

(カ) 文化財めぐり、文化財講座の開催

(キ) 国重要文化財 旧中村家住宅の公開（4月～11月）

(2) 指定文化財
ア 国指定文化財

(平成28年3月31日現在)

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
仁科神明宮本殿・ 中門（前殿） S28. 3. 31	国宝	2棟	仁科神明宮 社1, 159 (宮本)	本殿は桁行3間、梁間2間、神明造、 檜皮葺。中門は四脚門、切妻造、檜皮葺。 古式を遺す。釣屋附属指定。
木造棟札 S25. 8. 29	重文	27枚	仁科神明宮 社1, 159 (宮本)	仁科神明宮にある20年に一度の式年遷 宮の際の棟札。永和2年（1376）から 安政3年（1856）までの27枚が指定。
御正体 S36. 12. 17	重文	5面	仁科神明宮 社1, 159 (宮本)	銅製円盤に神明宮の本地仏大日如来等 を取り付けた懸仏。11面が附属指定。 裏面に年代銘のあるものもあり。
盛蓮寺観音堂 S24. 5. 30	重文	1棟	盛蓮寺 社2, 937 (曾根原)	桁行3間、梁間3間、寄棟造、松本平で は最古の寺院建築。室町中期の建造物 と考えられる。
鉄鰐口 S32. 2. 19	重文	1口	木舟地区 社4, 866-2（木舟） 保管は山岳博物館	鉄製で年代の明らかな鰐口としては わが国最古のもの。面径24cm。 表面に安貞2年（1228）の陽刻銘あり。
若一王子神社本殿 S30. 2. 12	重文	1棟	若一王子神社 大町2, 097 (俵町)	一見豪壮華麗な桃山風を思わせる一間 社、隅木入春日造、檜皮葺。承応3年 （1654）の棟札1枚が附属指定。 地方としては大社の風格を備える。
高瀬溪谷の噴湯丘 と球状石灰石 T11. 10. 12	天記		国（農林省） 平湯俣	温泉沈殿物が河床に堆積して、火山状 の噴湯丘になり、中央の湧き口に白い 小豆粒大の球状方解石ができる現象。
木造千手観音立像 S25. 8. 29	重文	1軀	覚音寺（藤尾） 八坂1, 625番地	檜材、寄木造、像高168.2cm、造像年代 が、平安時代末期である。木像の胎内 には、願主・仏師などの名前や治承3 年（1179）3月と年代など造像事情を 記した墨書木札、白銅製菊花双雀文鏡、 紙本千手観音摺仏が納入され、白銅鏡 は附属指定。
木造持国天立像・ 木造多聞天立像 S25. 8. 29	重文	各1軀	覚音寺（藤尾） 八坂1, 625番地	2軀は覚音寺千手観音立像の脇持で、 檜材、寄木造。像高は、持国天161.5cm、 多聞天157.6cm。像の背面には、持国天・ 建久5年（1194）、多聞天・建久6年 （1195）年と年号の陰刻銘が刻まれて おり、これが造像年代と考えられる。
旧中村家住宅 主屋・土蔵 H19. 12. 3	重文	2棟	大町市（青具） 美麻17, 668番地	主屋は、桁行14間、梁行6間、建坪84 坪（約278㎡）の木造平屋・茅葺・寄棟 造で、元禄11年（1698）建立と建築年 代が明らかな民家として県内最古。 土蔵は、桁行6間、梁行4間の切妻造で、 安永9年（1780）と建築年代が判明す るものとしては県下で古い例に属す。 るものとしては県下で古い例に属す。

注：重文＝重要文化財 天記＝天然記念物

イ 県指定文化財

(平成28年3月31日現在)

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
若一王子神社三重塔 S41. 1. 27	県宝	1基	若一王子神社 大町2, 097 (俵町)	木食故信法阿の発願で宝永8年(1706)に造営。松本平では唯一の塔。棟札4枚が、附属指定。
木造観音菩薩立像 S40. 1. 14	県宝	1躯	弾誓寺観世音保存会 大町4, 188 (九日町)	平安初期の貞観様式を多分にもつ平安中期の作。檜材の一木造。像高約161.5cm。
天正寺三重小塔 S41. 1. 27	県宝	1基	天正寺 大町4, 729-4 (十日町)	若一王子神社三重塔の原型と伝えられる。江戸中期の作。
仁科神明宮の神楽 S44. 7. 3	無民		仁科神明宮神楽保存会 社1, 159(宮本)	9月15日例祭に奉納される、能を取り入れた荘重典雅な神楽。
上原遺跡 S35. 2. 11	史跡		大町市ほか 平1, 955-355ほか (上原)	昭和25年から数次にわたる発掘調査により、2群の配石遺構と竪穴等の遺構、遺物が発見された。
居谷里湿原 S46. 8. 23	天記		傘木篤ほか12人 大町8, 279-10 ほか (居谷里)	多種の食虫植物のほか、湿原特有の木本・草本がみられる。特にハナノキの隔離分布地、暖地性のハッチョウトンボの生息地として貴重。指定面積約21,000㎡。
若一神社社叢 S40. 4. 30	天記		若一王子神社 大町2, 097-1ほか (俵町)	指定面積約17,000㎡。300本に及ぶスギと、130本程のヒノキを主体にし、生育する。
仁科神明宮の社叢 S44. 3. 17	天記		仁科神明宮 社1, 159 (宮本)	指定面積約19,000㎡。スギ・ヒノキが主で、他にアカマツ・クリ・コナラ・ツガ・モミなどがあり、いずれも巨木。
大黒町舞台 S62. 8. 17	県宝	1基	大町市大黒町 大町2, 199 (大黒町)	諏訪の宮大工立川富棟・富昌父子によって江戸後期の製造とされる。2層構造、切妻起屋根三輪形式の可動舞台。
仁科神明宮作始め 神事 H2. 2. 19	無民		仁科神明宮神楽保存会 社1, 159(宮本)	毎年3月15日に行われる神事。一連の水田耕作の所作をユーモラスに演じ、その年の作況を占う。
霊松寺山門 H5. 8. 12	県宝	1棟	霊松寺 大町6, 655-イ (山田町)	入母屋造、桁行3間、梁間2間の楼門形式。各所に建築彫刻が施される。名工藤森広八の代表作であり幕末期の信州を代表する社寺建築の一つ。
大町市のカワシンジ ユガイ生息地 H19. 1. 11	天記	2箇所	国土交通省 農具川水系 平20, 677番地2先から 15, 637番地1先まで 居谷里沢水系 大町8, 267番地11先から 8, 194番地先まで	北緯40～55度の範囲に分布する純北方系の淡水生二枚貝。氷河期には多く生息していたが、その終わりとともに高冷地の溪流にのみ姿を残すようになった「生きた化石」とも言える貴重な生物。中部農具川と居谷里沢の生息地2箇所を地域指定。

注：天記＝天然記念物 無民＝無形民俗文化財

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
銅造十一面観音坐像 御正体残闕 H11. 3. 18	県宝	1軀	若一王子神社 大町2, 097 (俵町)	同社観音堂の本尊。本来は懸仏であったが、鏡板を失い仏体のみとなっている。 铸造。像高19cm。
山寺廃寺跡出土品 H11. 9. 16	県宝	6点	大町市教育委員会 社3, 945-2 大町市民俗資料館 (関田)	四耳壺1、 ^{へいし} 瓶子2、 ^{はじき} 土師器1、 ^{せいはいくすいちゆう} 青白磁水注1、 ^{ぼくしよしやきようせき} 墨書写経石1。 古瀬戸の四耳壺、瓶子は鎌倉期の国産。 水注は中国の景德鎮での製造と見られる。
流鏝馬の神事 H13. 9. 20	無民		若一王子神社 流鏝馬保存会 大町2, 097 (俵町)	7月29日に若一王子神社で行われる神事。 7～8歳の男子が化粧し、狩衣の装束をつけ、馬に乗り、神社参道奥の馬場で弓に矢を番えて射る。
大塩のイヌ桜 S37. 7. 12	天記		藤川毅徳ほか8名 美麻3, 342番地 (大塩)	静御前がこの地を通ったときに持っていた杖をさしたのが根付いて大きくなったという伝承から「静かの桜」と呼ばれる。 目通り幹囲は8.45m、桜は四方に良く伸びており、樹姿が雄大である。
若一王子神社観音堂 及び ^{くうでん} 宮殿 H23. 9. 29	県宝	1棟及び 1基	若一王子神社 大町2, 097 (俵町)	観音堂は江戸中期の宝永3年（1706）に 建立された寄棟造、茅葺・三間四面の和 様建築。宮殿（ ^{ずし} 厨子）は豪華な ^{わとうせつちゆう} 和唐折衷様式。 棟札附属指定。

注：天記＝天然記念物 無民＝無形民俗文化財



長野県天然記念物 居谷里湿原観察会

ウ 市指定文化財

(平成28年3月31日現在)

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
広形銅戈 (海の口上諏訪社) S46. 12. 10	有文	1口	海の口上諏訪社 平14, 505 (海の口) 所有・保管は大町市 文化財センター	全長24. 5m。弥生時代後期初頭。弥生文化の伝 採 のありさまを物語る貴重な資料。 出土地・伝世地が不明なのがおしまれる。
オオヤマザクラ S46. 12. 10	天記	20本	加蔵栄ほか (団体を含む) 平22, 419-3ほか (青木)	群生地としては本州の南限。 淡紅色のはなやかな色彩をもち、北アル プス山麓の景観構成要素となっている。
宮本・松崎紙紙すき 用具コレクション S50. 4. 15	民資 (有形)	1式	大町市教育委員会 社3, 945-2 大町市民俗資料館 (閨田)	江戸時代から使われていた和紙製造用 具。 この地方の紙漉業の全容を知る上で貴重 な資料。
山寺廃寺跡出土遺物 H18. 3. 25	有文	2点	大町市教育委員会 社3, 945-2 大町市民俗資料館 (閨田)	墨書経石1、灰釉小皿1。県宝指定「山寺 廃寺跡出土品」に付随すると考えられる 出土遺物。
盛蓮寺木造不動明王 立像 S57. 3. 3	有文	1軀	盛蓮寺 社2, 937 (曾根原)	仏丈65cm。総丈98cm。鎌倉末期の製作。
盛蓮寺木造薬師如来 坐像 S57. 3. 3	有文	1軀	盛蓮寺 社2, 937 (曾根原)	檜材寄木造。胎内に「文安第四丁卯三月 廿四日、願主、喜香叟」の墨書銘あり。 文安4年(1447)の製作。
天正寺仁科氏居館跡 S59. 10. 6	史跡		天正寺ほか 大町4, 729-4ほか (十日町)	仁科氏が館之内から居館をこの地に移し たと考えられる鎌倉末期から、室町末期 に滅亡するまでの居館跡。外堀・内堀の 2重の堀や土居を囲わせた居館。
大町市のヌマカイメ ン S62. 3. 2	天記		中綱湖ほか	県下では当市のみで生息するといわれる 淡水海綿。中綱湖が主な生息地。「種」 の指定。
大町市のカワシンジ ュガイ S62. 3. 2	天記		中部農具川ほか	県下では当市と戸隠に生息する淡水生二 枚貝。約3万年前から存在している「生 きた化石」。中部農具川、居谷里沢のみ に生息。「種」の指定。
大沢寺木造阿弥陀如 来立像 S62. 3. 23	有文	1軀	大沢寺 大町4, 156 (堀六日町)	像高49cm。総高78cm。檜材寄木造、 頭部は藤原様に近い。
西正院木造大姥尊坐 像 S63. 1. 14	有文	1軀	大姥堂世話人会 平1, 298 (野口)	像高39. 5cm。檜材、寄木造。室町中期 の作。立山信仰の本尊。裏山道の入口に あたるこの地に、本像を将来したか。
霊松寺のオハツキイ チョウ S63. 1. 14	天記	1本	霊松寺 大町6, 665-イ (山田町)	オハツキイチョウとは「お葉付銀杏」の 意で、ギンナンが葉の上に結実する先祖 返り的な珍奇な現象をもっている。全体 の約1割にこの現象が見られる。

注：有文＝有形文化財 天記＝天然記念物 民資＝民俗資料

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備考
天正寺山門 S63. 1. 14	有文	1棟	天正寺 大町4, 730-1 (十日町)	和様の薬医門。元禄元年(1688)の建立。 棟札あり。
長性院木造聖観世音 菩薩立像 H1. 3. 28	有文	1躯	長性院 大町3, 682-4 (南原町)	像高107cm、総高184.3cm。 檜材寄木造。江戸中期。木食山居の作。
高瀬川の基盤岩 H2. 10. 23	天記		下一高瀬川河川敷 共有地組合 常盤6, 720-3 (上一近藤紡東南)	松本盆地内部で確認された唯一の岩盤。 この存在によって松本盆地の地下の様子やでき方を知り、また、糸魚川静岡線の通過位置に知る手がかりが得られる。
盛蓮寺木造如意輪観 音坐像 H3. 5. 31	有文	1躯	盛蓮寺 社2, 937-1 (曾根原)	像高77.6cm。檜材寄木造。 後補個所が多いが造像年代は鎌倉時代後期。
木舟薬師堂木造 薬師如来立像 H3. 5. 31	有文	1躯	木舟地区 社4, 886-2 (木舟)	像高113.0cm。総高122.8cm。檜材寄木造。 後補個所が多いが造像年代は鎌倉時代後期。
市立大町山岳博物館 のトキ標本 H4. 5. 19	天記	1体	市立大町山岳博物館 大町8, 056-1 (神栄町)	トキは天然記念物であり、国際保護鳥として保護されてきたが、野生のものは絶滅してしまっている。また、現在飼育下のものも、繁殖を試みるが未だ成功を見ず、まさに地球上から姿を消す寸前にきている。このような事態にあるトキ
長野県大町高等学校 のトキの標本 H4. 5. 19	天記	1体	長野県大町高等学校 大町3, 691-2 (南原町)	の標本は大変貴重なものである。 市立山岳博物館のトキは大正8年(1919)に、長野県の大町高等学校のトキは大正6年(1917)に、それぞれ美麻村で捕獲されたものである。
一本木神社のカシワ H3. 5. 31	天記	1本	一本木神社 常盤4, 733-1 (上一本木)	目通り周囲3.35m。樹高25.5m。推定樹齢300年。二次林の構成種としてはまれにみる大木。
仏崎観音寺のアカマツ H4. 5. 19	天記	1本	仏崎観音寺 常盤5, 445-2 (泉)	目通り周囲4.2m。樹高20m。2本の独立幹が肥大成長にともなって融合した「和合木」。大町地方としては稀に見る大木。
たんせい 弾誓寺観音堂木造伝 弾誓上人坐像 H4. 5. 19	有文	1躯	弾誓寺観世音保存会(九日町) 大町4, 188	像高75cm。檜材寄木造。17世紀中頃の作。 彫りは丁寧で写実性に富み、完成度の高い作品である。
弾誓寺観音堂木造伝 長音上人坐像 H4. 5. 19	有文	1躯	弾誓寺観世音保存会(九日町) 大町4, 188	像高78cm。檜材寄木造。 元禄13年(1700)の作。弾誓寺4世「願誓岳空寂阿」によって造像された。
海ノ口のアカマツ (カサマツ) H5. 6. 25	天記	1本	海ノ口・一津・崩沢共有 平13, 109-1 (東海ノ口)	目通り周囲4.17m、樹高18m。樹齢推定300年以上。樹形は単幹で傘型をしており、別称『カサマツ』と呼ばれ親しまれている。稀に見る大木である。
中シマのモリアオガ エル繁殖地 H6. 4. 28	天記	地域 指定	西沢可雄 平23, 109-1 (中綱湖東)	指定地面積1,543㎡。モリアオガエルは樹上に泡状の卵を産む特異な生態をもつカエル。

注：有文＝有形文化財 天記＝天然記念物

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
須沼薬師堂のカツラ H6. 4. 28	天記	2本	清水仲間 常盤4, 203 (須沼)	東幹の樹高20. 5m、目通り周囲3. 5m。 西幹の樹高25. 5m、目通り周囲4. 1m。 薬師堂の門木の位置にある。
盛蓮寺木造虚空蔵菩薩坐像 H6. 4. 28	有文	1軀	盛蓮寺 社2, 937 (曾根原)	像高24. 1cm。桂材の寄木造。室町時代前半の作。光背、台座などは江戸時代後期に補われている。
天正寺木造 薬師如来立像 H7. 4. 26	有文	1軀	天正寺 大町4, 729 (十日町)	像高261cm。檜材寄木造。体内木札より延宝5年(1677)「生誉蓮入比丘」の作と判明している。かなりの巨像で、しかも丁寧に仕上げられている。
西山西原のイチイ H7. 4. 26	天記	1本	横沢毅昌 常盤8, 063-5 (西山)	目通り周囲2. 95m、樹高12. 5m、稀に見る巨木で樹形も美しく、ひときわ目立つ。
大黒町追分のシダレザクラ H7. 4. 26	天記	1本	大黒町自治会 大町1, 514-1 (大黒町)	目通り周囲3. 05m、樹高8. 5m。推定樹齢150年で市内最大のものと見られる。大黒天石像の脇に生息しており「大黒様のシダレザクラ」と呼ばれている。
大黒町追分の石像 大黒天像 H8. 3. 25	有文	1基	大黒町自治会 大町1, 514-1 (大黒町)	嘉永5年(1852)に、高遠町の石工によって彫られた像。現在のところ松本平では最大(全高約2m)にして最古のもので彫刻技術も秀れている。
新郷1号古墳及び副葬品一括 H8. 3. 25	史跡 有文	1基 出土品等	大町市教育委員会 平8, 040-443 (新郷)	南北10m×東西9mの円形の積石塚で、内部の埋葬状態もよく、副葬品も多数出土している。
若一王子神社木造伝十一面観音菩薩立像 H9. 3. 24	有文	1軀	若一王子神社 大町2, 097 (俵町)	推定像高180cm。檜材寄木造。11世紀の作。明治初年に燃やされ、体部に損焼をうけているが、神社の本地仏と伝えられ、最古の社宝である。
仏崎観音寺の千有一馬集絵馬 H9. 3. 24	民資 (有形)	1面	仏崎観音寺 常盤6, 966 (泉)	安政2年(1855)に製作された縦210cm、横475cmの大型の絵馬。村ごとに寄進者名が記され、当時の庶民信仰のあり方などがうかがえる貴重な資料である。
三日町若宮八幡宮のヒノキ H9. 3. 24	天記	1本	飯島昌他7名 大町8, 254 (三日町)	目通り周囲5. 1m、樹高29m。三日町分水集落の氏神、若宮八幡宮の御神木で、全国的にもまれな大経木である。
西山城山のエドヒガン H9. 3. 24	天記	1本	倉科善吉 常盤8, 099-1 (西山)	根回り周囲5. 33m、樹高29mの二幹に分かれた大木。西山城址の急峻な北斜面に生育し、谷側に大きく枝を張っている。
仁科神明宮の銅製日岐盛貞奉納鏡 H10. 3. 25	有文	1面	仁科神明宮 社1, 159 (宮本)	鏡の直径は、約27cmを計る。鏡背には大日如来等の梵字と奉納者名、紀年銘、製作の趣意が陽鑄されている。
仁科神明宮の木造棟札 H10. 3. 25	有文	6枚	仁科神明宮 社1, 159 (宮本)	重要文化財に指定されている棟札以外の明治から昭和にかけての棟札で、明治維新から昭和の大戦をも乗り越えて伝統を守ってきた、式年造営の証として貴重である。

注：有文＝有形文化財 天記＝天然記念物 民資＝民俗資料

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備考
仁科神明宮木造 小笠原秀政禁制札 H10. 3. 25	有文	1枚	仁科神明宮 社1, 159 (宮本)	檜板に書かれた高札で縦34cm、横61.3cmを計る。松本領主小笠原秀政が領内社寺の主要な所へ交付した内の1枚で、年号を記した高札としては、市内における最も古いもののひとつである。
高根町曾根田のエドヒガン H10. 3. 25	天記	1本	高根町自治会 大町7, 174-1 (高根)	単幹。目通り周囲465cm、樹高12mを計り、傘型のエドヒガン特有の樹冠を呈する。昭和初期以前には、このサクラの東側にお堂があり、その堂守との関係から植栽されたものと考えられる。
山下神社 木造 小笠原秀政禁制札 H11. 2. 26	有文	1枚	山下神社 社6, 097 (北野)	檜板に書かれた高札で縦33.8cm、横59cmを計る。松本領主小笠原秀政が領内社寺の主要な所へ交付した内の1枚で、年号を記した高札としては、仁科神明宮の高札同様に古いもののひとつである。
大町市のキザキコミ ズシタダミ H13. 6. 27	天記		木崎湖、中綱湖	日本産ミズシタダミ科の希少種の一つ。カワシンジュガイとともに氷河期の遺存種ともいえる貝。「種」の指定。
八坂神社の旧神輿 H14. 2. 22	有文	1具	若一王子神社 大町2, 097 (俵町)	一間社（124cm四方）、高さ155cmを計る。大町の人々から「天王様の神輿」と慕われていた。江戸時代中期の作。
飯嶋善士氏所有「信越連帯新道」関係史料及び飯嶋家文書一括 附、その他史料 H15. 2. 26	有文	1式 (712点)	飯嶋善士 平92(野口) 保管は大町市文化財センター	飯嶋家文書一括指定ほか、関連する歴史史料。その内最も注目されるのが表題に掲げられる「信越連帯新道」関係の文書及び旅宿看板などの歴史史料である。明治初年、信州一越中間の最短の交易路として整備された「信越連帯新道」の開発経緯を記した文書記録である。
八日町毘沙門堂の木造毘沙門天立像 H16. 2. 19	有文	1軀	八日町自治会 大町1, 134-9 (八日町)	像高114cm。総高168cm。檜材寄木造。頭部は鎌倉時代製作当時のものであるが、軀部以下は江戸時代に補われたものである。
姿見池のマメシジミ H16. 2. 19	天記		西沢茂人ほか3名 平18, 235~18, 240 (海ノ口)	マメシジミは、二枚貝綱マルスダレガイ目マメシジミ科に属し、これが生息する姿見池は、平西海ノ口地籍の標高1, 100mの山腹にある。
西沢正雄氏所有文書一括 附、その他の史料 H16. 2. 19	有文	1式 259点	西沢正雄 平55-1(野口) 保管は大町市文化財センター	西沢家は、江戸時代初期には野口村庄屋を勤め、江戸時代末の文政2年(1819)から明治までの半世紀は大町5か村を束ねる大庄屋役を勤めており、この関係文書が貴重である。

注：有文＝有形文化財 天記＝天然記念物

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備考
栗林士郎所有文書 一括 H17. 3. 25	有文	1式 2,581点	栗林士郎 大町4,084 (下仲町) 保管は大町市文化 財センター	栗林家は、江戸時代初期から村役を勤め、少なくとも享保年間から大町組の庄屋・大庄屋を勤めた家である。この役目上から残された文書は、分野が多彩で数多く貴重なものである。
しょうぶ 生婦平出土銅造端花 そうちゅうはちりょうきょう 双鳥八稜鏡 H18. 3. 27	有文	1口	大町市 八坂1,108-1番地 八坂支所(大平)	八坂大平生婦平で昭和40年代に出土。 直径11.7cm、縁高0.7cm、鏡厚0.3cmを計る。制作年代は平安時代後期と考えられる。
大平地蔵堂の木造 地藏菩薩立像 H18. 3. 27	有文	1軀	大平自治会 (大平) 八坂1,298番地	像の制作年代は南北朝時代(14世紀前半)檜材、寄木造で玉眼を嵌入する。全身に彩色を施しており、像高は36.5cm、頭長は7.1cmを計る。中央の仏師の造りと考えられる像。
小松尾諏訪神社本殿 H18. 3. 27	有文	1棟	小松尾諏訪神社 (小松尾) 八坂5,693番地	江戸時代後期の文化13年(1816)の建造。一間社・流造りで、向拝軒唐破風付、柿葺、総檜造りである。大工は大町組の金原周蔵で、彫刻は、浅川豊八(大隅流)により、彫刻は優れ、丸彫りの唐獅子、象鼻や雲に麒麟の透彫りが残される。
医王谷飯綱神社 筒粥占い神事 H18. 3. 27	民資 (無形)		飯綱神社 (梨平) 八坂25,794番地	もと医王谷飯綱神社は八坂北桑梨・西の窪地に所属し、この神事はそこで行われていた。毎小正月の1月15日、神社に集まり、小豆粥を炊き、世の中、気象関係、農作物関係、天皇家など40項目の占いを行う神事。
野平神社本殿 H18. 3. 27	有文	1棟	野平神社 (野平) 八坂14,695番地	本殿は、三間社・流造り・柿葺き、総檜造りである。現社殿は江戸後期の再建であり、白木彫刻に優れている。大町の曾根原甚五郎、越後石地宿又四郎、仁熊村(麻績組)大工。
矢田川磨崖仏 H18. 3. 27	有文		八坂医王会・大日 講中 (矢田川) 八坂9,641-1番地	高さ約6m、幅約4mの砂岩製岩塊に、年代の古いものから①青面金剛像(庚申像)が元禄から享保年間。②地藏菩薩像が江戸中期の享保3(1718)年。③庚申塔が江戸後期の文化14(1807)年。④徳本上人合碑が19世紀前半。⑤大日如来像が幕末の嘉永3(1850)年となる。
北条蜂の徳本上人 追善供養塔 H18. 3. 27	有文	1基	寺島昭一ほか3名 (北条) 八坂13,609-ロ-1番地	砂岩製で残存する石碑高が108cmを計る。碑文には「念仏供養 名蓮社号誉上人称阿弥陀陀佛徳本文政元年寅年十月六日 徳本行者云々」とある。制作年代は、江戸後期の文政元年(1818)。

注：有文＝有形文化財 民資＝民俗資料

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備考
曾山の善光寺千人参り名号塔 H18. 3. 27	有文	1基	如来様講中 (曾山) 八坂9, 179-4番地	江戸時代後期の弘化2年(1845)の製作。材質は砂岩製。総高は322cm、そのうち塔身高は253cmを計る。「南無阿弥陀佛」と大書する。筆當大勸進権僧正願拜。石工は大平村石原、若林嘉久治勝重と高遠清水八五良安信による平成6年道路工事で現在地に移転されたが、もとは美麻地積に所在した。
富士浅間神社本殿 H18. 3. 27	有文	1棟	富士浅間神社 (大塩) 美麻2, 708番地	一間社・流造。規模は間口1間2尺、奥行1間5尺。現社殿は江戸時代後期の文化12年(1815)9月12日に再建されたもので、立川豊八(安曇郡長尾組岩原住)による建築。附属指定として、棟札3枚がある。
富士浅間神社楽殿 H18. 3. 27	有文	1棟	富士浅間神社 (大塩) 美麻2, 708番地	江戸時代後期の建立。木造茅葺き、6間四方で三面が板壁。舞台中央には直径4.6mの廻り舞台を持つ。明治中頃まで歌舞伎を奉納していたという。
富士浅間神社絵額 H18. 3. 27	有文	1棟	富士浅間神社 (大塩) 美麻2, 708番地	16面を指定。江戸時代幕末の嘉永から安政年間のものが多い。大型のものも多く、製作年間は安永6年(1777)年から昭和14年(1939)のもの。
千見神明宮本殿 H18. 3. 27	有文	1棟	千見神明宮 (千見) 美麻25, 878番地	現在の本殿は、江戸時代末期の天保12年(1841)9月の造営建築である。一間社・神明造。大工棟梁は大町の曾根原甚五郎、曾根原謙蔵。最も古い慶長17年(1617)の棟札と藩奉行6名の連署が見られる幕末の万延元年(1860)の禁制札の2点が附属指定。
千見神明宮絵額と句額 H18. 3. 27	有文	1式	千見神明宮 (千見) 美麻25, 878番地	千見神明宮に奉納される絵額(絵馬)のうち6面、句額のうち8面が指定。絵額の制作年代は、天明7年(1787)～安政2年(1855)。また句額の制作年代は、文化5年(1808)～明治33年(1900)のもの。
水上神社本殿 H18. 3. 27	有文	1棟	水上神社 (二重) 美麻9, 152番地	一間社・流造り。彫刻が優れる。現在の社殿は、文政8年(1825)建立で、大工棟梁は越後市振の片桐利七とその一門によるもので、装飾彫刻に優れている。
下條家関主門 H18. 3. 27	有文	1棟	下條秀則 (千見) 美麻26, 036番地	旧千見村に建てられた、関守の地位と格式を象徴する門である。建築年代不明。松本藩水野氏(1656～1735)の代に関守を置き下條家はその任をまかされ、警備にあたった。門正面は三間、奥行二間の門に、切妻屋根。

注：有文＝有形文化財

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備考
水上神社の神輿巡幸 H18. 3. 27	民資 (無形)	1式	水上神社 (二重) 美麻9, 152番地	現在は、神殿部分が欠失し、代わって神体御幣と木製の四本鉾を神輿に立てて用いている。裱に帯刀姿の警護4人により巡幸の神事。
中村武本氏所有 文書一括 H18. 3. 27	民資	1式	中村一仁 (青具) 美麻17, 668番地	江戸時代初期の寛永21年(1644)から明治初期にかけての文書。青具村庄屋。藩政及び村政の実情をたどる上で貴重な史料である。
大塩高札場の高札 H18. 3. 27 H19. 3. 26④追加指定	有文	4点	山本はる子 ほか2名 旧中村家住宅土蔵 保管(青具) 美麻17, 668番地	指定された4点はいずれも江戸時代、大塩の高札場に掲げられていたものである。①「キリシタン禁制」正徳元年(1711)。②「毒薬禁制」正徳元年(1711)。③「にせ銭禁制」天保10年(1839)。④「親子・ ^{ぼくろ} 博奕・忠孝等の定め」正徳元年(1711)。
権現山堂屋敷跡 H18. 3. 27	史跡		戴神社 (新行) 美麻権現山南東	権現山の山麓に堂屋敷と言いつた碑文が残る屋敷跡。付属指定として、ウラジロモミ(2本)、クロベ(2本)、カラマツ(1本)の計5本。
千見山城跡 H18. 3. 27	史跡		千見神明宮ほか 6名 (千見) 美麻城山25, 450-ロ-3 ほか	伝承では、城主は上杉方大日方源吾長辰氏と言われる。また武田方の山県昌影により、弘治2年(1566)火攻めにされ落城したと伝えられる。本丸東西50m×南北20m、二の丸東西40m×南北30m、三の丸東西20m、南北15mを計る。
大塩山城跡 H18. 3. 27	史跡		倉品愛子ほか5名 (大塩) 美麻855番地ほか	本丸跡(12×27m)、二の丸、一の曲輪、二の曲輪跡を具える複郭式山跡。兵糧倉、水槽、城内、攻城門跡、物見櫓跡等の施設が伝わる。山上に仁科氏を祀る祠あり。
堀の内遺跡 H18. 3. 27	史跡		伊東久雄ほか5名 (大塩) 美麻938番地ほか	遺跡内では平成5年と平成12年における2回の発掘調査を実施。縄文時代早期から中世にかけての複合遺跡。中世の遺構としては、居館が確認されている。
向生仏屋敷出土灰 釉陶器広口瓶 H18. 3. 27	有文	1点	田中一志 旧中村 家住宅土蔵保管 (青具) 美麻17, 668番地	昭和初期に耕作中発見されたもので、器高19.7cm。産地は、岐阜県多治見市周辺の東濃地方産で、時期は10世紀前半。
横川重忠氏所有木造 阿弥陀仏如来立像 H18. 3. 27	有文	1軀	横川重忠 (須沼) 常盤4, 308-3番地	総高48.5cm、像高28cm、台座11cm。木食山居作と推定される江戸時代中期の木像。
千見細貝薬師堂の 木造薬師如来立像 H18. 3. 27	有文	1軀	横川重忠 (須沼) 常盤4, 308-3番地	薬師如来像は木食山居作と推定され、総高45cm、像高36.5cm。同じ堂にあった聖観音立像は木食山居作と推定される。江戸時代中期の木造が付属指定。

注：有文＝有形文化財 民資＝民俗資料

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
大倉のイチイ H18. 3. 27	天記		宮田武男 (青具) 美麻21, 770番地	坪庭に鉢植えしたのが、大木になったと伝えられ、伝承では、樹齢約1000年といわれている。目通り4.73m、根回り4.7m、高さ21.3m。
水上神社の大杉 H18. 3. 27	天記		水上神社 (二重) 美麻9, 152番地	水上神社ご神木。目通り6.3m、根回り7.67m、高さ53.1m。伝承では、樹齢750年余りと推定されている。
若栗のアオナシ H18. 3. 27	天記		種山賢児ほか3名 (高地) 美麻34, 161番地口 若栗峠	目通り周囲4.31m、樹高16.8m。長野県では第2位にあたる。樹齢約500年と伝承されている。成長に伴う融合性の幹枝。
たかはしひろお 高橋鴻生氏所有文書 一括 H18. 3. 27	有文	1式	高橋鴻生 (松崎) 社6, 567番地 保管は大町市文化 財センター	高橋家は、江戸期を通じて松崎村庄屋、潤田村庄屋を兼務した。所蔵文書は、村方文書を主とする文書がある。文政8年に当地で発生した赤蓑騒動の見聞を記した六角鬼洞による『赤蓑騒動』は唯一の現存本として大変貴重。
中村孝三述 『学びの糸口』 H19. 3. 27	有文	1冊	大町西小学校 大町4, 733-3 (北原町)	この手記は、明治維新の学制発布当時の大町の人々の動きを記録し、単なる制度の解説書ではなく、唐突な制度改正に戸惑う地方の人々の気持ちを活写し、民衆の気持ちも察せられる重要な文献史料である。

注：有文＝有形文化財 天記＝天然記念物



古民家見学会

4 人権教育

基本的な考え方

大町市では、国際社会全体であらゆる人権問題を解決していこうとする気運の高まりに合わせ、平成15年3月、「人権の世紀」と言われる21世紀の大町市における人権教育・啓発の指針となる「人権教育のための大町市行動計画」を策定した。

また、平成19年には、先の「行動計画」を基にした人権諸施策を継続して推進するため、「大町市人権教育及び人権啓発に関する基本方針」を定めた。

さらに、平成21年度から23年度は、文部科学省人権教育総合推進地域事業の指定を受けて、学校・家庭・地域社会が一体となった人権教育の総合的な取り組みを行った。

人と人とのつながりを大切にしたい、共に生き支えあう社会の構築と、人権を尊重し差別のない大町市を実現するためには、一層の市民一人一人の人権意識の高揚を図ることが不可欠であり、そのための人権施策を積極的に推進することが重要となっている。

また、市政のあらゆる分野で人権尊重を基調においた施策を進めるとともに、家庭、学校、地域、企業、職場が、お互いに連携して人権教育・啓発事業を推進していくことが大切である。

差別の解消のために、教育及び啓発の果たす役割は、極めて大きい。従って、次の重点課題を目標に、「人権の世紀」にふさわしい人権教育・啓発事業を進めていく。

(1) 重点課題

- ア 人権教育は、同和問題をはじめとする、性別・子ども・高齢者・障がい者・国籍（外国人）等のあらゆる差別の撤廃を目指す。
- イ 人権問題は、他人ごとではなく自分自身の課題であり、さらに、自分や家族・職場の問題でもあることに気づき、主体的に受け止めるよう啓発していく。
- ウ 人間誰しも、差別意識が心の中に内在しているという自覚と意識を持ち、日常生活の中で、人権感覚をより深いものにしていくことが大切であるということを、啓発していく。
- エ 人権教育を進めるにあたり、これまでの同和問題の解決に向けての取り組みや手法の成果や反省の上に立って、教育・啓発内容、方法に創意工夫をしていく。
- オ 人権教育は、住みよい活力のあるまちづくりの中核となる課題でもあるということの自覚を一層求めていく。

(2) 平成27年度人権教育推進事項

ア 就学前教育関係

- (ア) 市立保育園・私立幼稚園に人権教育の推進を呼びかける。
- (イ) 幼児教育・保育関係職員の講座・研修会等への積極的参加を呼びかけ、また資料を提供する。

イ 学校教育関係

(ア) すべての教師が人権問題について正しい認識をもち、児童・生徒に対し差別の不当性を理解させ、差別のない社会をつくる人間の育成を目指す。

- ① 市内小中学校各1校を人権教育推進校として指定し、年に1回(秋)、人権教育授業を広く学社に公開し、学校人権教育に対する理解を広げる。
- ② 「学校人権教育研究委員会」を継続し、人権教育を推進するための研究協議を行い、市内幼保小中高等学校の人権教育の一貫した実践を図る。
- ③ 市内幼保小中高等学校教職員を対象とし、人権教育研修会・研究授業と研究会の開催や実践のまとめを行う。
- ④ 要請に応じて、市内幼保小中高等学校における人権教育に係わる講演会ほかの開催に協力・支援を行う。

(イ) 解放子ども会の運営

- ① 差別を見抜く力、差別に立ちむかい解決していく力の基盤となる学力保障を重点に運営していく。(平成20年度より休会)

(ウ) 人権教育の資料収集と整備、活用

- ① 小学校低中高学年用「あけぼの」・中学校用「あけぼの 人間に光あれ」の配布と活用の呼びかけ、「人権教育作品集(ヒューマンライツ)」および「大町市学校人権教育実践録」の作成と配布
- ② その他、資料の収集

(エ) 人権教育推進協議会、企業人権教育推進協議会等との連携

- ① 各推進協議会を通じて、学社一体の人権教育の推進を図る。

(オ) 人権教育関係ポスター・作文の募集、ポスター展を通して学校人権教育を進める。

ウ 社会教育関係

(ア) 社会人権教育関係機関・団体における人権教育・啓発活動を推進する。

- ① 公民館・公民館分室
- ② 連合自治会
- ③ 人権教育推進協議会
- ④ 企業人権教育推進協議会
- ⑤ 人権擁護委員・人権擁護審議会・社会福祉協議会・民生児童委員協議会
- ⑥ 女性団体・老人クラブ・補導員・子ども会育成会・その他諸団体
- ⑦ PTA連合会・各学校PTA
- ⑧ 部落解放運動各種団体

(イ) 人権・同和教育推進懇談会事業の推進。

- ① 歴史講演会、人権同和教育講座等を実施し、人権・同和教育問題に対する理解と認識を深め、地域での教育を推進する。

(ウ) 社会人権教育指導者を養成し確保する。

- ① 人権教育指導者養成のための研修への参加案内・呼びかけ
- ② 市役所職員の研修会開催(市内各地の研修会等の場において推進的役割を果たす)

ため)

- ③ 人権教育指導者による地域内外における人権教育の推進
- (エ) 社会人権教育設備及び教材の整備、同和教育集会所の整備強化をする。
- ① 視聴覚教材等の充実整備
 - ② 人権関係資料・教材の整備

エ 社会人権教育活動の推進

- (ア) 人権を考える市民の集い
- ① 市内6地区の学校・公民館等で開催
- (イ) 市内全地域・全市民対象の人権教育
- ① 各種団体の自主的な人権教育講座開設への協力
 - ② 広報活動の強化 「広報おおまち」に人権啓発記事を掲載、有線放送・ケーブルテレビの活用、資料の配布等
 - ③ 公民館の開設する学級等に人権教育学習を組み込む場合の協力
- (ウ) 企業人権教育の推進
- ① 企業人権教育推進協議会への加入と協力の推進
 - ② 大北地区企業人権教育推進連絡協議会への協力
 - ③ 企業人権教育指導者研修の実施
 - ④ 企業独自の人権教育の推進への協力
- (エ) 同和問題に対する教育の推進
- ① 大町市人権・同和教育推進懇談会事業計画の策定と学習の促進
 - ② 部落解放運動各種団体の自主的計画による学習会に協力
- (オ) 市内の人権擁護委員及び関係機関との協力
- ① 各種人権啓発事業での連携
 - ② 人権週間及び旬間の活用、人権問題の啓発、作文・ポスター募集などの協力

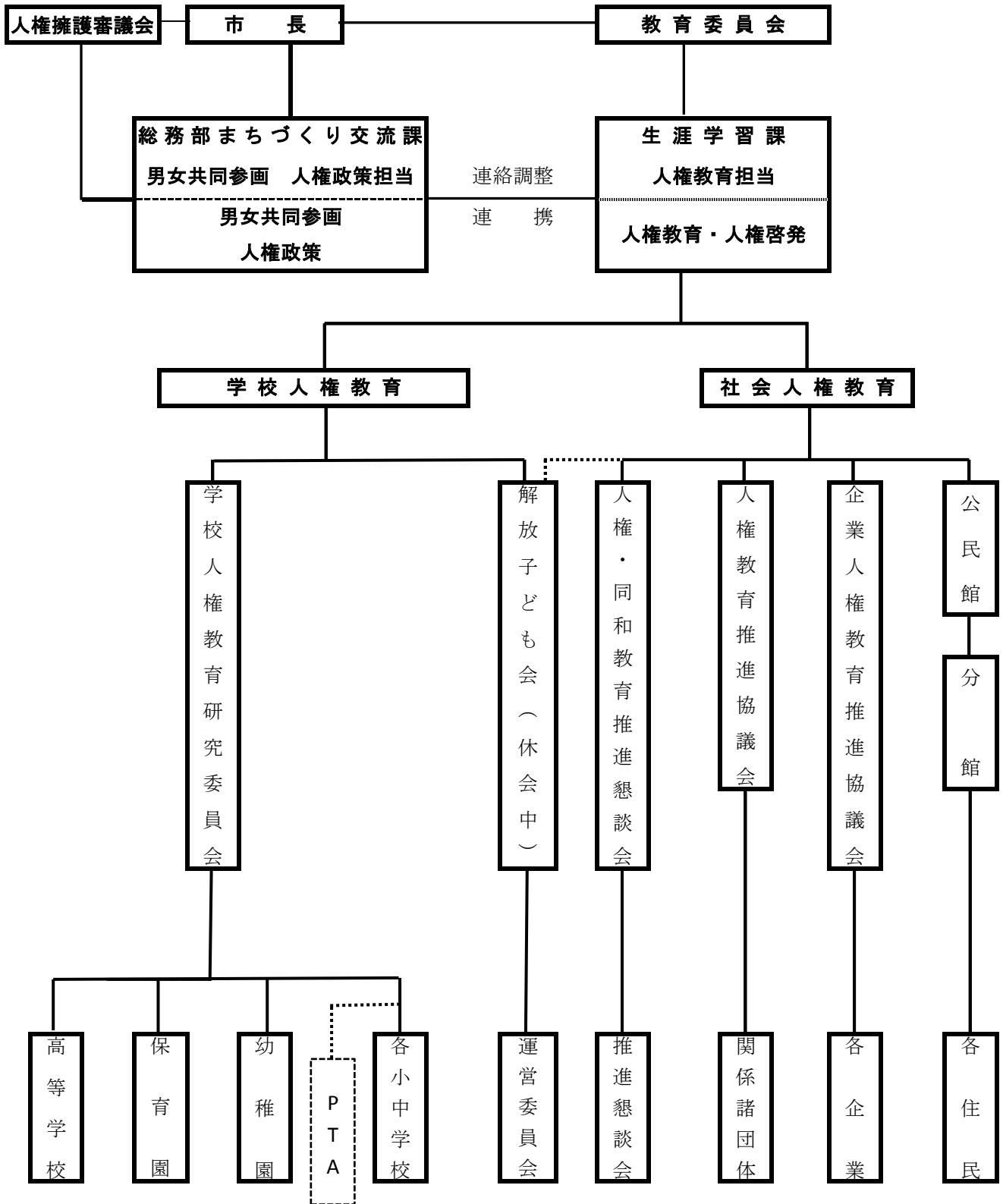
オ 人権教育の一層の推進に向けての今後の方針

- (ア) 人権教育の学社連携の強化
- ① 幼保小中高の一貫した人権教育の推進と授業公開への社会・企業人権教育関係者への参加呼びかけ
 - ② 社会人権教育推進としての「集い」へのPTA参加の強化
- (イ) リーダー養成・意識改革につながる研修・啓発の強化
- ① 「集い」の際の要項、団体・企業向け資料、広報紙による啓発活動
 - ② 各教育機関が人権教育を推進できるような情報・映像教材等の提供
 - ③ 各種機関・団体の人権問題への自主的な取り組みの促進
 - ④ 人権週間及び県民運動強調旬間に合わせての人権啓発事業の開催・資料の配付

(3) 平成28年度人権教育推進計画

	内 容 項 目	具 体 的 方 法	資 料 等	助 言 者 ・ 講 師 等
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ○指導者研修 ○地域の人権教育の推進 ○同和問題関係者との学習会 ○学校人権教育の推進 ○企業人権教育の推進 ○全市民に対する人権啓発活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会、企業、女性団体等の指導者に研修の機会を与える。 ○同和問題関係者の意識を理解し、今後の運動が高まるように啓発活動を推進する。 ○学校人権教育研究委員会と連携して、児童生徒への人権教育を進める。 ○企業経営者との連携を深め、企業内の人権教育の進展を図る。 ○「市民の集い」など研修活動の充実強化により全市民の人権感覚をより深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○映画、VTR ○[同和教育を進めるために] ○「アイユ」「人権長野」 ○各種講演・講座 ○先進地域の状況資料 ○その他の関係資料 	<ul style="list-style-type: none"> ○県教委教学指導課心の支援室 ○中信教育事務所 ○人権教育関係者 ○法務局関係者 ○人権擁護関係者 ○人権行政関係者 ○教育関係者 ○社会教育指導員 ○宗教関係者
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○市内6地区の学校や公民館で「人権を考える市民の集い」を開催 ○園児・児童・生徒を対象とした人権講演会への助成 ○公民館講座を利用した短時間人権講座の開催（随時） 			
事業計画別	4	年度間事業計画樹立		
	5	学校人権教育研究委員会・研修会、人権教育推進協議会総会・研修会、		
	6	社会人権教育実践力スキルアップ講座、企業人権教育推進協議会総会・研修会、人権を考える市民の集い（平）		
	7	社会人権教育研究協議会、人権を考える市民の集い（大町）、企業人権セミナー		
	8	人権を考える市民の集い（八坂）、長野県人権教育リーダー研修会		
	9	社会人権教育実践力スキルアップ講座、人権を考える市民の集い（美麻）		
	10	長野県同和教育研究大会、人権を考える市民の集い（常盤）		
	11	学校人権教育公開授業（西小・八坂中）、人権を考える市民の集い（社）、スキルアップ講座、人権作品の募集、三団体合同研修		
	12	大北企業人権教育研修会、人権同和教育推進懇談会事業（映画会）、大北地区企業人権教育推進協議会理事会（書面）		
	1	人権ポスター展示（児童生徒作品）、県部落解放研究集会、人権同和教育推進懇談会事業（講演会）		
	2	人権教育作品集刊行、学校人権教育研究委員会、学校人権教育実践録		
	3	年度間事業反省と次年度事業計画原案策定		
	留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○関係機関と連絡を密にする（学校・企業・自治会・その他の団体） ○企業人権教育推進協議会への未加入企業の加入促進 ○人権教育講演会・講座の工夫（自治会、企業・高齢者・児童生徒） ○地域住民・企業等の人権意識の実態把握 		

(4) 人権教育・啓発推進体制



5 公民館

公民館は、市民の自主的な学習活動を奨励し、援助することにより豊かな人間性を培うとともに、心豊かでより良い地域社会を生み出すことにある。多様化する社会にあって市民の要望を把握しながら、生涯学習時代に対応する公民館活動を推進する。

(1) 施設と機構

昭和29年の市制施行に伴い、大町市公民館を設置し、大町・平・常盤・社の4支館体制で運営してきたが、昭和58年から大町・平・常盤・社の4公民館を独立並列館とし、平成18年の市村合併により、美麻・八坂の公民館が追加、6公民館となる。

館名	所在地	対象地域	施設の概要
大町市 大町公民館	大町市大町1601-2 電話 0261-22-9988	大町地区 36分館	会議室 2 視聴覚室 料理実習室 講習室 学習室 実習室 児童室 延べ床面積681.67㎡ (昭和61年新築 文化会館併設)
大町市大町 公民館分室	大町市大町1058-13 電話 0261-22-0352		会議室 講堂 研修室 2 学習室 4 視聴覚室 栄養指導室 延べ床面積1,226.02㎡ (平成3年新築 中央保健センター併設)
大町市 平公民館	大町市平10352-1 電話 0261-22-0694	平地区 20分館	講堂 学習室 会議室 視聴覚室 実習室 延べ床面積996.63㎡ (昭和59年新築 女性未来館ピュア併設)
大町市 常盤公民館	大町市常盤3601-18 電話 0261-22-0321	常盤地区 8分館	学習室 3 研修室 2 視聴覚室 図書室 料理実習室 講堂 延べ床面積1,265㎡ (平成4年新築)
大町市 社公民館	大町市社3945-2 電話 0261-22-0378	社地区 7分館	会議室 作業室 大研修室 研修室 資料室 大展示室 延べ床面積891㎡ (昭和60年新築)
大町市 美麻公民館	大町市美麻11810-イ 電話 0261-29-2311	美麻地区 5分館	会議室 小会議室 中会議室 講堂 読書ストリート 延べ床面積545㎡ (平成19年新築 美麻支所併設)
大町市 八坂公民館	大町市八坂1133-1 電話 0261-26-2380	八坂地区 6分館	八坂情報コミュニティセンターアキツ併設 ホール 会議室 展示ホール 郷土資料室 図書コーナー 延べ床面積859.88㎡ (平成7年新築)

(2) 平成28年度事業計画

大町公民館	平公民館	常盤公民館	社公民館	美麻公民館	八坂公民館
大町地区市民運動会 大町地区球技大会（野球、ソフトボール、ソフトバレーボール、マレットゴルフ） 北アルプス囲碁・将棋大会（年2回） 各種講座の開設 大町地区文化祭	平地区市民球技大会（野球、ソフトボール、ソフトバレーボール） 平地区少年少女球技大会 平地区市民運動会 平地区市民マレットゴルフ大会 平地区市民ゴルフ大会 スマイルボウリング大会 各種講座の開設 文化祭（ピュアフェスタ）	常盤地区球技大会（野球、ソフトボール、バレーボール、マレットゴルフ） 子ども球技大会 ゲートボール大会 常盤地区運動会 常盤少年駅伝競走大会 常盤囲碁・将棋・マーじゃん大会 常盤卓球・ソフトバレーボール大会 サークル活動展示会 各種講座の開設	社地区球技大会（野球、ソフトボール、ゲートボール、女子ソフトバレーボール、男女混合混合ソフトバレーボール、ゴルフ） 子ども球技大会 社地区親睦運動会 元旦マラソン 各種講座の開設 社地区文化祭・民俗資料館特別展	美麻地区運動会 夏季球技大会（ソフトボール、ソフトバレーボール、ゲートボール） トレッキング 探索ハイク 美麻地区文化祭 綱引き大会 各種学級・講座の開設	学友会お盆球技大会 （ソフトボール、マレットゴルフ） 八坂地区運動会 八坂地区登山 八坂地区文化祭 郷土かるたもちつき大会 レクリエーション スポーツ大会 ナイターソフトボール大会 中高年の健康 体力づくり教室 各種講座の開設

(3) 講座・学級の開設状況

大町公民館

(平成27年度)

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
外国人のための日本語講座	4/1～3/30	43	10	はじめてのバスケットボール教室	7/5	1	15
菊づくり講座	4/29～9/20	6	5	デジタル一眼レフカメラ上達講座	1/27～2/24	4	14
すくすく広場	6/4～2/25	16	35組				

平公民館

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
こくごの時間	4/27～11/30	8	25	初心者のための山野草講座	6/27	1	19
親子教室ひよこクラブ	5/26～2/9	15	60組	スポーツ吹矢講座	5/25～6/15	4	10
親子でフィットネス	5/18～12/15	8	9組	そば打ち講座	12/7～12/28	4	6
信濃路の郷土料理講座Ⅰ	5/15～9/19	5	7				
信濃路の郷土料理講座Ⅱ	11/19～3/17	5	6				

常盤公民館

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
作ってみよう「手づくりパン教室」	5/13・20	2	16	そば打ち教室	11/18・19・25・26	4	18
サークル体験入学「ボクササイズ」	5/15・22・29	3	6	楽しく健康づくり「バランスボール教室」	1/25～3/28	5	34
サークル体験入学「太極拳」	5/19・26	2	2	わら細工講座「円座とねこつぐら」	2/22～3/7	5	22

鯉の峰へのぼろう	5/30	1	14				
親子教室ともだち広場	6/11～2/25	16	32組				
語学からはじめる「まるごと台湾講座」	8/25～11/10	10	11				

社公民館

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
プランターで花の寄せ植え講座	5月23日	1	12				
親子教室なかよし広場	5/13～3/2	19	30組				
ストレッチ&ヨガ教室	9/3～10/8	6	98				

大町公民館分室 対象講座なし

美麻公民館

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
探索ハイク	7月26日	1	9	親子教室パンダクラブ	5/12～3/1	10	10組
苔玉教室	6/20～10/7	3	12	親子教室コアクラブ	6/1～2/9	5	9組
ヨガ教室	4/22～3/9	12	61	みそづくり教室	5/30～2/13	7	19組
映画塾	4/22～3/25	19	179	高齢者学級	6/18～3/3	8	245
自然体験教室	6/17～6/21	1	8	お手伝いし隊	7・8・3月	7	101

八坂公民館

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
自然体験教室	6/17～21	1	8	八坂塾(そば打ち講座)	11/24～12/14	6	15
高砂大学	6/9～3/11	10	85	すこやか広場	6/19～3/9	10	11組
パソコン教室	1/26～2/18	10	11				

大町公民館分室サークルー日体験開催状況(平成27年度)

サークル名(内容)	開催日	開催時間	サークル名(内容)	開催日	開催時間
大町童謡唱歌を歌う会(童謡唱歌)	11/6	9:30-11:00	むつみ会(社交ダンス)	11/20	13:30-15:00
秋翠会(水墨画)	11/17	13:30-15:30	国民救援会大北支部(市民活動)	11/22	10:00-15:00
せせらぎ会(俳句)	11/18	14:00-17:00	レザークラフト(革細工)	11/26	19:00-21:00
やまなみ会(俳句)	11/18	18:00-20:00	書草会(書道)	11/26	9:30-11:30
桜ステップ(健康体操)	11/19	10:30-11:40	老人クラブ和紙絵の会(和紙絵)	11/28	13:00-15:00
ライズ(社交ダンス)	11/19	19:30-21:30	スリースリース(社交ダンス)	12/1	19:30-21:30
クロッカス(健康体操)	11/20	14:00-15:00	俳句クラブ(俳句)	12/1	13:30-16:30

刺しゅうグループ(戸塚刺繍)	11/20	9:30-12:30	健康教室(健康体操)	12/2	9:30-11:30
日本空手道剛柔流剛誠館(空手)	11/20	19:00-21:00	ヤングハート(健康体操)	12/15	10:00-12:00

平公民館サークル一日体験開催状況(平成27年度)

サークル名(内容)	開催日	開催時間	サークル名(内容)	開催日	開催時間
静和会(茶道)	8/26	10:00~12:00	大町太極拳クラブ	11月	19:00~21:00
式部の会(茶道)	10/24	10:00~12:00			

(4) 利用状況

(平成27年度)

館名	利用件数	利用延べ人数	館名	利用件数	利用延べ人数
大町公民館	1,980	23,838	大町公民館分室	2,145	22,925
平公民館(女性未来館との合計)	1,685	21,900	美麻公民館	265	5,115
常盤公民館	1,211	15,518	八坂公民館	124	1,307
社公民館	346	5,120	蔵の音楽館	294	754

6 図書館

(1) 基本方針

乳幼児期の絵本とのふれあいや、市民の読書と学習に役立つことができ、「暮らしの中に生きる図書館」として、利用拡大を図りながら「豊かな心を育む読書」の推進や、さまざまな学習に対する的確な情報提供を行う。また、市民のニーズに十分応えられるよう図書館資料の収集と充実を図り、生涯学習の拠点として「誰もが安心して利用」でき、魅力的で「親しまれる図書館」を目指し、積極的に図書館サービスを行う。

さらに「子供の読書活動の推進」を重点施策と位置づけ、乳幼児期から本に親しめ、成長段階に応じた読書推進を図る。

(2) 重点目標

- ・ 生涯学習、情報時代にふさわしい図書館を目指し、資料の整備、資料情報の質の向上を図る。
- ・ おはなし会など乳幼児期から積極的に読書活動を行う意欲を高めるための方策を講ずる。
- ・ 小中学校の学校図書館と連携し子どもの読書及び読書活動の推進を図る。
- ・ 高齢者、障害者が利用しやすい図書館づくりとサービスを進める。
- ・ レファレンス（調査相談業務）の充実と、その対応のための資料整備を図る。
- ・ 県立図書館や関係諸機関との連携を密にして、広範囲な資料要求に応える。
- ・ インターネットのホームページを利用した情報提供を推進する。
- ・ 読書ボランティアの育成と図書館活動の推進を図る。
- ・ 利用の拡大を図るため、広報活動の充実に努める。

(3) 施設

名 称	市立大町図書館		
所 在 地	大町市大町 4710 番地 6		
建 物	R C 造 2 階建		
	床面積	1 階	1,181.83 m ² 2 階 545.11 m ²
開館時間	火・水・木・金	午前 9 時 30 分～午後 6 時 30 分	
	土・日・祝日	午前 9 時 30 分～午後 6 時（12 月～3 月 午後 5 時）	
休 館	○毎週月曜日	○年末年始	○館内整理日（毎月最終の火曜日）
	○資料整理点検期間（毎年 6 月中の必要期間）		

(4) 平成28年度事業計画

事業名	内 容	実施時期	参加対象者・数	方 法
子どもの読書推進	おはなしの森	月1回	幼児・小学生	ボランティア
	おいでえほんのおへや	月1回	幼児・小学生	ボランティア
	子ども朗読道場	月1回	小学生	ボランティア 朗読指導
	ブックスタート	月2回	4ヶ月・1歳6ヶ月児健診	読みきかせ・ブックトーク
	セカンドブック	年6回	4歳児	絵本のプレゼント
大人の読書推進	万葉集・古文書読書会	月1回	一般	サークル
展示コーナーの充実	新刊本の展示	随時	一般	読書ボラグループおすすめ本 もんぺの会
	話題本の展示	随時	一般	
	季節・行事に応じた図書の展示	随時	一般	
	えほん等のおすすめ本	随時	乳幼児から一般	
	ヤングアダルト向け図書	随時	中学生・高校生	
体験コーナーの設置	おりがみ教室	毎月第3木曜 ・土曜日	幼児～大人	職員 希望者
	読み聞かせ体験	随時		
視聴覚障がい者サービス	視覚障がい者の方に 図書録音テープ 点字図書の貸出	随時	視聴覚障がい者	ボランティア 「かつこう」の会 「ほたる」の会
くまの子文庫	園文庫の配本と巡回	年2回巡回	市内8保育園 市内3幼稚園 子育て支援センター 中央保健センター	4月 配本 9月 入れ替え 2月 回収
読書活動推進イベント	子ども読書の日・子どもの日イベント			4月下旬
高齢者の読書推進	高齢者施設へ出向いての読み聞かせ及び図書資料の貸出推進			随時 職員
夜間開館	竈神社祭典時に開館時間の延長			9月
松本山雅読書週間協力事業	松本山雅のテーマ展示及び選手の葉配布			10月下旬から11月上旬
ボイストレーニング	ボイストレーニング・朗読指導	5・6・9・ 10・12・2月	利用者全般	ボランティア講師
手づくり絵本巡回展	手づくり絵本の展示	4月22日～24日	利用者全般	ボランティア
手づくり絵本による読み聞かせ	手づくり絵本による読み聞かせ	4月23日	利用者全般	ボランティア
絵手紙講座	絵手紙の書き方教室	4月24日	利用者全般	講師依頼
母の日イベント	切り紙のフォトスタンド作り	5月上旬	利用者全般	職員
蔵書点検	図書の整理	6月6日～16日		休館
七夕の夕べ	七夕飾り・七夕人形	7月上旬～7月下旬	利用者全般	職員・ボランティア
夏休み工作	風鈴作り	8月上旬	利用者全般	職員
秋のおはなし会	民話のかたり	9月中旬	利用者全般	ボランティア
ブローチづくり講座	古布を使ったブローチ作成	9月下旬	利用者全般	講師依頼
松居 友講演会	児童文学者・松居さんの講演会	10月上旬	利用者全般	講師依頼
BOOK BOOK 2016	お話を中心としたイベント	10月中旬	利用者全般	ボランティア
ハロウィンイベント	ハロウィン小物作成	10月	利用者全般	職員
おおまちの歴史講座	大町市の歴史についての講演会	10・11・12・ 1・2・3月	利用者全般	ボランティア講師
クリスマスイベント	Xmasリース作り	11月下旬	利用者全般	職員
	紙芝居・Xmasコンサート他	12月中旬	利用者全般	職員・ボランティア
お正月イベント	お正月のかざり講座	12月上旬	利用者全般	職員
	民話かるた大会	1月上旬	利用者全般	職員・もんぺの会
節分豆まき会	お話会・豆まき	1月下旬	利用者全般	職員・ボランティア
リサイクル本	リサイクル本の配布	10・2月	利用者全般	
大活字本紹介	高齢者学級や高齢者施設に出向き読み聞かせと大活字本を紹介し、来館促進する。			
新刊本お勧め本紹介	新刊本の中で図書館が特に薦める資料を紹介			
所蔵本お勧め本紹介	館内所蔵の中で職員が特に進める資料の紹介			

(5) 平成28年度 子どもの読書活動推進計画

事業	内容	対象・回数
① 乳児から未就学児親子に対する絵本とのふれあい		
ブックスタート	保健センターの健診時を利用し、読みきかせボランティアの協力により絵本の読みきかせ、相談、読書の楽しさと大切さを知っていただく啓発活動を行う。	4ヶ月児と1歳6ヶ月児親子 (月1回ずつ)
セカンドブック	自分でも本を読む意欲を持ち始める時期の4歳児に本を贈ることにより、親子での読書を通じて読書習慣をつけることを目的とする。	年6回
親子読書の推進・啓発	○年齢に応じた絵本リスト紹介 ○児童図書の実践 ○親子折り紙教室・ブックトーク・絵本の読み聞かせの開催	乳幼児から保護者まで (通年)
おはなしの会	○乳幼児から未就学児を対象としたおはなし会の開催 おいでえほんのおへや	乳幼児から保護者まで
くまの子文庫 《園児の選書力》 《親子読書の推進》	○園文庫の配本と巡回 ○各施設との意見交換及び状況確認	市内の3幼稚園、8保育園、子育て支援センター、中央保健センター(巡回は年2回)
② 児童・生徒の読書活動の推進		
おはなし会等 *おはなしの森 *子ども朗読道場	○図書館と連携したボランティアによる読みきかせや語り ○小学生を対象とした朗読練習	市民全般(毎月) 小学生(毎月)
図書館利用の促進	○児童向け図書案内及び新刊コーナーの充実等 ○季節にちなんだ行事の開催(子ども読書の日、折り紙教室、七夕、夏休み特集、クリスマス、正月、節分、春休み特集等) ○読みきかせや交流の場の提供 ○学校司書との連絡会の開催 ○図書館見学、職場体験の受け入れ	児童・生徒
図書館協議会の促進	○学校図書館司書、司書教諭も含め市図書館との連絡(図書館運営・蔵書・選書などの意見交換) ○読みきかせボランティアを導入した「朝の読みきかせ」の推進・協力 ○小中学生へ「朝読書」の推進・協力	小中学校、図書館 市民代表(協議会委員)
中高生への読書推進 《読書に対する意欲の向上》	○ヤングアダルトコーナーの充実 ○読書推進の啓発	中・高生
③ 市民による子どもへの読書活動の推進		
ボランティア養成講座及び活動ボランティアとの連携	○読みきかせボランティアの養成と拡大 ○読みきかせボランティア養成講座 ○活動サークルとの連絡会、支援、協力 ○「手づくり絵本」展示会場の提供等	市民全般 登録ボランティア
イベントの開催 *BookBook2016	○ボランティア連絡会による活動発表会及び情報交換会	会員及び市民全般
公民館図書室の充実と連携	○公民館蔵書の配置 ○公民館図書室の実情の把握、改善 ○公民館活動との連携 ○子ども会育成会等との連携	地区公民館 地域市民
障がい者サービスの充実 *手づくり絵本*かっこう	○テープ図書の作成	障がいを持つ子ども
④ 広報活動		
	○広報、新聞、有線で新着図書紹介やイベント案内 ○図書館カレンダーに行事案内を掲載し配布 ○図書館ホームページの活用 ○各種の催しを、市内幼稚園、保育園、小学校にチラシ配布	市民全般

(6) 蔵書構成

(平成28年3月31日現在)

分類		蔵書冊数	構成比	分類	蔵書冊数	構成比
一般図書	N 郷土資料	6,657 冊	4.8 %	児童図書	34,077 冊	24.6 %
	0 総記	4,471	3.2	紙芝居	1,025	—
	1 哲学	4,039	2.9	合計	138,588	100.0
	2 歴史・地理	9,498	6.9	園文庫	3,858 点	—
	3 社会科学	13,920	10.0	雑誌	4,704	—
	4 自然科学	9,838	7.1	視聴覚資料		
	5 工業・工学	7,466	5.4	C D	1,710 点	—
	6 産業	3,664	2.6	ビデオ	1,585	—
	7 芸術	10,764	7.8	D V D	626	—
	8 語学	1,815	1.3	テープ図書	1,768 本	—
	9 文学	31,746	22.9	総合計	152,839	—
	小計	103,878	—			
	文庫	5,291	—			
	大活字本	1,737	—			
参考図書	344	—				
新書	12,730	—				
点字図書	633	—				

(7) 利用状況

ア 分類別貸出冊数

(平成27年度)

分類		児 童	一 般	合 計	構 成 比
一 般 図 書	0 総 記	109	754	863 冊	1.00 %
	1 哲 学	113	2,229	2,342	2.73
	2 歴 史・地 理	292	4,594	4,886	5.69
	3 社 会 科 学	365	3,951	4,316	5.02
	4 自 然 科 学	276	3,939	4,215	4.91
	5 工 業・工 学	1,228	13,939	15,167	17.66
	6 産 業	277	3,297	3,574	4.16
	7 芸 術	654	5,438	6,092	7.09
	8 語 学	62	691	753	0.88
	9 文 学	837	28,573	29,410	34.24
	E 絵 本	7	14	21	0.02
	B 文 庫	265	6,777	7,042	8.20
	D 大 活 字 本	60	2,272	2,332	2.72
	R 参 考 図 書	0	22	22	0.03
	S 新 書	204	4,652	4,856	5.65
小 計	4,749	81,142	85,891	100.00	
児 童 図 書	0 総 記	171	265	436	0.82
	1 哲 学	148	201	349	0.66
	2 歴 史・地 理	334	633	967	1.83
	3 社 会 科 学	307	292	599	1.13
	4 自 然 科 学	854	1,558	2,412	4.56
	5 工 業・工 学	422	671	1,093	2.07
	6 産 業	133	243	376	0.71
	7 芸 術	678	1,059	1,737	3.28
	8 語 学	69	145	214	0.40
	9 文 学	4,033	7,126	11,159	21.09
	E 絵 本	9,230	22,788	32,018	60.50
	K 紙 芝 居	472	954	1,426	2.69
D 大 活 字 本	1	9	10	0.02	
S 新 書	15	107	122	0.23	
小 計	16,867	36,051	52,918	100.00	
郷 土 資 料	75	578	653	—	
雑 誌	591	5,955	6,546	—	
視 聴 覚 資 料					
C D	194	2,581	2,775 点	—	
ビ デ オ	68	386	454	—	
D V D	963	3,419	4,382	—	
テ ー プ 図 書	4	118	122	—	
合 計	23,511	130,230	153,741	—	

イ 月別貸出数と登録者数

(平成27年度)

月	開館日数	貸出数	一日平均	学習室利用者数	一日平均	登録者数
4	25	12,823	513 冊	200	8 人	39
5	25	12,208	488	370	15	46
6	18	10,854	603	205	11	33
7	26	13,479	518	353	14	59
8	25	14,150	566	729	29	56
9	25	12,934	517	463	19	51
10	26	13,941	536	503	19	40
11	24	13,360	557	704	29	42
12	23	14,011	609	498	22	45
1	23	13,847	602	393	17	28
2	23	13,732	597	525	23	40
3	26	13,665	526	279	11	38
計	289	159,004	550	5,222	18	517

※貸出数は学習室利用を含む

7 山岳博物館

地域の総合博物館という基本的な性格をもち、観光施設として山岳及び地域の自然を紹介し、教養・文化創造・憩いの場を提供するとともに、資料の収集・保管、展示、調査研究、教育普及活動を進める。

(1) 施設概要

名称 市立大町山岳博物館
 所在地 大町市大町8056-1
 電話 0261-22-0211 F A X 0261-21-2133
 敷地面積 39,875.92㎡
 建物構造 鉄筋コンクリート地下1階地上3階
 床面積 1階：1,224.9㎡ 2階：686.1㎡ 3階：116.8㎡ 地階：159.2㎡
 付属施設 山岳図書資料館・付属園（本館裏）

(2) 平成27年度 資料収集事業

ア 収蔵資料

[平成28年3月31日現在]

人文科学系資料		自然科学資料			
区分	数量	区分	数量	区分	数量
山岳	7,851	菌類（液浸標本）	129	哺乳類（剥製等標本）	242
山岳・美術寄託	610	蘚苔類（乾燥標本）	674	鳥類（剥製標本）	660
歴史	12	維管束植物（液浸標本）	7	昆虫（標本ドイツ箱）	258
民俗	937	維管束植物（さく葉標本）	約6,000	昆虫（未標本作製）	約4,600
美術	446	魚類（液浸標本）	62	昆虫（液浸標本）	27
考古	0	両性爬虫類（液浸標本等）	72	その他液浸標本	103
図書・AV	24,220	貝・甲殻類（液浸標本）	13	図書・AV	5,962
計	34,076	地質	2,561	計	約21,370

イ 資料収集

山岳図書資料、図書資料、民俗資料等16件2,373点を寄贈により受け入れ。
 購入、製作により化石、剥製標本、山岳資料を40点収集。

ウ 飼育動物・栽培植物

[平成28年3月31日現在]

種名	雄	雌	不明	計	種名	雄	雌	不明	計
ホンドタヌキ*	1			1	カルガモ*			1	1
ホンドキツネ*	1			1	アオクビアヒル*	1			1
ハクビシン*	2	1		3	トビ*			8	8
ニホンカモシカ*	2	4		6	チョウゲンボウ*	1	1		2
					ニホンキジ*	2	1		3
					キジバト*			2	2
					フクロウ*			1	1
					スズメ*	3	4	0	7
計	6	5		11	計	7	6	12	25

*保護動物を含む

傷病鳥獣保護受け入れ 哺乳類0種0個体、鳥類0種0個体（そのうち死亡0個体、放鳥獣0個体）
 栽培植物40種

(3) 平成28年度 調査研究事業

ア 主な調査研究事業

- ① 鹿島槍ヶ岳カクネ里雪渓（氷河）学術調査
- ② 高山植物の生活史に関する研究
- ③ スパールバルライチョウの飼育・研究
- ④ 爺ヶ岳におけるライチョウの生息域内の山岳気象観測
- ⑤ ニホンライチョウ（日本亜種）の飼育・研究

(4) 平成28年度 教育普及事業

ア 企画展・特別展

名 称	期 間
北アルプスの自然に蝶が舞う	2月13日～4月10日
鹿島槍ヶ岳カクネ里 氷河への道のり	6月11日～8月28日
雷鳥 ～四季を纏う神の鳥～	9月3日～11月27日

イ 常設展示

展示資料点数1,091点（自然科学系534点、人文科学系557点）

ウ 移動展示

名 称	期 間	場 所
「山の科学・研究トピックス」出張展示	4月、7月、11月、1月の各2週間	大町市役所
第11回安曇野アートライン美術館展	11月19日～12月18日	国営アルプスあづみの公園

エ 主な教育普及活動

名 称	期 間
講演会「山博を通して地域資源の再発見」	4月24日
さんぱくふぞくえんまつり(写生大会、どうぶつ観察ツアー、スタンプラリー他)	4月29日～5月5日
山の歴史ウォーキング 体感！ 山岳文化都市おおまち 平野口編	6月22日
カクネ里雪溪(氷河) 学術調査団報告会	7月10日
自然ふれあい講座 みんなで温暖化ウオッチ セミのぬけがらを探せ！	8月4日
さんぱくこども夏期だいがく一斉動物探検隊一	8月6日
対談「写真家の視点・研究者の視点からライチョウの魅力にせまる」	9月11日
ライチョウサミット 第17回ライチョウ会議長野大会	10月15日～16日
山の歴史ウォーキング 体感！ 山岳文化都市おおまち 木崎湖編	10月30日

オ その他の教育普及活動

名 称	期 間
学校との連携授業(市内小学校の博物館活用事業)	4月～3月
博物館実習の受入	8月3～7日 (5日間)
学習会等への協力(出張講座等)	4月～3月
雪形まつりへの協力	5月～6月
市民登山への協力	9月
博物館資料の貸出(特別利用)	4月～3月
山岳図書資料館の利用	4月～3月
観覧者への展示解説(事前依頼者)	4月～3月

カ 情報発信

『山と博物館』の発行 毎月1回1,000部発行、3月号のみ市内全戸配布11,000部発行
『山岳博物館研究紀要』の発行(第2号)
『山岳博物館年報』の発行(平成27年度)
インターネット・ウェブサイトの運用

キ 他団体との連携

大町博物館連絡会
安曇野アートライン推進協議会・博物館美術館部会
大町山岳博物館友の会
長野県山岳総合センター
ライチョウ会議
信州大学山岳科学総合研究所との研究協力協定
カクネ里雪溪学術調査団
長野県環境保全研究所との連携・協力に関する協定
(公社)日本動物園水族館協会
オーストリア・インスブルック市との友好提携協定

ク ミュージアムショップ・カフェの営業(委託：もるげんろ〜と)

(5) 平成27年度 動植物飼育栽培繁殖事業

ア 動物飼育繁殖

動物の生体展示
教育普及への活用
傷病鳥獣の救護
希少種の保護・繁殖
施設整備(ライチョウ舎の建設及び今後の付属園整備計画)

イ 植物栽培繁殖



学校との連携授業 大町市内小学校5年生キャンプ (H28年6月)



ライチョウサミット「第17回ライチョウ会議長野大会」(H28年10月)

(5) 利用状況

ア 入館者

年度	総数	一般個人			団体			無料減免
		大人	高校生	小中生	大人	高校生	小中生	
26	489人	291人		100人	21人		77人	
27	5,147	2,425		1,022	186		1,514	
28	13,092	8,922		2,229	725		1,216	
29	11,424	7,779		1,831	625		1,189	
30	10,885	6,831		1,664	1,445		945	
31	4,930	2,148		888	1,036		858	
32	5,298	1,934		658	826		1,880	
33	7,897	2,979		1,032	1,469		2,417	
34	7,113	2,972		626	1,727		1,788	
35	8,599	3,635		878	1,943		2,143	
36	10,163	4,181		1,329	2,132		2,521	
37	14,243	5,313		1,633	4,549		2,748	
38	15,893	6,394		1,854	4,727		2,918	
39	26,242	10,464		1,658	12,600		1,520	
40	25,560	14,214		1,696	8,050		1,600	
41	26,680	10,399		1,711	13,070		1,500	
42	25,900	12,891		1,649	8,301		3,059	
43	41,538	18,458		2,071	17,769		3,240	
44	32,967	16,273		2,100	10,845		3,749	
45	30,929	13,405		1,941	11,623		3,960	
46	39,326	18,414		3,001	14,718		3,193	
47	40,670	17,500		3,025	13,268		6,877	
48	58,373	25,809		4,178	22,612		5,774	
49	62,254	28,702		4,277	23,432		5,843	
50	67,692	32,345		4,896	23,616		6,835	
51	70,603	32,111		5,142	25,150		8,200	
52	54,700	26,155		4,311	18,907		5,327	
53	64,129	26,346		4,158	24,903		8,722	
54	63,943	27,769		4,485	25,089		6,600	
55	57,038	25,743		4,414	19,909		6,972	
56	65,132	31,697		7,558	16,182		9,695	
57	70,215	31,894	809	6,400	10,391	5,827	6,929	7,965
58	86,413	33,590	988	6,632	15,885	7,992	12,303	9,026
59	82,384	30,335	816	5,905	12,969	9,172	15,070	8,117
60	99,866	36,686	1,142	8,025	22,782	8,559	15,902	6,770
61	86,678	34,797	1,086	6,109	16,001	8,107	16,069	4,509
62	86,238	33,132	918	5,581	18,751	7,065	17,186	3,605
63	84,925	36,116	841	5,932	14,947	6,085	14,735	6,269
元	80,744	41,018	1,199	6,450	13,191	4,650	10,527	3,709
2	82,798	43,444	1,108	6,752	16,486	3,045	7,119	4,844
3	86,477	47,004	1,276	7,313	13,817	4,212	8,278	4,577
4	73,824	42,197	725	5,719	13,068	1,687	7,015	3,413
5	75,766	45,182	809	5,807	12,249	2,807	5,325	3,587
6	64,939	38,354	933	4,809	10,561	1,932	4,974	3,376
7	63,860	37,356	981	4,650	9,493	1,840	4,164	5,376
8	53,984	36,002	869	4,189	6,601	1,905	2,244	2,174
9	47,562	31,119	626	3,417	7,626	1,245	2,100	1,429
10	42,440	28,219	637	3,105	6,023	764	2,006	1,686
11	34,618	24,220	482	2,200	4,766	561	1,183	1,206

年度	総数	一般個人			団体			無料減免
		大人	高校生	小中生	大人	高校生	小中生	
12	34,059 人	23,082 人	501 人	2,273 人	5,344 人	648 人	1,024 人	1,187 人
13	35,013	24,064	439	2,163	3,389	671	1,577	2,710
14	28,399	20,527	472	1,744	2,518	675	808	1,655
15	28,322	19,693	535	2,152	2,184	785	1,082	1,891
16	21,551	14,664	376	1,073	2,875	602	644	1,317
17	19,265	12,065	213	630	3,138	692	928	1,599
18	23,363	14,056	135	996	3,120	545	1,836	2,675
19	17,572	10,991	120	742	2,401	407	1,037	1,874
20	18,515	11,532	130	803	2,766	381	578	2,325
21	17,942	11,269	100	704	3,055	61	1,098	1,655
22	15,147	9,578	103	594	2,665	466	467	1,274
23	21,020	12,363	127	855	2,963	328	1,396	2,988
24	16,133	9,818	114	640	2,344	498	587	2,132
25	12,237	7,550	97	522	2,008	142	353	1,565
26	20,919	12,249	119	893	3,146	655	370	3,487
27	18,294	10,427	101	795	2,782	440	613	3,136

8 民俗資料館

民俗資料館は、社地区に残された文化財をはじめ、仁科文化や、社地区に関係ある資料を中心に展示し、文化向上に寄与するとともに、地域のコミュニティーセンターとしての機能を持つものとする。

(1) 施設

名 称	大町市民俗資料館
所 在 地	大町市社 3945-2
電 話	0261-22-0378
床 面 積	891 m ²
開 設	昭和 60 年 4 月 1 日
開 館	月曜日（祝日の場合は翌日）を除く日 冬期（12月から3月まで）は、土曜日・日曜日・祝日、年末年始を除く日 時間 午前 8 時 30 分～午後 5 時

(2) 展示室

ア 特別展示室

考古資料として、当資料館裏山に広がる山寺廃寺跡から出土した長野県宝の四耳壺・青白磁水注・写経石等を展示。当時の中国から輸入した陶器などがお墓の骨壺に使われていて、大きな寺があったことを物語っている。

また、民俗資料として、明治時代のひな人形・五月人形・七夕人形等を展示し、歴史資料として、地区内の歴史的建造物を写真パネルで紹介している。

イ 小展示室

江戸から昭和 30 年代に入るまで、社地区の主要産業として地域経済を支えてきた、松崎紙および宮本紙の資料（昭和 50 年市指定文化財〈民俗資料〉に指定）を展示。

釜・簀（す）・すき舟・馬鋏（ませ）などの紙すき用具のほか、紙すきの模様を説明した写真などを交え、歴史・工程両面から紹介している。

ウ 企画展示室

旧社小学校に所蔵されていた、明治から現在に至るまでの教科書資料を中心に、市内の学校の移り変わりを年表にまとめている。

(3) 利用状況

入館者状況

年 度	総 数
62	1,859 人
63	1,856
元	2,169
2	1,992
3	2,064
4	1,723
5	1,284
6	1,434
7	1,048
8	1,104
9	845
10	1,139
11	676
12	690
13	634
14	492
15	427
16	253
17	534
18	227
19	367
20	355
21	468
22	527
23	623
24	681
25	588
26	635
27	537

9 文化会館

大町市の将来像「美しく豊かな自然 文化の風薫る きらり輝くおおまち」の実現に向けて、文化都市の創造と心豊かなまちづくり・ひとづくりを推進する拠点文化施設として、市民要望に応じた計画的な施設の改善を図りながら、優れた舞台芸術の鑑賞機会を充実させるとともに、市民の自主的な文化活動を支援し、地域文化の振興を図ります。

1 芸術文化活動の支援

市民の芸術文化活動の発表の場として、市民芸術祭を開催します。
また、自立して、団体独自で発表会等を実施する活動を積極的に支援します。

2 芸術文化に触れる機会の充実

劇団四季ミュージカルを実施し、市内高校生以下の児童・生徒が、低料金で鑑賞できるようにするほか、市民ニーズに沿ったコンサートなどを開催します。
また、舞台芸術を身近で感じられるように、学校・施設等での演奏会を実施します。

3 芸術文化団体の育成・支援

大町市芸術文化協会への加盟促進を図りつつ、市内芸術文化団体のそれぞれの活動への支援を通して育成し、自主的な芸術文化活動を促進します。
大町市少年少女合唱団の団員の加入促進、集団活動を通じた子どもたちの人間形成を図るなどの活動の支援を通して、地域の子どもの育成を図ります。

4 市民参加と協働による特色ある文化の創設

市民参加による、地域に根ざした特色ある芸術文化活動を支援し、協働で事業を実施します。

5 文化施設の整備

開館して30年を迎えた施設の計画的な改修に努め、市民芸術活動の拠点となる施設の整備と充実を図ります。

(1) 施設

名 称	大町市文化会館
ホールの愛称	エコーホール
所 在 地	大町市大町1601-2
電 話	T E L 0261-22-9988 F A X 0261-22-9849
設備概要	大町公民館、文化会館棟 大ホール1,144席（母子室、車椅子席あり）、リハーサル室、練習室3室、楽屋4室、展示室 サン・アルプス大町棟 大会議室（200人）、研修室（75人）、小会議室（25人）、和室研修室（20人）、中会議室（50人）
施設延べ面積	6,478.03㎡
開 設	昭和61年5月28日

(2) 平成28年度事業計画

事業名	期 日	主な出演者等
ペコロスの母に会いに行く	8月30日	仁科亜季子、藤田弓子、東国原英夫、木村理恵ほか
フォレストコンサート2016 in 大町	9月17日	フォレスト
よしもと秋の大笑いまつり in 大町!	10月7日	cowcow、ウーマンラッシュアワーほか
2016市民芸術祭日本舞踊・市民芸能ステージ	11月3日	日本舞踊・歌謡舞踊・カラオケ・太極拳・詩吟ほか
2016市民芸術祭 Sky Blue コンサート	11月6日	器楽演奏・合唱の団体
2016市民芸術祭 Dance! 2016	11月13日	ジャズダンス・モダンバレエ・ヒップホップダンス・クラシックバレエ
湯澤かよ子 LIVE	11月5日	湯澤かよ子
劇団四季 こころの劇場 ガンバの大冒険	11月9日	劇団四季
劇団四季 ウェストサイド物語	11月21日	劇団四季
第九演奏会～北アルプスに響け歓喜の歌～	12月11日	大町市第九合唱団
大町市少年少女合唱団定期演奏会	12月25日	大町市少年少女合唱団
歌舞劇団田楽座大町公演	1月15日	田楽座
芸術文化ふれあい事業	2月9日～11日	小谷口直子・塩見亮・杉江洋子
大町市芸術文化協会「はばたきの集い」	3月5日	大町市芸術文化協会加盟団体
大黒摩季コンサート	3月25日	大黒摩季

(3) 平成27年度実施事業

事業名	期 日	主な出演者等
細川たかしコンサート	9月21日	細川たかし・杜このみ・まるまる
高橋あずみコンサート	11月3日	高橋あずみ
祭in大町・北安曇2015 Again	11月8日	大北地域の民俗芸能団体ほか
2015市民芸術祭日本舞踊・市民芸能ステージ	11月1日	日本舞踊・歌謡舞踊・カラオケ・太極拳・詩吟ほか
2015市民芸術祭 Sky Blue コンサート	11月15日	器楽演奏・合唱の団体
2015市民芸術祭 Dance! 2015	11月22日	ジャズダンス・モダンバレエ・ヒップホップダンス・クラシックバレエ
芸術文化ふれあい拡充事業	11月26日～28日	小谷口直子・塩見亮
東京スカパラダイスオーケストラコンサート	12月12日	東京スカパラダイスオーケストラ
大町市少年少女合唱団定期演奏会	12月20日	大町市少年少女合唱団
大町市芸術文化協会「はばたきの集い」	2月28日	大町市芸術文化協会加盟団体
劇団四季 むかしむかしゾウがきた	3月21日	劇団四季

(4) エコホール利用状況

(平成27年度)

利用件数 46件
 利用者数 24,977人
 ホールオープンからの延べ利用者数 1,188,845人

(5) サン・アルプス大町利用状況

(平成27年度)

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1
件数	36	37	48	46	30	28	38	40	40	34
利用者人員	3,397	1,495	2,238	1,398	1,236	1,039	1,908	1,344	1,191	651
開館日数	25	24	25	26	27	23	26	24	23	23

月別	2	3	計
件数	46	52	475
利用者人員	2,678	1,412	19,987
開館日数	23	25	294

10 女性未来館ピュア

女性労働者および勤労者家庭の女性などを対象に職業生活ならびに家庭生活に必要な相談、指導、講習等を行う。また、レクリエーション等余暇活動の場と機会を提供し、女性の福祉増進を総合的に進める。

(1) 施設

名 称	大町市女性未来館ピュア
所 在 地	大町市平10352-1
電 話	0261-22-0694
建 物	鉄骨耐火被覆構造 平屋建て 床面積 614.46㎡
各 室	第1講習室、第2講習室、茶室、料理講習室、音楽室、 軽運動室、図書室、託児室、相談室、談話室、事務室
開 設	昭和59年4月1日
開 館	開館時間 午前8時30分～午後9時30分

(2) 平成27年度実施事業

	名 称	実施月	回数	受講者数・延人数
講 座 の 開 設	ピュアに輝く女性講座	4～2月	10回	34人・延288人
	こくごの時間	4～11月	8回	25人・延164人
	味わい文字	4～5月	4回	18人・延60人
	手づくり絵本教室	5～6月	4回	6人・延18人
	血液サラサラ太極拳講座	4月	2回	9人・延16人
	普段着の着物着付け講座	4～7月	7回	13人・延76人
	SANBAの会毎日続けるためのエクササイズ	4～7月	3回	14人・延43人
	SANBAの会わらべ歌親子キッズダンス	5月	3回	12人・延36人
	保育サポーター講座	9月	3回	7人・延43人
	皇帝菊	4～10月	3回	8人・延21人
	簡単セルフトリートメント	9～10月	3回	17人・延38人
	アロマセラピー資格取得講座	8～10月	6回	7人・延32人
	ソープカーピング	10月	2回	13人・延25人
	薬膳料理	11月	2回	21人・延36人
	パン屋さんのパン講座	11月	4回	28人・延52人
	親子でクリスマスケーキ 編み物講座	12月	1回 3回	7組・延17人 8名・延24人
誰にでもすぐ描ける絵画講座	1～2月	5回	8人・延20人	
そ の 他	運営委員会	11・3月	2回	10人
	利用者の会清掃（春・秋）	5・11月	2回	133人
	第27回仁科の里ピュアフェスタ	11月	1回	386人
	サークル1日体験	随時	3サークル3回	約25人
	ピュアコンサート	10月	1回	70人

(3) 平成27年度施設利用状況（平公民館との合計）

ア 利用者数

利用者の区分 利用方法	総 数	女子労働者	勤 労 者 家庭主婦等	その他	備 考
総 数	21,900	3,623	16,238	2,039	
個 別 利 用	5,300	1,046	3,764	490	
グループ活動等 による団体利用	13,243	2,209	9,864	1,170	
そ の 他	3,357	368	2,610	379	

イ 年齢階層別利用者数

総 数	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50歳以上
20,116	1,420	2,320	2,959	13,417



親子でクリスマスケーキ作り



着物着付け



味わい文字



薬膳料理

1 1 大町市文化財センター

(1) 施設

名 称	大町市文化財センター
所 在 地	大町市大町 4700 番地
電 話	0261-23-4760
施 設	鉄骨 2 階建て、1 階総面積 460.68 m ² 、2 階総面積 247.98 m ² 、 総床面積 738.66 m ² 1 階…展示室 219 m ² のほか事務室、研究室、保存作業室、収蔵庫。 2 階…学習室 94 m ² のほか資料室、整理作業室、収蔵庫（貴重品庫）。 学習室は、市民に開放し、講座などをおこない、資料室は市民の方々の知 りたい郷土の歴史等、情報資料の提供をする。
開 館	開館時間 午前 9 時～午後 5 時 休館日 毎週日曜日、国民の祝日、年末年始

おもな収蔵品

市内各地の遺跡出土品（常盤大崎遺跡、平一津遺跡、平上原遺跡など）
加藤朝鳥（文筆家）資料＜加藤寿々子寄贈品＞
市所蔵・寄託古文書
市所蔵絵画 など

1 2 国重要文化財旧中村家住宅

(1) 施設

名 称	国重要文化財旧中村家住宅
所 在 地	大町市美麻 17668
電 話	0261-29-2580
施 設	主屋（おもや）…木造平屋茅葺、総床面積 298 m ² 土蔵…木造二階建茅葺、総床面積 159 m ² 、展示施設、収蔵庫 管理棟…木造平屋建トタン葺、総床面積 33.924 m ² 、事務室、トイレ 国重要文化財の民家を公開。土蔵には、旧中村家及び美麻に関する歴 史的資料を展示・公開。
開 館	開館時間 午前 9 時～午後 5 時（入場は午後 4 時 30 分まで） 休館日 毎週月曜日・火曜日（月曜日・火曜日が休日の場合は翌日 及び翌々日）、12 月 1 日～3 月 31 日

13 社会教育施設一覧表

平成28年10月1日現在

名称	所在地 電話番号	建築面積 (㎡)	休館日 開館時間	利用できる施設・設備	使用料・入館料 併設施設
大町公民館	大町1601-2 0261-22-9988	681.67	月曜・祝日の翌日 ・年末年始 8:30~21:30	第1会議室(14人) 第2会議室(25人) 学習室(24人) 視聴覚室(25人) 料理実習室(20人) 実習室(24人) 児童室(和室:15人) 講習室(和室:10人)	使用料金表による ◇文化会館 ◇勤労者福祉施設
文化会館	大町1601-2 0261-22-9988	6,478.03	月曜・祝日の翌日 ・年末年始 大ホール 9:00~22:00 大ホール以外 8:30~21:30	ホール(1,172席) 楽屋(4室/33㎡~82㎡) 練習室(3室/15㎡~38㎡) リハール室(94㎡) ほか 展示室(90㎡) 研修室(75人) 大会議室(200人) 研修室(25人) 中会議室(50人) 小会議室(25人) 和室研修室(20人) 軽食喫茶室(40人)	使用料金表による ◇大町公民館 ◇スケートボードパーク
文化会館 サンアル ブス大町	0261-22-8989				
平公民館	平10352-1 0261-22-0694	996.63	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	講堂(300人) 実習室(16人) 会議室(15人) 視聴覚室(30人) 学習室(30人)	使用料金表による ◇女性未来館ピュア
女性未来館ピュア	平10352-1 0261-22-0694	614.46	火曜・祝日の翌日 ・年末年始 10:00~21:30	軽運動室(104㎡) 音楽室(20人) 講習室(2室/60人) 料理講習室(25人) 相談室・託児室・図書室・茶室	使用料金表による ◇平公民館
常盤公民館	常盤3601-18 0261-22-0321	1,264.70	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	学習室3室 研修室2室 視聴覚室・同和教育資料室 図書室 料理実習室 講堂	使用料金表による
社公民館	社3945-2 0261-22-0378	891.00	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	大研修室(300人) 研修室(50人) 会議室(15人) 作業室(20人)	使用料金表による ◇民俗資料館
民俗資料館	社3945-2 0261-22-0378				
大町公民館分室	大町1058-13 0261-22-0352	1,226.02	月曜・祝日の翌日 ・年末年始 8:30~21:30	会議室(2室) 講堂 研修室(2室) 学習室(4室) 視聴覚室 栄養指導室	使用料金表による ◇中央保健センター
蔵の音楽館	大町2542-1 0261-22-0420	79.30	月曜・祝日の翌日 ・年末年始 8:30~21:30	1 F 演奏室 2 F 倉庫	施設利用料 1時間200円 冷暖房使用量 1時間100円
図書館	大町4710-6	1,181.83	毎週月曜日・毎月最終火曜日 ・蔵書点検期間 (毎年6月中旬の10日間程度) ・年末年始 火・水・木・金(通年) 9:30~18:30 土・日・祝日 (4月~11月) 9:30~18:00 (12月~3月) 9:30~17:00	1階 一般コーナー、児童コーナー 新聞・雑誌コーナー、AVコーナー 2階 視聴覚室(兼学習室50人)、会議室 地域資料室、保存図書コーナー	
文化財センター	大町4700 0261-23-4760	738.66	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~17:00	展示室(1室) 学習室(40人) 資料室(1室) 整理作業室(2室)	無料
山岳博物館	大町8056-1 0261-22-0211	2,683.95	月曜・年末年始 但し7月・8月は無休 9:00~17:00	エントランスホール・展示室(5室) 講堂(80人) ミュージアムカフェ・ショップ 付属園(付属動物園) 山岳図書資料館	大人 400円 高校生 300円 小・中学生 200円 ◆30名以上の団体 大人 350円 高校生 250円 小・中学生 150円
ギャラリー・いーざら	大町3300-1 0261-22-0420	120.00	不定期(展示期間外) 10:00~18:00	展示室1(88㎡) 展示室2(32㎡)	展示室1 7,000円 展示室2 3,000円
八坂公民館	八坂1133-1 0261-26-2380	859.88	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	交流ホール(約100人) 会議室(2室) 図書コーナー	使用料金表による ◇コミュニケーションセンター・アキツ
コミュニケーションセンター・アキツ	八坂1133-1 0261-26-2380	859.88	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	交流ホール(約100人) 会議室(2室) 図書コーナー	使用料金表による ◇八坂公民館
美麻公民館	美麻11810-1 0261-29-2311	545.00	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	小会議室(6人) 中会議室(24人) 講堂(108人) 読書ストリート(1,400冊)	使用料金表による ◇美麻支所
旧中村家住宅	美麻17668-1 0261-29-2580	480.00	月曜・火曜 12月~3月 9:00~17:00	主屋、土蔵(見学・展示) (国重要文化財指定施設)	大人 300円、子ども 150円 一般団体 200円、小人団体 100円

IV 社 会 体 育



1 社会体育

社会体育基本方針

近年の高度情報化や少子高齢化の進展等、社会情勢の変化によりライフスタイルや価値観が多様化する中、スポーツに対する意識や取組方も多様化しています。スポーツ種目の多様化や地域におけるスポーツを通じたコミュニケーションの拡大など、スポーツ活動の重要性が高まってきています。

こうした環境の変化に伴う余暇時間の増大や健康志向の高まりにより、スポーツや健康、体力づくりへの市民の関心が高くなる一方で、実際の活動に、なかなか参加できない市民も多く、また、多様化・高度化するニーズに対する環境は十分とはいえない状況です。

市民ひとり一人が、年齢や体力に応じて気軽にスポーツに親しみ、いきいきと健康で元気に過ごすことができるよう、スポーツ教室や健康教室、各種スポーツ大会の開催など、スポーツを通じた市民の健康増進と競技力の向上等により「生涯スポーツ」を推進します。

(1) 平成28年度重点目標

ア 生涯スポーツの推進

- (ア) 各年代に対応した多様なスポーツ教室の充実、スポーツクラブ活動の促進
- (イ) 体力や年齢、興味、目的に応じたスポーツ活動による健康、体力づくりの推進
- (ウ) 生涯スポーツ推進のための情報発信
- (エ) 誰もが気軽に参加できるニュースポーツの導入と普及、指導者の育成

イ 競技スポーツの推進と指導者の育成

- (ア) 体育協会、スポーツ少年団、スポーツクラブ、スポーツ指導員会等各種スポーツ団体との連携による組織強化と人材育成等
- (イ) 全国・県レベルの各種スポーツ大会の開催・誘致及び交流事業の推進
- (ウ) 学校体育・部活との連携、地域指導者の発掘

ウ スポーツを通じたコミュニティづくり

- (ア) 総合型地域スポーツクラブの育成、支援等
- (イ) 各地域で実施するスポーツ大会や教室、健康づくり等による地域コミュニティの再生、支援
- (ウ) 地域特性を生かしたスポーツ振興

エ スポーツ施設の整備と有効活用

- (ア) 市民のスポーツ活動や健康づくり、交流の場等の拠点としての体育施設の整備、充実
- (イ) 市民のスポーツの推進や競技水準の向上のため、レベルの高い大会やイベント等が可能な施設、環境整備
- (ウ) 利用状況を踏まえた施設の有効活用、また、冬期間の運動不足の解消等に向けた屋内運動場の整備

(2) 事業計画

ア 各種スポーツ大会等の開催（主催大会）

開催月	大会名
7月	・市民スポーツ祭（夏季） ・少年少女球技大会
8月	・木崎湖カップカヌー大会 ・おおまびよんカップサッカー大会
9月	・大北縦断駅伝大会の協力 ・大北スポーツ競技会
10月	・大町アルプスマラソン ・B & G会長杯争奪少年武道大会
1月	・市民スケート大会
2月	・市民スキー、スノーボード大会
3月	・ワンバウンドふらばーるバレーボール大会

イ 各種スポーツ教室の開催

年代別対象教室	教室名
幼児期	・運動あそび教室（年長児クラス）
児童・青少年期	・親子ふれあいスポーツ教室 ・小学生スキー教室 ・少年海洋教室 ・JFAこころのプロジェクト「夢の教室」 ・スラックライン教室
成年期	・ママさんフリータイム広場（夏季） ・カヌー体験教室 ・スラックライン教室 ・親子対象スポーツ教室 ・スキー、スノーボード、クロスカントリー教室
実年期	（運動の習慣づけのための教室） ・気軽に取り組めるニュースポーツ教室 ・ノルディックウォーキング教室 ・バランスボール教室

ウ 姉妹都市スポーツ交流の開催

体育協会等と連携し立川市、氷見市、島田市とのスポーツ交流の派遣など
大町市、立川市の観光課で主催する交流イベントでのカヌー体験受け入れ

エ 体育協会等スポーツ団体との連携

- (ア) 体育協会事業全般にわたる支援
- (イ) 「大町スポーツクラブ」への支援
- (ウ) スポーツ少年団への支援、指導者の育成

オ 小中学校及び地域と連携したスポーツ活動の推進

- (ア) 学校授業、PTA及び地域のスポーツレクリエーション活動の受け入れと指導協力（海洋センターを利用したカヌー・ヨット体験活動、冬季の運動公園を利用した歩くスキー体験活動、歩くスキーの貸し出し、ニュースポーツ用品の貸し出し及びスポーツ推進員による指導など）
- (イ) 中学校部活動への支援（指導者の発掘、確保など）

カ 体育施設利用調整会議の開催

- (ア) 体育施設の有効利用と利用者のニーズの把握
- (イ) 大会行事等主催団体の利用調整（年1回）
- (ウ) スポーツ合宿等のための市内旅館、民宿利用調整（年1回）
- (エ) スポーツ活動通年利用団体の利用調整（年2回）

キ 体育施設の整備充実、保守管理

- (ア) 運動公園及び市内体育施設の保守管理、清掃の徹底
- (イ) 体育施設管理員及び学校施設開放と連携のとれた保守管理の実施
- (ウ) 運動公園野球場照明設備工事
- (エ) 平野球場審判席設置
- (オ) 山下体育館改修工事

ク 各種スポーツ大会の後援及び支援協力

- (ア) ソフトバレーボール北信越フェスティバル大町大会
- (イ) 全国選抜少年サッカー大町大会
- (ウ) 北信越高等学校総合体育大会サッカー競技大会など

ケ 各種スポーツ指導者の育成

コ その他の施策

- (ア) 総合体育館の有効活用の推進
 - ① トレーニングルーム利用講習会の開催（毎月2回）
 - ② スポーツ情報コーナーの活用推進
 - ③ 大町市公共施設予約システムの導入、運用
- (イ) 北アルプス北部地区山岳遭難対策協会との連携
 - ① 遭難防止夏山常駐隊活動への協力
 - ② 人命救助用ヘリポートの管理（消防防災課や警察等関係機関との調整）

(3) 体育施設
(社会体育施設)

NO	名	称	位 置	開設年	面 積	利 用 競 技 種 目
1	西 公 園	運 動 場	大町市大町4687	S 42年	12,198.02㎡	野球(2面)・ソフトボール(2面)・ゲートボール(2面) スケートリンク(冬季のみ1面)・ナイター照明
2		体 育 館	〃	S 42年	966.24㎡	バレーボール(1面)・バドミントン(3面)・空手道 バスケットボール(1面)・剣道
3		陸上競技場		S 53年	21,755㎡	フィールド内(ゲートボール16面)・サッカー(1面)
4		メインスタンド棟		S 52年	1,097㎡	収容メインスタンド1,400人、芝スタンド4,000人
5	運動公園	サッカー場		S 63年	12,401㎡	更衣室(2)・倉庫(3)・役員室(1)・事務室(1)・医務室(1)・便所ほか (1面)
6		メインスタンド棟		S 52年	739㎡	収容メインスタンド743人、芝スタンド2,000人
7		総合体育館		S 63年	4,863.01㎡	大アリーナ(1,627㎡)、小アリーナ(558㎡)、ランニングコース(170m)、 バレーボール(4面)、バドミントン(13面)、バスケットボール(3面)、卓球(20台)、 体力測定室ほか
8		マレットゴルフ場		S 57年	36ホール	ギャラリー(固定席544)・収容人数2,500人
9		子ども広場		S 63年	900㎡	北コース 18ホール(パー72) 南コース 18ホール(パー72)
10		弓道場		S 62年	609.22㎡	遠的(1面)・近的(1面)
11		多目的広場		S 62年	255.57㎡	射場129.6㎡、的場44.82㎡、6人立、更衣室81.15㎡
12		庭球場		S 62年	10,005㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)・ナイター照明(2面分)
13		野 球 場		S 56年	2,815.74㎡	クレー(4面)・ナイター照明
14		メインスタンド棟		S 58年	2,908.8㎡	全天候(4面)・ナイター照明
15	平 野	野 球 場		S 61年	12,677.232㎡	野球(1面)
16		運動場		H 6年	704.09㎡	収容人数 スタンド562人、内野階段スタンド352人、内野芝生スタンド1,070人、 外野スタンド2,616人、更衣室(2)・事務室(1)・本部席(1)・放送室(1)・便所ほか
17	B & G 海洋	屋内運動場		H 25年	987.13㎡	運動場(925.44㎡)・ゲートボール(2面)・テニス(1面)・ミニサッカー(1面)
18		多目的芝生広場		H 27年	2,700㎡	ゲートボール(2面)・グラウンドゴルフ(1面)
19	セ ン タ ー	体 育 館		S 35年	796.22㎡	軽運動室・会議室
20		艇 庫		S 35年	10,550㎡	野球(1面)
21	常 盤	運 動 場	平9539-3	S 52年	12,071㎡	ソフトボール(2面)・サッカー(1面)・ナイター照明(ソフトボール1面分)
22		園 運 動 場	〃 9365-1	S 57年	1,550㎡	ゲートボール(2面)
23	やしろ公園	運 動 場		S 54年	1,627.8㎡	第1体育館(747.3㎡)・バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(3 面)・テニス(1面)・卓球(4台)・第2体育館(524.7㎡)・柔道(50畳)・空手道・剣道
24		山 下 体 育 館		S 54年	450㎡	カヌー(27)・OPヨット(14)・12ftヨット(2)・カッター(2)・ボードセーラー(9)ほか
25	八 坂	テ ニ ス コ ー ト	〃 9707-2	S 57年	11,279㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・ナイター照明
26		レ ー ニ ン グ セ ン タ ー	社3945-3	S 42年	9,845.41㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・ナイター照明
27	八 坂	山 村 広 場	常盤3516-38	H 8年	5,000㎡	ソフトボール(1面)・ナイター照明
28		ゲ ー ト ボ ー ル 場	社8200	H 29年	495㎡	バレーボール(1面)・バドミントン(1面) ※H6年建築
29	美 麻	運 動 場	社4953-4	S 50年	11,000㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・ナイター照明
30		丸 山 運 動 場	八坂8408	S 50年	1,636㎡	人工芝(2面)・ナイター照明
31	美 麻	テ ニ ス コ ー ト	〃 8408	S 58年	1,703㎡	バスケットボール(1面)・バレーボール(2面)・バドミントン(4面)・卓球室
32		大 塩	〃 11642	S 60年	6,000㎡	ソフトボール(1面)・ナイター照明
33	美 麻	ゲ ー ト ボ ー ル 場	〃 14850-120	H 5年	1,467㎡	屋内ゲートボール(1面)
34		千 見	〃 14850-120	H 5年	9,600㎡	18ホール
35	美 麻	二 重 屋 内	〃 8411-2	S 48年	6,492㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・各種スポーツ
36		ト レ ー ニ ン グ セ ン タ ー	美麻14239	H 4年	28,873㎡	ネットなし：野球(2面)・ソフトボール(2面)・サッカー・ラグビー(1面)
	名	運 動 場		H 3年	5,857㎡	人工芝(6面)
		校 体 育 館		S 62年	1,171㎡	屋外(1面)
	(学校施設)	大 町 東 小 学 校	社6700	S 57年	2,531㎡	屋外(2面)・ナイター照明
		大 町 西 小 学 校	大町4773-3	H 5年	1,411㎡	屋内(1面)
	大 町 南 小 学 校	運 動 場	常盤3543-1	S 56年	650㎡	バスケットボール(1面)・バレーボール(1面)・バドミントン(3面)
		体 育 館	大町5806-8			
	大 町 北 小 学 校	運 動 場	八坂1090			
		体 育 館	美麻27503			
	八 坂 小 学 校	運 動 場	大町4528			
		体 育 館	大町3759			
	美 麻 小 中 学 校	運 動 場	八坂11648			
		体 育 館				
	第 一 中 学 校	運 動 場				
		体 育 館				
	仁 科 台 中 学 校	運 動 場				
		体 育 館				
	八 坂 中 学 校	運 動 場				
		体 育 館				

(学校施設)

名	称	位 置	面 積	利 用 競 技 種 目
1	大 町 東 小 学 校	社6700	12,067㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)
2	大 町 西 小 学 校	大町4773-3	1,002㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(2面)・バドミントン(2面)
3	大 町 南 小 学 校	常盤3543-1	13,169㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・サッカー(1面)
4	大 町 北 小 学 校	大町5806-8	1,486㎡	バレーボール(2面)・剣道・空手道
5	八 坂 小 学 校	八坂1090	16,275㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)・テニス(1面)
6	美 麻 小 学 校	美麻27503	1,247㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(2面)
7	第 一 中 学 校	大町4528	10,215㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)
8	仁 科 台 中 学 校	大町3759	982㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(3面)
9	八 坂 中 学 校	八坂11648	8,190㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・サッカー(1面)
10	美 麻 小 中 学 校	美麻27503	1,027㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(2面)
11	第 一 中 学 校	大町4528	12,878㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)・バドミントン(2面)
12	仁 科 台 中 学 校	大町3759	1,227㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(2面)
13	八 坂 中 学 校	八坂11648	12,455㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)
14	美 麻 小 中 学 校	美麻27503	4,073㎡	バレーボール(4面)・バスケットボール(3面)・卓球(10台)
15	第 一 中 学 校	大町4528	14,198㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)
16	仁 科 台 中 学 校	大町3759	1,487㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(2面)
17	八 坂 中 学 校	八坂11648	9,388㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・サッカー(1面)
18	美 麻 小 中 学 校	美麻27503	1,198㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(4面)

※東小体育館では、バスケットボールとバレーボールは女子と中学生以下の男子に限り使用できる。

体育施設の利用状況

(人)

施設名	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
大アリーナ	28,998	34,531	31,299	34,233
小アリーナ	14,931	16,719	14,419	14,434
トレーニングルーム	2,793	2,926	4,276	4,861
陸上競技場	16,002	10,337	11,797	13,970
サッカー場	1,602	8,988	6,437	8,700
クレート庭球場	4,261	4,999	4,581	9,730
全天候庭球場	15,074	22,291	21,275	33,728
野球場	4,167	6,790	4,501	5,975
マレットゴルフ場	14,399	13,986	14,357	11,906
弓道場	1,948	2,895	2,878	2,789
多目的広場	14,715	13,658	17,806	13,839
屋内運動場	18,371	17,055	17,840	17,996
多目的芝生広場	—	360	2,081	1,277
会議室	865	1,079	1,285	1,519
体育研修センター				3,687
B & G 第一体育室	11,507	5,051	7,990	8,939
B & G 第二体育室	4,155	518	3,589	2,890
B & G 多目的広場	3,968	1,909	4,166	4,023
社公園運動広場	6,387	7,025	7,370	6,353
西公園体育館	16,768	13,158	10,574	13,604
西公園運動場	10,500	7,794	7,999	9,219
平野球場	4,408	3,797	2,495	2,412
平運動場	10,310	7,307	9,142	10,170
常盤運動場	9,830	4,766	7,140	4,210
東小体育館	7,510	8,585	10,696	10,320
西小大アリーナ	13,590	15,430	15,440	4,421
西小小アリーナ	3,823	1,917	717	877
南小体育館	9,927	4,792	4,801	7,297
北小体育館	4,965	2,739	3,342	2,811
一中大アリーナ	9,351	9,326	8,094	7,888
一中小アリーナ	1,808	1,834	1,362	1,872
仁中体育館	7,650	7,904	8,480	7,780
仁中柔剣道室	860	669	643	603
東小グラウンド	1,415	921	864	668
西小グラウンド	944	566	370	940
南小グラウンド	1,310	580	200	0
北小グラウンド	8,015	4,615	696	609
一中グラウンド	60	0	60	30
仁中グラウンド	680	460	200	220
B & G 艇庫	1,542	681	1,058	953
八坂運動場	690	511	625	625
八坂テニスコート	0	52	10	200
八坂マレットゴルフ場	30	0	50	66
八坂トレーニングセンター	3,904	5,002	5,529	6,929
八坂山村広場	18	12	30	0
八坂ゲートボール場	1,849	1,290	1,193	1,290
八坂小学校グラウンド	500	337	375	0
八坂小学校体育館	890	543	360	863
八坂中学校グラウンド	318	12	0	40

八坂中学校体育館	420	0	0	0
----------	-----	---	---	---

(人)

施設名	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
美麻運動場	325	803	1,752	466
美麻丸山公園運動場	160	670	1,210	200
美麻テニスコート	1,685	1,745	2,237	2,747
美麻トレーニングセンター	1,622	2,308	3,454	1,986
大塩屋外ゲートボール場	360	540	260	420
二重屋外ゲートボール場	0	0	0	
二重屋内ゲートボール場	320	1,259	938	155
千見屋外ゲートボール場	300	575	260	310
美麻小中学校校庭	678	460	390	380
美麻小中学校体育館	509	208	210	103
合計	303,987	285,285	291,203	304,533

スポーツ大会等開催状況

(平成 27 年度)

スポーツ大会等名	実施日	実施場所・内容	参加者数
平成 27 年度 市民スポーツ祭 夏季大会 (体協共催)	7 月 5 日 7 月 12 日	開会式 運動公園陸上競技場 16 競技 運動公園ほか市内体育施設	1,202 人
平成 27 年度 少年少女球技大会	8 月 3 日	開会式 運動公園総合体育館 野球 3 チーム 男子ソフトバレー 8 チーム 女子ソフトバレー 7 チーム	120 人
おおまびよんカップ 女子サッカー大会 ～福島県復興支援～	8 月 8 日 ～9 日	会場 運動公園サッカー場・ 陸上競技場・多目的広場 参加 16 チーム (福島県、宮城県から 4 チーム招待) (主催 おおまびよんカップ女子 サッカー大会実行委員会)	350 人
第 65 回 大町市民登山 (雨天のため中止)	8 月 29 日 ～30 日	爺ヶ岳～針ノ木岳	30 人 (申込数)
第 14 回 大北スポーツ競技会	9 月 27 日	開会式 運動公園陸上競技場 市内体育施設 11 か所、10 競技	1,121 人
第 32 回大町 アルプスマラソン	10 月 18 日	開会式 運動公園陸上競技場 (主催 アルプスマラソン実行委員会)	4,070 人
第 37 回 B & G 少年武道大会	10 月 4 日	会場 B & G 体育館 柔道 20 人 剣道 42 人	62 人
平成 27 年度 市民スケート大会 (天候不良により中止)	平成 28 年 2 月 6 日	会場 西公園スケート場 分館対抗によるスケート競技 (競技主管 大町市スケートクラブ)	
平成 27 年度 市民スキー大会	平成 28 年 2 月 21 日	会場 鹿島槍スキー場 分館対抗によるアルペン大回転競技 (競技主管 大町市スキークラブ)	106 人
第 4 回 ワンバウンドふらば ーるバレー大会	平成 28 年 3 月 6 日	会場 仁科台中学校体育館 参加 6 チーム (主管 大町市スポーツ推進委員会)	60 人

スポーツ教室の開催状況

(平成 27 年度)

教室名	実施期間 (回数)	実施場所・内容	参加者数
健康づくり サークル	6月28日 ～3月15日 (全10回)	会場 運動公園、文化会館ほか 内容 ウォーキングほか 指導者 スポーツ推進委員	84人
ママさん フリータイム広場	6月18日 ～7月16日 (全5回)	会場 総合体育館大アリーナ 内容 キンボールほか 指導者 スポーツ推進委員	60人 (託児あり)
運動遊び教室 (年長児2クラス)	5月18日 ～10月26日 (全18回)	会場 総合体育館、陸上競技場 内容 フロアリズム運動 指導者 スポーツ推進委員ほか	1,043人
エアロビクス教室	6月26日 ～7月3日 (全2回)	会場 総合体育館小アリーナ 内容 エアロビクス 指導者 太田陽子先生	25人
バランスボール教 室	10月2日 (全1回)	会場 総合体育館小アリーナ 内容 バランスボール 指導者 太田陽子先生	26人
スラックライン教 室	10月3日 (全1回)	会場 運動公園内 内容 バランスボール 指導者 スポーツ推進委員	16人
親子ふれあい スポーツ教室	11月6日 ～12月11日 (全6回)	会場 仁科台中学校体育館 内容 ニュースポーツほか 指導者 スポーツ推進委員	270人
水中運動教室	12月11日 ～12月25日 (全3回)	会場 ゆーふる木崎湖 内容 水中での運動 指導者 スポーツ推進委員	32人
小学生スキー教室	1月23日 (全1回) (1回中止)	会場 爺ガ岳スキー場 内容 小学生対象スキー教室 指導者 スポーツ推進委員	61人
スキー・スノボ・ク ロスカントリー教 室 with ママさん フリータイム広場	1月18日 ～2月8日 (全4回)	会場 爺ガ岳スキー場ほか 内容 母親対象スキー教室 指導者 スポーツ推進委員	54人 (託児あり)
ワンバウンドふら ばーるバレー教室	2月19日 ～3月4日 (全3回)	会場 西公園体育館 内容 ワンバウンドふらばーるバレー 指導者 スポーツ推進委員	54人
小学校等カヌー体 験教室	6月2日 ～8月21日 (全13回)	会場 B&G海洋センター艇庫 内容 カヌー 指導者 職員	213人
少年海洋教室	7月4日 ～8月22日 (全5回)	会場 B&G海洋センター艇庫 内容 カヌー、OPヨット等 指導者 職員	83人
カヌー教室	6月27日 ～7月25日 (全2回)	会場 B&G海洋センター艇庫 内容 カヌー 指導者 職員	17人

V 資 料 集



平成28年度 教 育 要 覧

平成29年3月発行

発 行 大町市教育委員会

TEL 0261-22-0420

FAX 0261-23-7001
